臺灣日日新報 夕刊
五月十六日
夕刊定價一部貳錢
發行兼編輯人 [illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
基隆市旭町（電話七八五） 臺中市寶町（電話一〇七） 臺南市錦町（電話二〇〇） 花蓮港入船町 大阪市西區靭南通二丁目（コスカビルディング內） 東京市京橋區銀座三丁目（[illegible]）
基隆支局 臺中支局 臺南支局 花蓮港支局 大阪支局 東京支局

我飛機唐山を爆撃し

公安局とセメント會社出火

支那軍は西方に總退却

【天津十五日發聯合】十五日午前九時と正午頃の二回に亙つて飛行機三臺唐山を爆擊し公安局、啓新セメント會社工場は出火しその他新鑛工場等も被害を受け全市民戰慄してゐる、尚唐山に集中せる支那軍は灤河が陷落して側背を脅かされ更に飛行機の襲來に大混亂を呈し西方に向つて總退却を開始した

【天津十五日發聯合】支那軍は唐山に退却唐山に集結中だが十五日朝我飛行機は唐山に飛來、公安局を爆擊したものの如く唐山は目下大混亂に陷つてゐる

萬福麟が天津に引揚ぐ

【天津十五日發電通】唐山にあつた灤州地區總指揮萬福麟は何應欽より決死的抗日の厳命を受け唐山を中心として北寧線に特に王以哲の第六十七軍その以南に何柱國の第五十七軍を配置し決戰を試みんとしてゐたが既に前線の將士に戰意なく總崩れとなり、何柱國の司令部も既に後退し萬福麟は大勢最早支へられずと十五日午後飛行機にて天津に引揚げたと傳へらる

服部部隊、遵化を占據

息つく間もなく潰走の敵を急追

【奉天十六日發電通至急報】服部部隊は十五日午前十一時遵化を占據した

【承德十六日發聯合】灤河街、三屯營の敵軍を驅擄し一路西進中の服部部隊は十五日夕遵化に入城、息つく暇もなく更に前進豐潤方面より西進の松田、高田、平賀各部隊と南北に連絡相呼應して潰走する敵を猛々急追中である

【奉天十五日發電通】坂本〇隊の右翼服部部隊は十三日午後龍井關附近を占據し進んで敵線を西方に擴張中で敵陣は頗る堅固で恐[illegible]の如くならんも主力は依然灤河の上流左岸にあり

何應欽北平を脫出

【天津十五日發電通】支那側よりの確報によれば何應欽は十三日午後十一時北平を脫出して保定に向つたと

上村少佐は頭部に貫通銃創

萬歲三唱の聲も微かに絕命

【奉天十五日發電通】高田部隊は十三日大五里を出發、商震軍の精鋭をすぐれる督戰隊、王以哲軍主力約四千と正面衝突したが灤河戰線稀に見る勇敢な敵はわが突擊にも屈せず頑強な抵抗を試みたが、高田部隊長は味方の攻擊を有利に導き損傷を尠からしめんと第十隊[illegible]佐上村長良氏をしてその部下を率ゐて敵の右翼に迂回せしむべく命令し上村部隊は直ちにその任に就き敵の出を衝き前進し將にこの飛成らんとしたが、折しも飛來せる敵彈は少佐の頭部を貫通し少佐は部下に任務遂行を厳命し終るや萬歲を三唱する聲も微に午後四時半名譽の戰死を遂げたが、少佐の部下は隊長の復讐とばかり更に猛進又猛進敵を壓迫し作戰の效果を擧げた

北支軍費の要求で國民政府惱みぬく

事態の鎭靜は望み薄

【上海十五日發電通】駐平政務整理委員會財政部長王克敏は任命後直ちに北平より上海に來り北支の財政問題特に北支軍費につき委員長宋子文と協議しつつあつたが上海銀行家との折衝意の如くならず、十四日南京に赴き行政院長汪精衛と會見し北支軍費として月額五百四十五萬元、臨時費三百八十萬元の支給方を要求したところ財政難の國民政府は餘裕なきため

一、極力北支自體の力をもつて稅制を整理し收入增を圖るべし

一、不足額のみ中央財政部より支給すべし

との方針をもつて進むに內定した然し北支のみでかかる多額の軍費を得るは困難であり方振武初め至急解決を要する反將系の雜軍懷柔策も困難となるので北支の[illegible]は頗る[illegible]であると報ぜられてゐる

やつとお氣付き

武力抵抗は事態を惡化させると

上海要人の意見一致

【上海十五日發聯合】北支の形勢益々重大化すべきものあるため汪精衛、孫科らの中央要人約三十名は十五日重要會議を開き、北平政治委員會委員長として北上する黃郛を交へ懇談を遂げた、會談の內容は極祕に附されてゐるが、仄聞するところによれば各要人とも所謂武力抵抗は事態を益々惡化せしめるばかりで時局を收拾する所以でなきため此際何等か打開方策を講ずる必要ありとの意見に一致したるものの具體的方策は確然たる決定を見ずに散つた、取り敢ず黃郛を北上せしめ何應欽と共に出來得る限り時局拾收に努めしむることとなつたが黃郛は時局拾收の決定的成算なきため直ちに北上するや否やは疑問とされてゐる

于學忠無抵抗で天津を撤退か

部下將僚に內命

【天津十五日發電通】于學忠は天津に戰禍が及ぶ場合には無抵抗で自己の軍隊を引纏め津浦線に撤退すべく部下將僚に內命を發すると共に津浦線の列車押收に着手し更に汽船小舟の徵發準備中である

百六師の全部行方が不明

滿洲軍に寢返つたか

【天津十五日發電通】灤西の支那軍前線は今や收拾し得べからざる大混亂に陷つてゐるが更に支那軍の最左翼にあつた第百六師は悉く行方不明となり北平軍事分會では狼狽して極力その行方を捜してゐるが全軍分散して滿洲國軍に寢返つた形跡がある

支那軍の死傷六千に達す

新開嶺の戰鬪で

【北平十五日發電通】新開嶺の天險に據り猛擊された中央軍二師の死傷六千に達し師長黃杰は十四日午後三時前線より北平に逃れ對策協議中

北平の兩大學移轉開始

【北平十五日發電通】平津の富豪連は太原に避難するもの續出し太原は俄に活況を呈した、排日の巣窟として知られた北平師範大學は早くも西安に逃げ出し北平大學も杭州に移ることになつた、市民はこれを嘲笑してゐる、平漢線は避難民で各列車とも鈴生、荷物は各停車場に山積されてゐる

何柱國が前線に向ふ

【奉天十五日發電通】開平に通入してゐた何柱國は十日午後灤州西北の前線に歸來し陣容を整へ前線に向つた

重光氏の起用から

外務人事の刷新か

少壯派が多大の期待

【東京十六日發電通】重光公使次官起用に依りわが對支外交の局面展開が期待されるに至つたが、これと同時に從來沈滯の極に達した外務省人事の刷新も實現を見るに至るべく省內少壯派は至大の期待をかけてゐる、即ち外務省人事は當然一大刷新が行はるるものと豫期されてゐたのに芳澤外相に依つて起用された有田次官の消極的方針が災ひしてこの期待は全く裏切られ少壯強硬派は頗る不滿の意を洩らしてゐたが今回の重光次官の起用に依つて重光次官、谷亞細亞局長、白鳥情報部長等の緊密なる連絡が實現し少壯派が外務省人事の機構に參畫するに至つたので近く定評ある在外使臣の間に相當範圍の更迭が行はれ昨年一月以來の懸案だつた人事刷新の斷行が極めて熱心に期待されるに至つた

經濟組織委員會の

會議の內容發表

外務省が談話の形式で

【東京十六日發電通】去る五月十二日ロンドンで開催された國際經濟會議組織委員會で關稅休日案に關する意見一致を見たことに付き外務省は十五日委員會の經過に付き內容を談話の形式で發表したがその要旨左の如し

五月十二日午後イギリス外務省で國際經濟會議組織委員會がイギリス外相サイモン氏を議長として開催せられ、六月十二日よりイギリス首相マクドナルド氏を議長としてロンドンで開催されることになつてゐる國際經濟會議に關稅休日を開始せんとする提案を審議したが同會議には組織委員會に代表される一切の國の代表者出席左の趣旨の決議を全會一致可決した

決議趣旨

國際經濟會議に代表せられる日本、イギリス、ドイツ、ベルギー、アメリカ、フランス、イタリー、ノルウエーの政府は關稅休日を會議開始に當り採用の緊要なるを認む、前記諸政府は更に即時の措置が極めて重要なるを確信し六月十二日前及び會議中現在通商を阻害し居る諸困難を增加せしむべき如何なる新たなるイニシアチヴをとらざるべきを約したり、但し千九百三十三年七月三十一日以後一月の豫告で何時にても右約束より脫退するの權利を保有するものとす

敵軍潰走

【錦州十五日發聯合】灤河渡河後破竹の勢ひをもつて西進中の平賀部隊は隨所に敵を擊破し灤河の勢ひで〇〇方面に進擊中だが灤州、唐山、開平一帶には最早敵影を認めず敵軍は雪崩をうつて唐山、開平の以西に潰走中で敵軍は最早戰鬪意思全く無く北寧線上の形勢は全く戰はずして平靜せんとしてゐる

鬼神の如き〇車隊

敵陣に夜襲を敢行

皇軍精神を遺憾なく發揮

新開嶺の戰場視察 岡村參謀副長談

【奉天十五日發本社特電】新開嶺の戰場から歸奉した岡村參謀副長は左の如き新陣往話を爲した

今回の新開嶺以南における〇車の行動は特筆に値する、[illegible]承德一番乘の勇士を率ゐた西[illegible]大尉で〇車七臺で十日夜敵陣に夜襲を敢行したが障害にぶつかつて止むなく

迂廻する中、一里程進み直ぐ敵の背後に出てしまつた[illegible]頃に同隊は完全に敵の包圍に陷つた、[illegible]る事一日間、[illegible]を重ね鬼神の如き働きに[illegible]に歸つてしまつたが、この機に乘じ川原部隊は敵の陣を奪取して進擊に移り得たがこの間〇車一臺は破壞され、負傷者十數名を出すに至つた、この〇車隊の働きは實に[illegible]の精神を[illegible]たく發揮したものである[illegible]日には[illegible]にこの〇車隊を率ゐて我軍[illegible]城內に突入僅か三十分でこれを陷落せしめた、野砲〇隊長磯田少佐は石匣城內に突入城內には殘敵と我先鋒步兵隊と激烈な市街戰中で少佐はこの彈丸雨飛の中を

勇敢に 突破、步兵隊を出し拔いて突進敵砲兵隊を壓迫石匣門を占據した、島村枝隊は黑峪關で敵の二師旅に包圍された時二十七、二十八、二十九日の三日間奮戰を續くるや敵は多勢を頼み[illegible]殺して來た[illegible]の少佐はその[illegible]にして十[illegible]を[illegible]し、[illegible]十九日には內[illegible]隊長に[illegible]「[illegible]す」と[illegible]求めなかつた程[illegible]であつた

黃郛が北上

【南京十五日發聯合】黃郛は汪精衛等中央要人の懇請もだし難く十五日午後七時列車で北平に向つた

方振武軍先頭張家口に到著

【北平十五日發電通】支那側の情報によれば綏州方面に在つた方振武軍は抗日戰參加を口實として[illegible]北上しその大半は既に宣化に到著し先頭部隊は張家口に到著した

我軍飛機保定を偵察

支那側の情報

【北平十五日發電通】支那側保定來電によれば十五日午前九時頃日本飛行機三臺保定上空に至り同方面を偵察したと

察哈爾督軍に傅作義を任命

【南京十五日發電通】日本軍の察西進擊に次で察哈爾方面亦危ふしとの報に國民政府は十五日察哈爾督軍に傅作義を副督軍に孫殿英を任命するに決した

通州の米人婦女子に引揚命令

【北平十五日發聯合】日本軍は通州まで進擊して來るものと見て駐支米公使ジヨンソン氏は十五日通州にある米人婦女子に急遽北平に引揚げるやうに命令した

その日その日

○北支の事態は少しづつ變つてゆくやうだ、何處まで變るかは今後に殘る興味の中心

○何應欽の北平逃げ出しが事實ならコレも重大事態の一つの現はれ、京津の地は案外雨降つて固まるかも知れぬ

○北支にダークホースが飛び出すのが先か、黃郛が北上して日本と安協するのが先か、一寸マラソン競走のかたち

○抗日の親玉の一人汪精衛まで悲鳴をあげて日本との妥協を說く、今迄の苦しみが藥になつたらしい

○外務次官が更迭して彩手の氣勢が省內にあがつて來た、序に各省に及ぼしたいもの

○一方の足は失つたが外務畑隨一の幸福者は重光新次官、更に對支政策で腕の揮ひ時が來た

○聯盟の頑張りが何時まで續き、其の頑張が何處まで粘るかは、いつも世界的興味の問題

○ソ聯邦の足許は完全に見透かされたと言ふ者がある、本當らしい

○日滿の通信會社設立で全滿に電信網の恩澤を及ぼさうとの計畫、自然的な一施設

○イルズ嬢、空から日本を訪れて空から巴里へ歸る、日本の女性よ、何んと感じなさる

○臺比水泳大會で、選手權は六つ宛、二等は臺灣七と比軍五、得點と共に斷然臺灣の勝利

○基隆外港の築港問題は、時局柄を考慮する事に依つて緊切性が理解される、考へることだ

○少し宛でも凝滯な女性が眼ざめて行く事は新大學講生の殖えて行く事でも解る、頼母しい

米佛間の戰債

前途は暗澹

政治的解決も困難か

【パリ十五日發電通特電】フランスは來る六月十五日の戰債支拂も履行するの意思を示さず、ワシントン會商終了後も主として駐佛米大使が佛當局とこの點につき折衝を續け世界經濟會議開會までに何とか結論を附けたいとの意向のもとに苦心中である、併し米國側が元本に利子を含む金額即ち凡そ三十億フランに就き從來通り支拂繼續を期待し何等讓步の色を示さず、他方フランスは元本額だけドイツよりの賠償受取額に比例して支拂ふ意思しかなきを明言し居り他に別に政治的解決を促し得る材料となる可き目星き條件なきため全然全く暗澹として悲觀されてゐる

埃及で綿製品の輸入稅引上

【カイロ十四日發聯合】エヂプト政府は十四日閣議を開き綿製品の輸入稅引上げを決定した、詳細は未だ發表されないが多分一率に三割五分見當の引上げを行ふものと見らる

新竹州郡守市尹會議

【新竹電話】新竹州の郡守市尹會議第一日は十六日午前十時から開會、州會議室に州職員全部集合聯盟脫退に關する詔書奉讀後、內海知事は地方長官會議における總督長官の訓示を約四十分に亙つて朗讀傳達した、それより會議に移り伊藤新竹、中尾中壢、松尾桃園、栗田大溪、野沼竹東、矢野竹南、池田苗栗、吉岡大湖各郡守、[illegible]市尹、諏訪新竹署長、州から[illegible]、州各部長臨席內海知事より訓示があり午後は一時より再會注意事項に移つた

米穀證券借替發行要項

【東京十五日發電通】大藏省發表米穀買入代金として交付したる米穀證券償還のため買入たる米穀證券をもつてこれを借り替ふるに決定した、その發行要項左の如し

一、割引步合 日步七厘

一、發行日 五月十五日

一、支拂期日 昭和八年五月十四日

一、發行方法 預金部引受

紐育銀塊瓦落

【ニューヨーク十五日發電通】先週來騰貴を辿つた銀塊市場は本日ロンドン安と經濟會議前途悲觀の賣物に現物先物とも百四、六十ポイントと云ふ大幅の瓦落を示した

人事

▲曾我祐邦子（貴族院議員） 十六日南部より歸北の筈

▲越智寅一氏 十七日內地へ

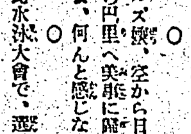
▲安田松魚氏（拓殖研究會常任理事） 十五日來臺（鐵道ホテル）

▲石川由平氏 十七日瑞穗丸にて滿洲へ

▲古野喬一氏（東京山邑商會支配人） 十五日來北（朝陽號）

無絃琴

田端專賣局長「ビールの專賣といふ大ものをモノにして頗る意氣軒昂「今のところ上京どころでなく七月の專賣施行を前にしていろいろと遣つて置かねばならぬ事もあり一寸動かれません專賣ビールの値段については世間でも種々取沙汰して居る樣ですが、專賣局は決して暴利を食る樣なことは致しません▲上部からも餘り高くして飮料を惡くしない樣にとの注意もあり且つ專賣局としても相當考へてゐますから決して無茶なことはしません、又ビールが專賣になると初めの間は[illegible]次第に需要が增して來るのが常ですし大いにサービスもする考へでゐますから無茶な値上げなどしなくても濟むといふものです」とある、然し一本幾らに位にしますとの突込んだ質問に對しては無言の樂▲東臺灣の四十億砂金存在說で世間をアツと言はした例の[illegible]砂金博士は、六月初旬ごろ東京出發渡臺する由で「一年振りにて東部臺灣の砂金地帶を巡歷いたすのを樂みに致し居候」とある、この博士の夢物語を一部でもよいから早く實現させ山吹きの花を咲かせたいもの。



陽炎は搖ぐ (37)

霧島讓次作
芳元正二畫

溫床に散る （九）

「おおおお、よく歸つて來てくれた。無事で何よりだつたのう。わたしや、こんなことになりやせんかと、それぱつかり心配で、毎日お詣りしてたんだよ。……可哀さうに、ずゐぶん瘦せたのう。」

車中からの電報で、ただ一人東京驛に出迎へた路伯母さんは、もうオロオロ聲で、麗子の身體を撫で廻さんばかりに抱きかかへた。

「伯母さん、有難う。さあ、お家へ行つてゆつくりお話しませう。」

圓タクで、本郷の湯島天神のそばの家へ歸る途中も、路伯母さんは彼女の肩を撫でたり、手を握つたりしては、ボロボロと涙をこぼしつづけた。

久しぶりでの、老舗の茂みの中の古家はなつかしいものであつた。路伯母さんは、麗子の結婚した後、もう一人の姪を郷里の新潟から連れて來て、女子醫專に通はせてゐるのであつた。

「まあまあ、可哀さうに。片親でも生きてゐりやあ、こんな目には遭はせなかつたのにのう。」

「伯母さん、今更愚痴をいつたつて、おつつかないわ。たとひ兩親が揃つてゐようと、かういふ間違は、起る時は起るものよ。相手の人間次第なんだから。……とにかく、過失の因はわたしにあるの。あんな離れ切つたお金持の家の息子を、人間だと思つたのがそもそも間違ひの因だつたんだわ。」

「さういはれれば、罪はわたしにもあるわ。あの縁談のあつた時、眞つ先に乘氣になつて、すすめたのはわたしなんだから。」

「いいえ、結局わたしが人間を見あやまつたのよ。まだ、人間を見る眼が出來てゐなかつたためなんだわ。」

麗子は、唇を嚙んで、しばらくうつむいてゐたが。

「でもねえ、考へようによつては、得難い經驗だつたわ。ずゐぶん大きい犧牲だとは想ふけど、お蔭で人間のほんたうの幸福といふものがどんなもんだか、始めてわかつたやうな氣がするわ。伯母さん、もう泣かないで下さい。麗子はもう一度あの頃の氣持に歸つて、すつかり出直しに、生活をやり直さうと決心してゐるの。もうステージなんかには立てまいし、また立つ氣もないけど、――お弟子をとつて音樂を敎へてもいいし、場合によつては、他人樣のお裁縫をやつたつていいぢやないの。麗子はどんなことだつて喜んでやるわ。ねえ、伯母さん一緒にやりませう。ほんとうの幸福なんて、眞面目に働く生活の中にゐるんだわ。一角から一角と崩れ落ちて行く、あの北川家の崩りなどといふものは、……」

そこで、ちよつとしんみりした調子に變つて。

「さういへば、汽車の中で澁江さんに會つたのよ。」

「ほう、どんな樣子だつたい？」

「可哀さうにね。あの人もほんとうに不幸な人よ。」

人目を憚るやうな彼女の姿を思ひ出すと、同情の涙がひとりでに滲み出て來るのであつた。

が、やがて麗子は急に明かな調子になつて。

「伯母さん、でも、喜んで下さい。ぜひ喜んでいただかなきやならぬことが一つあるのよ。」

「ほう、それはそれは。」

「新しい生甲斐が出來たの。――赤ちやんが出來たの。――わたしこれからは一人でゐても、いつも二人なのよ。どんな苦しいことがあらうと、辛いことがあらうと、わたしはこの子のために、闘ひ拔いて行くわ。伯母さん、喜んで下さい。麗子はこの子のために、救はれて、新しい生きる力を吹き込まれたの。」

普通の化粧水から藥效を持つた化粧水への憧れ！！

あこがれの花 ユキワリミン
パツト開いた人氣の花 ユキワリミン
から生れる肌の白さよ 濃かさよ

香り……
爽やかさ……
效果……
この三つの調和は
貴方のお肌にも
ピツタリと合ひます。

◇お化粧下
◇御白粉のとき水
◇ヒゲソリ後
◇ニキビ
◇ソバカス
◇吹出モノ
◇初夏のヒヤケ防ぎに

ユキワリミン 藥效を持つた化粧水

東京芝區高輪北町二十一 原澤合名會社 本舖 內地各百貨店、デパート、化粧品店、藥店

壹千円大懸賞

正・假 五十錢、一圓

懸賞課題
一、ユキワリミンの瓶に「ユキワリミン」の文字が幾つあるか
二、ユキワリミンの效果を二つ以上あげて下さい

解答方法
ユキワリミンの一ケ所を開いてその裏面に右二つの答と住所氏名及びお買求めになつた店の住所店名及び廣告を見た新聞名とを明記して下さい（答を書く紙に必ず廣告の文字を入れる事、ないものは無效）五十錢瓶は一口、一圓瓶は二口とす
送り先―二錢切手貼付[illegible]で本舖懸賞係宛（手紙の文は入れぬ事）
締切―昭和八年六月三十日
發表―同年七月廿日讀賣本紙上
賞品―二千圓相當金[illegible]賞品券一枚宛正解者壹百名に限り贈呈（但し正解者多數の場合は抽籤により決定す）選外者全部に對し優良品取紙一册宛贈呈、賞品は昭和八年八月十日より九月十日迄に當選者、選外者共御買求め店よりお渡し致します（期間後無效）
尚一人で幾つでも申込まれますから販賣通附數の多い方程當選率が多くなります。

激越な不穩文書を財、政界巨頭連に配布

陸海軍青年將校としたためらる

【東京十六日發電通】五・一五事件一周年を迎へて警視廳當局は異樣に神經を尖らして首相官邸、政友會本部等を初めとし各方面に嚴重な警戒陣を張るとともに右翼團體及び同關係者、鄕誠之助男を初め財界、政界の巨頭連に對し五・一五事件の眞意義を糺明し時局を慷慨せる不穩文書が配付されたのを警視廳特高課で探知しその出所につき懸命に搜査に力めてゐる、右は陸海軍青年將校として活版刷の相當長文の激越な調子で書かれ十三日の日付で牛込郵便局その他市內の各郵便局管內のポストに投函されたものである

五・一五事件の發表原案を脫稿

十七、八日中に發表か

【東京十六日發電通】陸海軍司法三省發表原案の作製に關する會議は十五日午後二時より八時二十分まで七時間以上の長きに亙り小山法相、皆川次官、三局長、林檢事總長等も特に參加軍部對案と司法省原案を突合せ發表案を作製これを脫稿したが十六日は池田書記官が徹宵し整理して發表案とし十六日早朝軍部と更に打合せを爲すこととなつたがその期日は恐らく十七八兩日中と見られてゐる

今度の上京は差迫つた要件でない

上京につき中川總督語る

五・一五事件の發表を期して中央政局は擾亂說れ飛び不氣味な陰影さへ釀す折柄中川總督は二十日上京、朝鮮の宇垣さんが二十一、三日頃上京する、そこで兩總督が時期を同じくして東京に着く……で來る可き政變と兩總督の上京と何かの約束でもあるのか●…更に氣を廻してみたいのが下司の常だが今日此頃の政界は闇夜に鳥を聞いたやうなもので兩總督の上京も偶然の暗合せらしい、そこで十六日中川總督を官邸に訪ふと午前八時半と云ふに早くも制服を着込みどこまでも非常時式だ

「いや別段差し迫つた要件があるわけではないから具體的仕事を持つて行つて政府と折衝するやうな仕事は持ち合はせて居らぬ丁度餘暇が出來たので一寸上京するまでのことだ……ウン直ぐ歸つて來るよ、政局の問題か、ものは觀方が異つてゐてはなかなか意見が合致するものでない許し乍ら根本的な觀方には二ツはない筈だと言つて異つた意見を押し切つてまでやらねばならないやうな性質の仕事もあるわけではないぢやないか、明年度の豫算のことは歸つて來てからだ、博覽會も景氣付けになるからやつて見てもいいと思ふが今やるとか、やらぬとか云ふ問題には當面してゐるわけでない」

四年越審理の三大疑獄けふ判決を言渡す

天岡、鳴原兩氏のみは實刑

小川氏以下は無罪

【東京十六日發電通】元鐵相小川平吉氏以下十四名（內井出繁三郎氏死亡）の北海道鐵道、伊勢電鐵、東大阪電鐵、奈良電鐵、博多灣鐵道の五私鐵の敷設免許、買收に絡む私鐵大疑獄と元賞勳局總裁天岡直嘉氏を中心とする賣勳疑獄並に元東京商工會議所會頭藤田謙一氏にかかる合同毛織會社の業務上橫領背任兩疑獄の三大疑獄は相互に關聯してゐるもの多いため併合審理となり、昭和五年第一回公判以來四年の長きに亙り、審理されこの間被告人側より合同審理要求あり或は異水裁判長と激烈な論爭をなし裁判長忌避を申立てて成らず今村力三郎辯護士が懲戒裁判にかけらるる等波瀾を起し世の視聽を集めてゐたが十六日午前十時東京地方裁判所陪審大法廷に於て全被告に對し異水裁判長より左の如く判決言渡された

勳章疑獄

收賄　懲役二年追徵金一萬七千二百五十四圓（求刑二年）　元賞勳局總裁　天岡直嘉

收賄幇助、懲役一年六月追徵金五千二百五十四圓（求刑一年六月）　天岡秘書　鳴原恭

贈賄懲役二月（求刑八月）　前北鐵專務　渡邊孝平

同　懲役二月（求刑八月）　北鐵前監査役　兵頭榮作

同　懲役二月（求刑十月）　伊勢鐵社長　熊澤一衞

同　罰金三百圓（求刑懲役二月）　日活社長　橫田永之助

合同毛織疑獄

業務上橫領背任並に贈賄　懲役一年六月（求刑二年）　元東京商工會議所會頭　藤田謙一

商法違反橫領、懲役四月（求刑六月）　前合同毛織專務　金原與吉

商法違反、罰金五百圓（求刑懲役三月）　同社東京支店長　永井喜

同　罰金五百圓（求刑三月）　同社取締役　竹村久吉

私鐵疑獄

贈賄幇助、懲役三月（求刑六月）　鷲田秘書　上川宗富

贈賄、懲役四月（執行猶豫三年）（求刑同八月）　博多灣鐵道社長　貴族院議員　太田淸藏

判決分離（求刑懲役六月）　出版業　角谷光次郎

無罪（求刑懲役二年六月）　元鐵相　小川平吉

同（求刑同二年六月）　代議士　春日俊文

同（求刑同一年）　小川秘書　守矢一太郎

同（求刑同四月）　東大阪電鐵重役　白井勤助

同（同六月）　代議士　宵山熊三

同（同八月）　北鐵前社長　犬上慶五郎

同（同八月）　伊勢鐵取締役　伊坂秀五郎

同（同十月）　東大阪電鐵專務　田中元七

同（同一年）　東大阪電鐵取締役、代議士　長田桃藏

同（同一年）　東大阪電鐵取締役　吉川長照

同（同十月）　東大阪電鐵社長　太田光凞

尚有罪刑を科せられたものは天岡、鳴原を除き皆執行猶豫三年を言渡された

無罪の判決に各被告歡喜の色

天岡氏等のみは悄然

【東京十六日發電通】昭和の大疑獄として一世を聳動し延いては既成政黨否認の氣運を釀成し今日の非常時內閣を誘致する一因ともなつた私鐵疑獄の判決は四年振で太田光凞氏を除き無罪を言渡された、小川平吉氏始め無罪で既に懲罰された此の日小川氏は五ツ紋羽織に仙臺平の袴で出廷裁判長が「判決を言渡す」と宣告するや不安と興奮の色ある複雜な表情でじつと耳を傾けてゐたが、被告席、合同毛織の疑獄の判決でピン／＼と有罪の言渡の後「被告人小川平吉は無罪とす」と力強く言渡すやはつとした樣に頭を下げたが其顏から頸にかけてさつと血潮が上るその他の被告も歡喜の色をかくすべくもなく辯護人は波の樣にどよめいて廊下に飛出し「無罪だ！無罪だ！」と叫びながら驅け出すものもある始末であるが、唯小川氏に引かへ天岡氏はモーニングに包んだ小柄の體をいやが上にもちぢめ見る目も哀れにじつと身を伏せてゐた

比律賓選手廿二日歸還

それまで市內見學

比律賓水泳選手は左の如く市內其他の見學を終へ二十二日臺北發ばたびや丸で歸還することとなつた

△十七日　午前八時十分臺北發、淡水ゴルフリンク、海水浴場、午後三時四十一分淡水發、新北投湯田交通總長招待晚餐會後歸北

△十八日　午前九時三十分博物館、同十時三十分中央研究所、同十一時三十分動物園見學、午後一時歸北

△十九日　午前九時三十分水源地、同十時三十分帝大、同十一時三十分高等學校見學

△二十日　午前八時北一中分列式、商品陳列所、建功神社、植物園見學

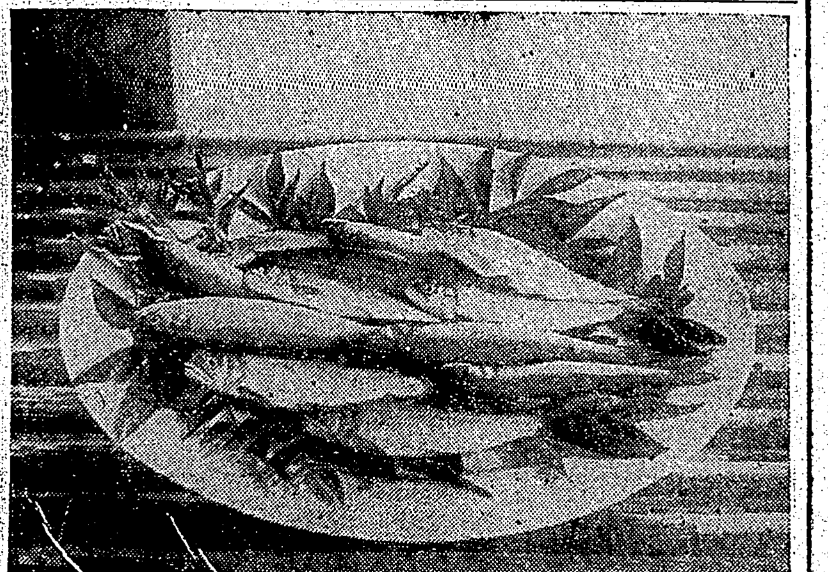
△二十一日　自由見學

△二十二日　臺北發基隆よりばたびや丸乘船

比律賓選手歡迎晚餐會

昨夜江山樓で

臺灣體協會長平塚長官は十五日午後七時より江山樓に於て比律賓水泳選手歡迎晚餐會を催したが平塚長官初め中瀨州知事、西澤市尹、米國領事、加福、中澤兩博士、荒木、小松兩氏を初め臺比兩軍選手及び大會役員など多數出席、平塚長官の挨拶に次いで中澤、加福兩博士、米國領事、荒木氏などの所感、兩軍選手のエールの交歡があり和氣靄々裡に午後十時散會した



若鮎が誘ふ潑剌たる味覺

けふから解禁

鮎の禁獵が十五日限り解禁され待たるる若鮎が食膳に跳躍することになつた十五日夜は解禁の時刻をまつて一齊に新店溪に網を入れたらしく十六日には各料亭わけても川端にはピン／＼した鮎が運び込まれた今年は非常に繁殖がよくいたる處銀鱗を早瀨に躍らせてゐるがこの頃の渴水で上流に上り切れず新店から下流は特に豐漁らしいと待望の太公望がにはかに活躍することであらう（寫眞はけふ川端で撮す）

基隆の防空演習

七月末擧行

【基隆電話】非常時局における本島の關門をなす基隆市の防空觀念の普及として先般來軍部に於て計畫されて來た防空演習は大體七月下旬に入ると共に衞戍地司令官の命令に基き相當大規模に行はれることとなつた、右計畫は追つて八月中東京市に於て行はるる豫定のものであつて屏東飛行聯隊より飛行機數臺並に臺北步兵聯隊の一部基隆重砲兵大隊の地上部隊並に在鄕軍人、學校生徒等も參加を見ることとなるべく、その時間は略一週間に亙る筈であつて何れ成案を得次第官民各方面の合同打合會を開くこととなつた

小學校の生徒が驚くべき不良振り

搔拂ひを初め女にいたづら

十五日夕刻內地人少年廿名が南署に引致され野田司法主任、河野部長兩名が極秘裡に嚴重な取調べを行つてゐたが聞く所に依ると右は臺北市內某小學校の生徒で相當な家庭の子息であるが常に結束して搔つ拂ひ、空巢狙ひ又は通行中の婦女子に戲れかかる等戰慄すべき程の一ある不良少年團を結成市內各所を徘徊せるものの如く、某學校當局は勿論父兄の狼狽は一方でなく、南署も教育界に與へる波紋が餘りに大きいのを怖れ嚴秘裡に父兄に警告を與へ教育界のボロを「あかるみ」にさらさないやうにしてゐる

十一ケ所を滅多斬り

老鰻の仕業

【基隆電話】十五日午後九時半基隆市元町二の四一街路電柱の下に十一ケ所を滅多斬りにされ血達磨になつて轉がつてゐる男を通行人が發見屆け出たので基隆署から防犯係が急行取調べの結果右は高砂町張金樹（三〇）で同生醫院に擔ぎ込んだが生命危篤加害者は士林生れ通稱釘丁で張とは昨年同時に臺北刑務所を出所した老鰻仲間で數日前口論の揚句釘丁が逆立まぎれに[illegible]刀で斬りつけ逃亡したものと判明したが斬り方から見て外に數人の共犯者があるらしいので目下極力行方搜査中である

土井權大代議士姬路刑務所に收容さる

【姬路十六日發電通】兵庫縣揖保郡龍野町播州興業無盡會社は曩に重役の收容となり同社社長政友會代議士土井權大氏は突如姬路區裁判所檢事局に喚問取調の結果十五日午後五時業務上橫領罪の嫌疑の下に令狀を執行され姬路刑務所に收容された

十二の少女が八軒に放火

面白半分から

【東京十六日發電通】十五日午前七時二十分小石川區關口町三十番地雜貨物商飯田銀次郎方の裏物置に放火した犯人あり火は間もなく消止めたが、急報により富坂署員が警戒中約十分ばかりの內に同町二十九番地女髮結吉田重次郎方外七軒に放火を計つた事實あり何れも大事に至らず消止めたが、白い格子縞の洋服おかつぱの十二、三の少女を富坂署伊藤刑事部長が取押へると同人は關口町三十四番地材木商宮長の娘、笠松イシ子（一二）といふ關口町小學校の五年生で面白半分に放火をした旨申立てたので引續き取調べ中

師範生が鐵道自殺

學業が下つて

【濱松十六日發電通】去る十四日午前二時頃濱松驛構內東部二川町地先東海道線に飛込み自殺を遂げた濱松師範學校第一部三年生靜岡縣磐田郡龍川村鈴木眞太郎三男鈴木三太郎（一八）の死因につき學校當局は嚴秘に附して調査中であるが意外にも次の如く悲ぶべき事實が暴露した、同君は小學時代から非常な秀才であつた上生れながらのスポーツマンで往くところ可ならざるなく特に野球選手として將來を囑望されてゐたが選手と學業は並行せず選手として有名になるとともに學業は次第に落ち過般歸省の折柄散々小言を言はれたのを苦にし遂に思ひ餘つて鐵道自殺を遂げたことが彼の日記により明かとなつた

英國三勝

對芬蘭庭球戰

【ロンドン十五日發同盟通信】デ杯歐洲ゾーン二回戰イギリス對フィンランドはイギリス二勝の後を受けダブルスが行はれたがイギリスの勝ちとなりイギリス三勝となり三回戰に進むこととなつた

ペリー　ヒユース（英）　六｜一　六｜一　六｜三　クローテン　フェルト　グランン（芬）

一夜に三事件

【基隆電話】湯氣の故か十五日夜基隆市では數ケ所に傷害、喧嘩、醉拂ひ等引續いて當直のお巡さんを惱ませた、即ち元町の傷害事件を手始に日進町派出所管內で時を同じくして三名の內地人醉拂が檢束された、三名ともサン／＼暴れ廻り巡行する際も派出所から本署まで僅か十丁足らずの道を三時間餘りもかかりサン／＼巡査を手古ずらしたといふ、この外に入船町で內地人と本島人の喧嘩一件、旭町で醉拂一件があつた

百廿名の暗殺團を藍衣社各地に派遣

永平城外で我軍が逮捕した

怪支那人の暗號文書で判明

【天津十五日發電通】去る十三日永平城外でわが警戒線を通過せんとする怪支那人を逮捕したところ上衣の袖口に暗號文書を、[illegible]所持し居るを發見し取調べたところ藍衣社の暗殺團の一味で、去る三月八日より五月五日に亙り百二十名より成る暗殺團を各地に派遣し北平、本部と密接の連絡により實行に移つたもので一味のブラックリストには張學良、石友三、何柱國、于學忠等二十二名の外日本軍司令官、天津駐屯軍、總領事館首腦部も含まれて居り特に中村支那駐屯軍司令官、[illegible]胡漢民には三十萬元其他にも多額の懸賞金が附せられてゐる

東京相撲四日目勝負

【東京十六日發電通】夏場所四日目勝負左の如し

勝		負
海光山	（吊出）	綾昇
小野錦	（寄切）	若瀨川
松前山	（內掛）	和歌島
巴潟	（押出）	錦の里
古賀浦	（渡込）	新海
射水川	（內掛）	太郎山
旭川	（寄切）	外ケ濱
寶川	（捻り）	越の海
錦華山	（押倒）	雷山
土州山	（打棄）	綾櫻
大浪	（渡込）	吉野岩
大邱山	（突倒）	鏡岩
筑波嶺	（吊出）	瓊の浦
男女川	（突倒）	双葉山
幡瀨川	（小股掬）	沖ツ海
高登	（掩落）	大潮
武藏山	（寄切）	若葉山
清水川	（下手投）	出羽嶽
能代潟	（押出）	玉錦

インチキダンス教師

臺北市西門町二ノ十九姬野貫治（三二）はダンス教師の鑑札も持たず臺北市內の各家庭に入り込みダンスを教授する傍ら自宅にも小さいホールを設けて盛んにダンスをやつてゐるのを南署で探知し取調べてゐるが風紀上又色々の意味に於て今後此の種インチキダンス教師を更に徹底的に取締る模樣である

州下傳染病

（十五日の分）

△チフス　臺北市古亭町一四二番地　近藤ハル子（三二）

△チフス　臺北市築地町一ノ四番地　松本萬三（八）　赤十字醫院死亡

△赤痢　基隆市明治町四ノ七番地　大森清（四五）　基隆醫院

商況（十六日）

米況

正米市況（前場）

▲一期蓬萊米　先限不申

▲二期蓬萊米　出來不申

▲二期丸糯米

當限　中限

六、三九　不申

出來高一車

大阪期米

節	當	中	先
一	二三四〇	二三七九	二四四七
二	二三四〇	二三七九	二四四六
三	二三四〇	二三七九	二四四六
四	二三四一	二三八〇	二四四六
五	二三四二	二三八〇	二四四六
六	二三四一	二三七八	二四四六
七	二三四一	二三七九	二四四六
八	二三四〇	二三八〇	二四四六
九	二三四〇	二三八〇	二四四五
十	二三三九	二三八〇	二四四八

東京期米

▲前場

	當	中	先
寄	二三六〇	二三九三	二四七八
止	二三五九	二三九〇	二四七五
高	二三六〇	二三九三	二四七八
安	二三五八	二三八六	二四七二

神戸期米

▲前場

	當	中	先
寄	二三四一	二三八一	二四四三
止	二三四一	二三八四	二四五〇
高	二三四一	二三八四	二四五〇
安	二三四一	二三八一	二四四三

株式

東京短期

▲前場

	寄	引
東新	一八三、〇〇	一八三、九〇
大新	ー	一一〇、六〇
鐘紡	二二四、五〇	二二五、三〇
鐘新	一〇五、〇〇	一〇四、六〇
日魯	七一、九〇	七二、一〇
日糖新	四九、六〇	四九、九〇
明糖	一〇三、五〇	一〇三、九〇
淺野新	三七、八〇	三七、七〇
日產	ー	八一、七〇
日石	六〇、七〇	六〇、九〇

東京長期

▲前場

	寄		寄
富士紡	五七、六	同新	二八、五
東洋紡	一五三、七	同新	七六、六
日清紡	一九六、六	同新	五二、五
鐘紡	二二九、九	鐘新	一〇四、九
日糖	八三、七	同新	五〇、一
臺糖	一一二、三	同新	六〇、二
新高糖	六七、二	同新	二一、九
帝糖	六六、〇	同新	四二、二
明糖	一〇四、七	同新	六七、八
沖繩糖	二二、七		
麥酒	一一六、九	同新	四八、四
日魯	七〇、五	同新	二七、三
淺野	七二、六	同新	三七、七
日產	八一、二	同新	六三、八
日石	六一、九	同新	二八、一
日本水	二六、二	同新	二八、九
東株	一七七、九	東新	一八四、一

大阪短期

▲前場

	寄	引
鐘紡	二二四、七〇	二二四、五〇
鐘新	一〇五、三〇	一〇五、二〇
東新	一八三、三〇	一八三、七〇
大株	一一二、三〇	一一二、〇〇
大新	一一〇、四〇	一一〇、三〇

大阪長期

▲前場

	寄	引
商船	三〇、八〇	三〇、九〇
諸銀	六四、六〇	六四、九〇
日糖	八四、八〇	八五、〇〇
日魯	七一、七〇	七一、九〇
淺野新	三七、九〇	三八、〇〇
日產	八二、〇〇	八二、〇〇
レヨン	六〇、九〇	六一、九〇
日毛	一一六、九〇	一一六、九〇
東洋紡	一五六、六〇	一五七、三〇
大株	一一〇、七〇	一一〇、七〇
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糖新	五〇、〇〇	[illegible]
臺糖	ー	ー
同新	ー	ー
明糖	一〇四、二〇	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
同新	ー	ー
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	ー	ー
日魯	七一、〇〇	[illegible]
同新	ー	ー
日產	八二、三〇	[illegible]
同新	六四、一〇	[illegible]
レヨン	ー	ー
日石	六一、六〇	[illegible]
同新	二八、〇〇	[illegible]
東新	一八三、四〇	一八三、六〇

333の秘密

死美人の腕に333の入墨、若きアパート美人殺しに絡はる驚くべき秘密『キング』六月號小說は躍る盛大評判!!

天氣概況（十六日）

本島は花蓮港が曇り其他は快晴の好天氣であります

▲天氣豫報（十七日）

一區（北部）　南の和風晴後曇

二區（東部）　北西の和風晴後曇

三區（西部）（南部）　北西の和風晴後曇

臺北地方　北西の和風晴後曇

（十七）

	淡水		基隆	
	滿潮	干潮	滿潮	干潮
前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

臺日案內

料金 [illegible]

書籍
●臺灣巡査看守試驗問題及答案集 六年版 定價一圓五十錢 郵稅八錢 臺北榮町 振替二番 新高堂書店
豫約月賦販賣 特價 部數 新本 岡本 臺北市本町二 文化教育會 畔見書店

醫院
X光線新設 內科 兒科 小林醫院 臺北大和町一ノ四二（入院應需）
齒科 清水醫院 臺北市[illegible]町 電話六七八番

高等理髮
江上理髮館 臺北京町三 電二一〇二番 御子供樣を御待ちします
今日の御召は 馬場理髮館 臺北本町二 電三九五八 第二京町一

世帶道具
寫石著盤 月賦 臺北榮町二 電一八三六 器具一式販賣 大倉分店

料理屋
水物一切 東家 出前迅速 兒玉町 電話五四三番・三〇七七番

藥種商
エナモル 便所くさみ止めに有效第一
月やく 世界に誇る安全洗下藥（を飲んで卽效く） 臺北川端町 [illegible]西山研究所支店
牛豚雞犬特效藥 臺北南門商會 [illegible] 元大甲街 電五三 安全商店

電器機具
芝浦 三菱 電扇在庫豐富 臺北本町三 電二二八 秋本特商店

履物
履物 大阪 高森商店支店 西門市場八角堂入口 電話內一〇番

雜件
各種ミシン修理 總切低廉 臺北本町一 電二七八三 パインミシン修理部
債券利殖法 月報呈 臺北市西門町三ノ一 [illegible] 債券月報社
特許商標 臺北旭町三ノ八 電一二八七 弁理士 岸喜鑑 事務所
酒保 尺八バイオリン マンドリン及ハーモニカ 琴 三味線 以上各到規則書（呈） 臺北市中島町二二 大日本家庭音樂會

御料理 竹の家 電話三三六八四番
割烹 丸新 臺北西門町 電二〇五
北投臺銀俱樂部通り 丸新支店
割烹 すき燒 小永樂 西門町二丁目 電話二八四七九番
割烹 梅の家 電話八七八番
割烹 日本亭 電話二一七〇六番
割烹 梅本 電話五五三番
割烹 新喜樂 電話一三四二七番
割烹 梅屋敷 電話九七六番

遞信官吏
志望者はハガキで申込次第規則書を呈す 東京市神田區 [illegible]

寄鍋 天ぷら 御料理 中惣 電一八六八

1メートル＝3尺3寸
300メートル＝グリコ

尾澤 全治水
ひふ病なら迷はず全治水を御つけ下さい
●たむし ●いんきん ●しらくも ●水むし ●ぜにたむし
其他一切の皮膚病の良藥
[illegible]

斯界に冠絶せる
イーリック海水着
水練に、海水に、輕快明朗
カタログ進呈
BLACK CAT
スポーツ服裝問屋 大谷商店 大阪市[illegible]

ホーサン美肌クリーム
風鳥メール
近代的美人夏川さんのおすゝめするクリーム
●アレ止めに ●お化粧下に ●髭剃り後に ●お湯上りに
●あぶら顏の方に ●アレ性のお肌に ●お肌の若返りに ●色白くなる爲に

續殘月譜

（188）

志乃田勉司作
清水三重三畫

老醫者（二）

「お醫者さま」

優しい聲で、呼びかけて、おてるさまが、叮嚀に、頭を下げた。

「わたくし、てると申しますが、あの、大塚、いいえ、鈴木さまを御存知でいらつしやいますか？」

「はい、いや、これは」

と老醫者も、丁重に禮を返して。

「私、延壽寺の醫者、村山行馬郎」

と、名乘つた。

が、くるり、忽ち態勢を變へて。

「おい、關取！」

と、呼んだ。

「關取たあ、誰のことだ？」

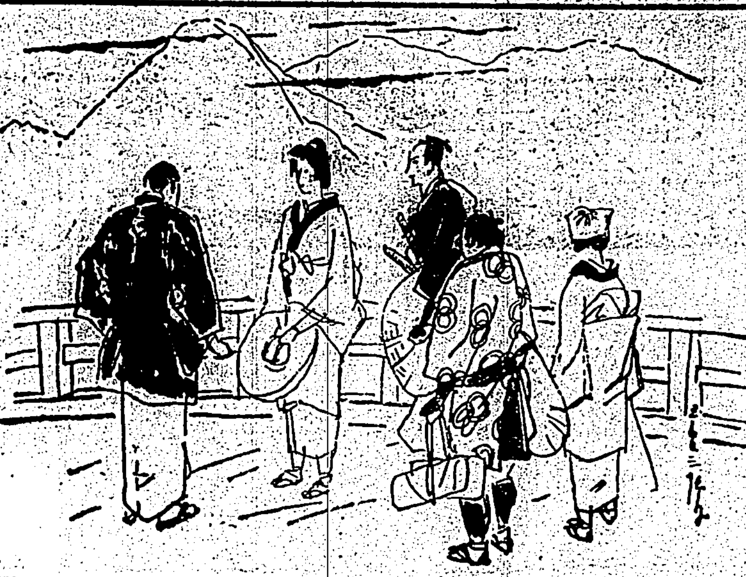
三子ケ浦、相變らず、怒つて云つた。

「知れたことさ、お關取さ」

と、村山行馬郎、空嘯いて

「主人に叱られるぞつ！」

「いらん、お世話さ」



三子ケ浦も負けずに、空嘯いた。

「ほほう」

すると、村山行馬郎、突然、驚きの聲をあげて、吉次を見た。

「よく、似て御座る」

と呟いて。

「あの、獅子鼻かな」

と來た。

「は」

吉次は、進み出て。

「拙者、藤吉次と申しまする」

「吾？」

問ひ返して。

「御養子をされて」

「はい」

「いい子持ちぢや、まだ、お若いにのう」

村山醫師は、つくづく吉次を眺めて。

「ぢやが、失禮な申分ぢやが」

と片頬に笑みを浮かべて。

「大分、父上とは、人物が違ふ」

「と、仰せられると？」

「段違ひぢや」

「吉次さまの方が、天晴れで御座いませう？」

おてるさまが、口を挾んだ。

「ちがふ、ちがふ」

村山行馬郎。

「わしや、諸國を歩いて、人を見ることを知つてゐる、獅子鼻は大事を爲す人物ぢやない」

「えつ！」

吉次が呆れた。

「父は如何で――」

苦笑しながら、訊ねた。

「それこそ、天晴れな人物ぢや」

如何にも感服したやうに村山行馬郎は云つた。

それを聞いて、おてるさまが頬を染めた。のを――見たか、見ないか。

「か、ぢや、吉田松陰先生ほど艶がない」

投げるやうに云つた。

「話せる！」

三子ケ浦が、喜んで、飛上つた。

「左様！わしは話せる」

老人醫者は、心持ち胸を反らせて。

「誰も合つてのう」

「ほ」

吉次が返事をした。

村山醫師、又もや、くるり、と三子ケ浦の方を見て。

「此の馬鹿が、いつまでも黙つて來ぬので御主人は御出發ぢやぞ」

「えつ、な、何ですつて」

果然、みんなは、顔と顔を見較べて、そして、一齊に老醫師を注視した。

將に――宣傳狂時代

日活の新華版「未來花」はフアン待望裡に華々しく封切られたが淺草富士館では六日夏川靜江のサイン入り名刺五萬枚を都下女學生に配布する事になつた

シナリオは脚で書け

――蒲田脚本部のメザメ●――

松竹蒲田映畫の撮影所蒲田脚本部は野田高梧部長が就任するやその陣容を益々固めて鬪志を漲らせてゐるが今度劇構成上唯想像の描寫では駄目だとあつて脚本部定期見學會を作り、月二回宛各方面の見學に出掛ける事になり、先づ最初に明治工場、コロムビア蓄音器工場、キリン・ビール、八王子少年刑務所等が決つたがこれに依つて從來机上で想像をたくましくして書き上げられたシナリオに今後は實際の情景がよく取入られて非常な效果を齎すであらう

水泳界の寵兒 クラブ主演の

密林の王者 公開さる

パラマウント社今春シーズン期待篇H・B・ハムバーストン、マックス・マーシン共同監督の「密林の王者」は去る十一日よりS・P系帝劇、大勝館、武藏野館に封切られたが、これはアメリカ水泳界の寵兒バスター・クラブ主演にフランセス・デイ助演で「ターザン」の興趣と「マルガ」の迫力を併せ持つた人と猛獸との一大爭鬪篇である

サンライズの 音響版 封切らる

故フランク・ムルナウの傑作「サンライズ」は新に音響版としてフオックス支社に到着したので去る十一日より新宿昭和館に封切られてゐる

臺日俚謡

課題、句數無制限、何人も投書し得、氏名は本明記

△誰を放れて島田を結うて君にどうして見せるやら　市勢　醜鍋

△それが短かい七日、櫻心つぼみを花にして　臺北　吐月

△實家任るにや五勺の酒も嫁入學した醉ひ　臺東　練腎

△雲間こぼれて庭一面に聲が散かる揚雲雀　基隆　刀水

◎浮名立てずに振袖すてて野良で聞きましよ揚雲雀　新竹　優芽二

（評）自力更正の心が嬉しい

追加吟

◇庭に出る前一と寢なりと聞きたかつたよ時鳥　知狂

臺日聯珠

『大安橋』正解（其二）

（二）乙より眞詰
（五）の打ち揚げ
本田荒石案係圖

第一圖終局

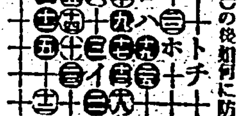
▲（五）勝、後「イ」又は「ロ」「ハ」

△（四）反對も同じ

△（三）反對なら（三）の後四追

△（二）の諸變化

1「ニ」なら（三）と引き（三）なら（三）（三）の後如何に防ぐも四追



2「ホ」なら「ロ」に引き絕對「ハ」に止めさせ（三）と引く迄

3「ト」なら「ロ」に引き「ヘ」に止めさせ「ハ」と引く迄

4「ハチリ」の内なら「ロ」の後四追

△（八）以下の變化は「聯珠」三月號に發表

【入賞者】島田爽石、宮城城月、西東不二、舟橋民次郎、本田荒石

【選外】淨田舟月、橋本星雄、西田彩賀、楠下頭夫、田中吾竹、押山一郎、岩崎互、大野彩珠、太田吉哉、山科ふみ

畫家の驚き！

お孃サン…實ア僕！先刻から何かしてお孃サンの生々とした、そして、とても明朗な地肌美をうまく描たいとあせつてゐるのですが、今の僕の腕ぢやむづかしさうで…眞に僕ア眞に…

『ホホそうだつたのウ…私！はまた何してこんなに遲いのかと思つてゐたのよ…

『それにとても甘い良い匂がするので…ツイ其ウふらツとしそうでヘヘヘ

『アラ、ぢや私！お敎へするわ私！是で地肌が黑い方なので

オークル・マスターつていふ素晴しい色味の白味クレームを使つてゐるのよ、判つて……

『ヘエーでも何ですね…こんなに繪師が泌々と見ても、全く地肌からの、生々とした白さにしか見えないのですから、眞に優れた色味の白味クレームは效果的なものですねエ…フウム……

ホヰート・マスター

色味の選び方

▲血色よく肌黑き方に
オークルマスター
黄色…の肌色

▲現代的感じを見事に表す
ホヰートマスター
小麥色の肌色

▲深みある化粧
カカオ　マスター
ダークな肌色

定價
各色とも
大　金五十五錢
中　金三十五錢

オークル・マスター
新創製白味クレーム

漢文臺灣日日新報

經濟組織委員會內容
外務省發表

東京十七日電。去五月十二日。倫敦開國際經濟會議組織委員會。關稅休日案意見已一致。外務省於十五日。委員會經過並會議後發表。其聲明內容。以談話形式發表。要旨如左。

五月十二日午後。英國外務省。開國際經濟會議組織委員會。英國外相蔡文氏爲議長。六月十二日。英首相馬克陀氏爲議長。在倫敦開催。審議國際經濟會議有關聯之關稅休戰提案。同會議有代表組織委員會。一切國之代表者出席。決議左記趣旨。全會一致可決。

決議趣旨

代表國際經濟會議之日本、英、德、白耳義、美、法、意、諾威政府。方與關稅休戰會議開始時。認採用之緊要。前記諸政府。更確信即時措置爲極重要。六月十二日前。及會議中。不阻害現在通商。但千九百三十三年七月三十一日以後。以一月豫告不論何時。保有脫退該約束之權利。

經濟會議前途悲觀
紐育銀塊大暴落

紐育十五日電。銀塊市場。先週來續落。本日因倫敦經濟會議前途悲觀。賣物殺出。現物先物皆暴落百四、六十波引。

陸海軍司法三省
發表原案脫稿
十七八日中或發表

東京十六日電。陸海軍司法三省發表原案作製所關合議。自十五日午後二時。至八時二十分。亙七時間以上。小山法相。皆川次官。三局長。林檢事總長等。特爲參加。照合軍部對案及司法省原案。作製發表案。經已脫稿。十五日池田書記官徹宵整理。爲發表案。十六日早朝。與軍部更協議。其期日大約十七、八兩日中也。

重光次官起用
外務人事一大刷新
少壯派多大期待

東京十六日電。重光公使起用次官。我對滿外交局面期待展開。同時從來沈滯之外務省人事。必見刷新。省內少壯派。至大期待。即外務省人事。於幣原外交替機會。當然一大刷新。然芳澤外相起用有田次官其消極的方針貽害。此期待全然失望。少壯強硬派頗不滿意。今回起用重光次官。谷亞細亞局長。白鳥情報部長等。緊密連絡實現。少壯派參畫外務省人事樞機。在外使臣。近將相當廣範圍更迭。昨年一月以來懸案之人事刷新。可期待其斷行也。

何應欽
脫出北平

天津十五日電。據華軍確報。何應欽於十三日午後十一時。脫出北平。向保定去。

傅作義
任察哈爾督軍

十五日南京電。日本軍進擊灤西。次察哈爾方面亦危。國民政府。十五日任命傅作義爲察哈爾督軍。張殷英爲副督軍。

方振武軍先頭
到張家口

十五日北平日電。據中國情報。鄭州方面方振武軍。以抗日戰參加爲口實。紛々北上。其大半既到宣化。先頭部隊。到着張家口。

服部部隊
攻擊敵陣

奉天十五日電。坂本○隊右翼服部部隊。十三日午後。占據龍井關附近。更擴張戰線於西方。敵陣頗堅固。攻擊不如意。主力

服部部隊占據遵化

奉天十六日電通至急報。服部部隊。十五日午前十一時。占據遵化。

新開嶺華軍死傷六千

北平十五日電。中央軍二師。據新開嶺天險。因被擊退。死傷六千。師長高杰十四日午後三時。自前線逃入北平。協議對策。

仍在灤河上流左岸。一

邦軍飛機
偵察保定

十五日北平電。據中國保定來電。十五日午前九時頃。日本飛行機三臺。至保定上空。偵察同方面。

高州獻穀粟
拔穗祭
拔穗使知事

高雄州獻穀粟園拔穗祭。去十五日午前十時半。於屏東郡番地沙帝門社耕地執行。有官民代表。學校各團體代表。青年團。少年團。外番人。公校兒童頭目。勢力者等。二百五十餘名參列。齋主高橋社司修祓降神等。拔穗使野口知事。由加藤技師先導入粟園拔穗。次奉玉串。武田郡守。奉耕人總代。文敎局長代理高橋事務官。殖產局代理山田技師。外郡部官民總代。順次奉玉串。午前十一時五十分閉式。一同于齋場撮影紀念。終分神酒散去。驅自動車下山云。

唐山被爆擊
中國軍總退却西方

天津十五日電。十五日午前九時。及正午頃二回。飛行機三臺。爆擊唐山。公安局。景新洋灰會社工場出火。其他紡績工場等受損害。全市民戰慄。又集中於唐山之中國軍。因豐潤陷落側背受脅威。更遭飛行機襲來。呈大混亂。向西方總退却。

百六師行踪俱不明
似叛歸分散滿洲軍

天津十五日電。灤西中國軍前線。今者大混亂。中國軍最左翼之第百六師。全部行踪不明。北平軍事分會狼狽極力搜査其行踪。全軍分散。有叛歸滿洲國軍形跡云。

臺北州業佃新事業（中）
八年度指導牒耕改善

三、農業經營之改善（一）肥料其他必需品共同購入。（二）生產物共同販賣。共同出貨。（三）施肥法改善（四）選定副業利用餘剩勞力。（五）協定勞働賃金並利用交換勞力。（六）節約冗費。積蓄資金。（七）時々開研究會。懇談會。（八）視察先進地。開講習講話會等。（九）斡旋貸與農業經營資金。以圖經營圓滑。（十）作製年中行事表。（十一）獎勵深耕。（十二）圖綠肥堆肥改良增產。（十三）畜產改良。

四、農村生活改善（一）確立農業經營方針。（二）使爲自作農。（三）樹立舊債返還及家產造成等計畫。（四）備置勤勞日誌于家計簿記入。（五）改修農具。（六）設定組合是。（七）時間勵行。並社交上改善。（八）勵行勤儉。（九）設娛樂機關。（十）開家政講習會。修養講習會。（十一）勵行國旗揭揚。（十二）表彰優良組合員。以上各項目。應其地方之事情習俗。擇其適宜者而實行之。至于業佃協調實行組合之條件。曰建設理想農家。及理想農村爲大目標。其中分作農道精神之作興。安定經濟生活。實現共存共榮三要目。而農道精神之作興。在敬神崇祖。及質實剛健。在勤力行。安定經濟生活。在販賣合理化。生產合理化。生活合理化等。其他實現共存共榮。在鄰保相助。協調融和。文化向上。共同娛樂等。

一、助成佃人開農談會。佃人階級。智識程度概見低下。且乏耕作資金。故于享受諸項農事改良施設獎勵機會絕少。因而難期農業經營改善。並農業經濟向上。爰于本年度。特對佃人。指示州及州農會施設獎勵事項。與業主愛佃施設獎勵事項相呼應。改除向來消極的佃人根性以研究的態度。使改善農業經營法。以圖積極的增加農業收益。爲期農村經濟更生。于各街庄業佃會利用農閑期。于適當之處會集業佃會所定書式契約完佃人。就農業經營合理化。與協調思想。爲實際的訓練。俾佃人爲愛農親土之農民也。（未完）

就蓬萊米
開座談會

臺北市正米市場組合。米穀移出組合。米穀代行會社等。乘加賀卯之吉氏。及東京米穀取引所吉田常務理事。西田同檢査課長等來臺之機。於去十五日午後三時。在鐵道旅館。開米之座談會。移出商正米市場。組合員等外。磯博士。梶原州技師。小田米檢技師。及來臺中之深川米商高橋與四郎氏。亦出席。總員約四十名。由貝山正市常務。就座長席。就臺灣米之生產。品質。乾燥。調製。及聲價問題蓬萊米清算。市場代用制。與同別建取引問題。並東京市場。與臺灣關係。並新米穀統制法實施之米價。及臺灣米之影響等。以吉田。西田。加賀氏等爲中心。一同熱心座談。至七時。散會。

全島實業大會
七月十五六兩日
將開於基隆市

全島實業大會。既如前報。訂七月十五、十六兩日。開于基隆市。合港祭。一並於去十三日礎商會。各委囑委員。着手準備。又大會兩日間。日程如左。又會場。欲借用合同廳舍一階之大客廳。

▲十五日　午前十時。開委員會同所有市尹招待午餐會。午後一時。續行同四時告終。午後六時出席於海水浴場快樂園臺北州知事招待之晚餐會。散會。

▲十六日　午前十時。入本會議。附議委員會廻付案。正午受基隆公益社。饗應午餐。會議告終。然後一同。記念撮影。參觀市內各所。同夜六時半。在顏國年氏邸園。觀覽藝妓手踊。其他餘興。續開模擬店大懇親會。散會。又出席數。料有二十團體百三十名。乃至百五十名云

花蓮港賣氷
全歸電氣會社
小賣十錢

花蓮港漸入氷需要期。當該登氏所有稻住製氷工場。經售于鈴木耕太氏。鈴木氏將該工場製氷販賣等。委任于花蓮港電氣會社製氷部經營。於是本年度。製氷販賣權。全歸于電氣會社。現在製造能率。一日十八噸。需要日約十二、噸。漁船用。每貫六錢。一般小賣。由從前十二錢降至爲十錢云。

灤州地區總指揮
萬福麟退避天津

十五日天津電。在唐山灤州地區總指揮萬福麟受何應欽決死的抗日嚴命。以唐山爲中心。北寧線配置王以哲第六十七軍。其以南配置何柱國第五十七軍。將欲決戰。前線將士。既無戰意。全部崩潰。何柱國司令部。後退廬臺。萬福麟大勢已不能支。十五日午後。乘飛行機退避天津。

何柱國遁入開平後
再整陣容向前線去

奉天十五日電。何柱國遁入開平。十日午後。歸灤州西北宿莊。再整陣容。向前線去。

讀者優待
福引抽籤
番號廿日發表

本社三十五周年紀念事業一萬圓讀者優待大福引抽籤。去十五日午後一時。由南署巡査部長相馬捨藏氏巡査水谷博氏兩警官立會。本社長谷支配人其他關係者列席。在本社講堂嚴肅舉行。首由長谷支配人先開抽籤券箱之蓋。依一社員之手自一等至五等順序決定當選番號。至同二時。無事告終。其當選番號擬發表於二十日本紙上云。

坡心信組
來臨時總代會
議農倉等案

員林郡坡心信用利用組合依日前役員會決定事項。訂來二十一日午前九時。在坡心公學校內。開臨時總代會。決定將附議農業倉庫經營及販賣。購買。利用各部兼營所關定款變更各件云。

員林西瓜盛出
檢査員不足生產者恐慌
督府按近日中增派五名

臺中州員林地方之同年西瓜生產數。據員林柑橘西瓜同業組合之調査。比昨年之六萬顆。有減三成。即約四萬四顆（內地移出品）。現盛出期。而同年價格。比昨年時價高貴。生產者。莫不欣喜。至移出業者。亦以大量的。競爭買集移出。然同檢査所之檢査員。現僅九名。每一檢査員。一日之檢査。因制限百二十顆。乃十有九上顆。故每日能得檢查者不過七百顆。不上三分之一。衆之倉庫不足關係。生產者十分狼狽。移出業者。亦均恐惶。故同組合日前來。屢々向督府。陳情檢査員大增員。聞督府當局。經已諒解。按近日中增派五名。然據某人移出業者所云。雖增派五名因每日檢査數。制限過對尙不得十分。故欲期同滑手少亦要再四檢査員五名也

馬公街畤裡豚疫

馬公特電。馬公街畤裡。去十二日發見豚疫。澎湖廳及馬公支廳接報。急集殖產關係者。講究對策。努力防遏。現在罹該疫者有三十頭。斃死三頭。現査傳染經路中。顧澎湖發生豚疫以今回爲始云。

計畫漁船海損救濟
照會督府勸誘人加入
全無遭難保險料減八成

關漁船所有者海損救濟。及獎勵團體積立金。爰在內地方面。有提唱漁船保險。農林省亦贊成。於是三菱海上保險會社。照農林省案。勸誘全國加入。「漁船保險相互組合」。既經照會督府水產課。該課亦贊成。欲喚起輿論。勸全島船主加入。該組合內容。大體如下。一區域船主合同。或以漁業組合等與保險會社契約。組合員將各漁船保險料。八成納于會社。餘二成納于組合若十隻附保險。其料金減一成。全部無遭難者。保險料二成。免納于組合。又保險料退還金。五十隻一成五分。百隻二成。而前記全無遭難時。再退還保險料。五十隻一成二分五厘百隻。三成二分五厘於是若五十隻無遭難時保險料總額得減六成七分五厘。百隻八成二分五厘。

臺灣博物協
且開發起人會

總督府博物館。本年値二十五周年。外雖壯麗。然其內容未完。及博物館活動。有缺憾處。故此次如使名實相稱。爲礎商創立博物館協會。計畫臺灣博物館。訂來二十日。在表町博物館內。開發起人會。

鳥松崎子脚
獻穀田拔穗祭

鳳山郡鳥松庄崎子脚獻穀田。定來十八日午前十時。於當地舉行獻穀田拔穗祭。現由山中鳳山郡守。發來案內參拜者列席云。

過於揮霍被拘

嘉義市西門町人張坪生。年二十三。開業洗濯屋。自十數日前狂于斗六街江山樓藝妓阿樣。旦夕揮霍。事被郡那賀刑事。視其行動可疑。去十二日午後一時。將其帶往郡衙。目下留置取調中。

蕩子末路厭世

高雄市大港埔人余玉春。年三十三。去十四日午前十一時頃。縊死在自宅房中。被隣人發見。急爲報官。聞其原因爲受所分配之財產皆耽溺於酒色。後頗爲悔悟。然已不及。遂萌厭世之念

臺南開元寺舊住持
誘官家妾逃往南洋
終客死廈門思明路煙館中
妾早已溝水東西不知去向

有僧成圓者。元臺南名刹開元寺之住持也。俗姓鄭名從興。北之退居人。又某少年時。即勘破風塵。祝髮圓之覓山。作苦行頭陀。時成圓。甫七歲。某便攜去爲小沙尼。意欲父了。同時淨業。及某死。成圓已弱冠。買棹歸來。掛錫開元寺。僧衆以齒稚少之。不得重用。然渠性慧黠。有幹才。寺中凡百事物。得其帮助爲理。莫不屑擧目張。井々有條。老和尙傳芳。頗善視之。委以要職。未幾則任監院追傳芳師西歸。遂承其乏年未及壯。而丰姿濯々。有壁人之目。先是寺有宦家妾林氏。侍主養痾在焉悅成圓俊倜。時相親暱。成圓心惑之。竊思染指。無如僧多目衆。大難作爲乃密與某妾謀。願双飛遠適。偕老白頭。妾從之。於是彼此各捲其財資。計約萬金。逃之南洋。托一席於市。以賣藥爲業。鶼鰈相依。儼然伉儷。詎意佛氏有靈。未期年。所有之資。斷蝕淨盡。乃淪落而之厦門。居無何。病魔爲祟。稍以目疾。調治近一載始瘥。半失明。然已一窮徹骨。糊口維艱。不獲已。混迹賭場。冀可一博猶贏。第終難僥倖。身又染煙癖。途窮日暮。遂挺而走險。集二三無賴。被途搶劫商旅。案發。爲駐厦領事逮解回臺。因家無儋石。未易株守。旋復密航赴厦。仍於賭場煙館間度其乞兒生活。嘗與流落時。泉州某大叢林方丈。勸其回頭。渠不之聽。月之十一日。竟斃於思明路某臺人煙館中。當道恐係他殺。乃延中山路吳起春醫師。蒞場相驗。確爲病死。檢其所有品。並無護照。併氏名亦不之詳。比詢館中人。始知其係臺南古刹之舊住持。故令該籍民。草々葬埋之。嗚呼淫僧結果如斯。是豈非爲佛門弟子。留一借鏡。聞該逃妾。久已東西溝水。各自分流。不知將若何了局云

高雄警察後援會
發起人實行礎商
決定分區募集基本金

高雄警察後援會實行礎商會。去十五日午後一時半開于公會堂。官廳有佐々木警務部長。工藤警察署長。清原行政主任。及發起人諸氏出席。代表者中村一造氏敍禮。宮川報告經過。工藤署長敍禮。則議實行方法結局。將市內一圓。內地人分十五區。本島人分十一區。各設委員著手募集基金。最後警務部長敍禮。乃閉會。該基金募集。豈不少有自發的申入者。而臺灣鐵工所職工。亦寄附七十圓云。

常備保身用具
編鄉軍隊

關警察後援會。第一回施設。警官非常時召集應援常備保身用防彈衣。催淚拳銃。改良手鎗拳銃等。訓練騎馬警察隊。及充實通信輪送機關。以臨時得編成在鄉警察隊。又平時施設。使法令周知。防止犯罪。及事故發生。開講演會。座談會。講習會。映寫會等。努力警察思想普及。而對其他方面。亦有計及。該會基礎堅固後高雄警察陣容。爲都市警察官。面目一新云。

南市庭球比賽

臺南市內春季軟式庭球比賽大會。由體育協會臺南支部主倡。定來十八朝八時半起。開於竹園町球場是日與賽團體三友。交友專賣局。法院外數團。每團五組。比賽方法。以七回決勝云。

臺南魚市場
鮮魚少鈍市

臺南魚市場。沿岸雜魚以外。由基隆。高雄配到鮮魚極稀。去十三四兩日。僅得高雄配到少數。本月起十三日間。糶出九千六百圓。比客年同期。約減二千圓。然例年於五月中入荷不少。至六月頃漸減。顧本年度澎湖近海。漁場不良。而北部漁場。漸入捕獲期。此後僅仰給于基

無免許助手
操自動車
撞倒自轉車客

臺中市榮町。蔡仁和商店員。黃耀西。年十六。鹿港街人。去十五日。午前十時頃。往商工銀行預金。歸途乘自轉車。至第一市場前街路。被中部晚客自動車。五〇九號。操縱者。無免許助手。徐萬成撞倒。自轉車破壞。黃後頭部受傷。起腦振盪。路手人事不省。隨即載入體仁醫院治療。生命危篤。接報。警察署富田司法主任。到現場檢證。

久羅肺病不醫
迨危篤竟死在驛前
屏東郡鹽埔新圍庄農夫

屏東郡。鹽埔庄。新圍人薛萬亨。年四十。素業農家雖小康。性極吝。數年來。染肺病。不肯就醫服藥。致病愈重。迨去十四日午後。病勢已陷危篤。乃乘自動車來屏。欲就醫救治。至東與材木店前。喉頭起結核。陷于瀕死狀態。適被同街。懐德醫院之藥局生發見。爲雇人力車。昇到當院。醫師郭一清氏。急爲下藥。囑須暫宿旅館靜養。不可搖動。薛欲泊旅館。又恐多費。竟宿於東山木貨屋。經數時間。身體似覺爽快。遂將醫師所囑。不可搖動之言。置諸腦後。獨行至屏東驛前。欲乘自動車歸去。一時痰湧。倒地而亡郭醫師接報。趕至現場。一見之下。深表同情。誤薛爲貧寒者。乃急召集方面委員。（蓋郭亦方委之一人）爲備棺木。出診斷。甫完備。薛之家族已趕至乃將屍體。交與領回埋葬究累郭醫師。忙個不了云

市內小火

臺北市太平町四丁目五十

淡水媽祖宮
管理人會

淡水街媽祖宮。去十四日開本年度初次管理人會。協議竪立重修碑記。及修理左畔家屋出租事。無事通過。又關新建福德祠于該廟後一節。各管理人。以事關大局。暫作罷論云。

體協臺北支部
陸上競技先聲

臺灣體協臺北支部。主開第五回臺北支部陸上競技大會。訂來六月四日。開之帝大競技場。參加料三十錢。參加種目。一人二種以內。（除繼足）但不舉行女子競技云。

新竹

共勵總會

新竹郡聯合產組共勵會總會。十二日下午二時。會長代理上山郡庶務課長。各庄長。產業組合長等列席開會。上山課長報告米案成績。決議產組加入故八年度事業。農業倉庫急設肥料共購諸項。原案通過。四時散會。

密吸被拘

新竹市水田鴉江泉。年近六十爲阿片癮者。此次入新竹更生院矯正。其娘蛤子弄水煙。自十日以來。由市內私片小賣人偸密煙膏。供父密吸。被刑事査知。拘密水煙。一面于十四日。前至江泉處。家宅搜査。

春蠶收繭

新竹州下春蠶收繭。最近穀價漸臨。且內地斯業者。飼育原蠶頗盛。據所統計。第一回內地原蠶收繭已終。目下第二回蠶種羽化中。此番收繭人數益

臺中

少女投水

臺中市有明町人。莊氏玉闌。芳齡十六。去十五日。午後四時頃。踊入臺中公園內池中。欲圖自殺。被救起。交錦町派出所。原因似有難言事情潛在。詳細正取調中。

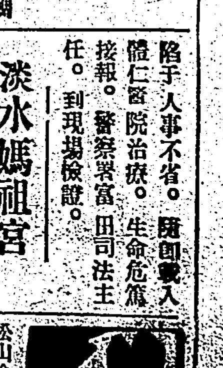
懲役十年

北斗郡二林庄洪允成。年二十六。殺死二林分室巡査蔡琴。傷害致死事件。去十五日。在臺中地方法院。刑事二部。豐川裁判長係。吉田檢察官立會。判決懲役十年。

臺南

截途毆打

去十四夜十二時頃。臺南市錦町武廟後道中。突有臺人數名



是々非々

松山徐某。久爲官吏。及就諸六職。各有成績可觀。爲近退營淡々。滴遇好機。乃々妄人興意毀之。眞不樂成人之美也（七）郡下一友人）大甲郡沙鹿庄。經新庄子南屯透至中間州道藥道路。聚就許久。間有中滴自言事。屢請經營該線。當局曷不及早許可。以便交通。（住民渴望）板橋某保正。眞無公德心。將保甲路開作自己土地。致廣大道路。變成小路。路車及牛車。不能通行。總使車來往。亦甚危險。望警察當局査看之也。（損人利私）斗市國某。嘗勸人和好息訟。其係兵生意日隆也（一感心者）北斗街購貨付保。對一般組合員。宜更加親切。若滿足自尊大。對組合員。差別待遇必招衆怨。非武營之道也。（一組員敬告）

大湖八百張。竹南五十四張。苗栗五百二張。計一千三百五十六張。

消防講習

新竹州保安課。十五日起。派田村州警部補。駒井巡査。召集警官六十六名。壯丁團員百七十四名。開消防講習會。

調查員會

新竹州稅務課直轄。于十三日同課及桃園稅務出張所。于十五日。各開八年度所得稅調查委員會。

埔里

醉漢無禮

月十二日夜九時半頃。國姓庄川役米。與當局曾某兩人。假裝得大醉。擅自侵入當街黃某家宅。肆行無禮。毆闖一場。追至十二時險被警察田邊兩巡査檢束云。

冰價大起

埔里街元來製氷工場二處。一乃二陳某。共同經營。一是柯某。個人經營。迨今當地氷價每貫金十錢。因陳某等。共同上。生出感情。致自今夏起。停業不製。但柯某自前月十七日起。每貫昇價五錢。（即每貫金十五錢）自是一般需用者之非難之聲不絕云。

互相爭鬪。登時本町派出所郎巡査來。將數人悉爲捕去。訊問結果。一係同町一丁目林淸江年三十餘。有一家屋。租與白金町渡邊寫眞師雇人。名二英。原因當爲欠林家貸。二十一圓。林以七十圓額。向地方法院訴求。李惡其無理。於於途中藉事爭之。是時適林從弟林河匯到。見乃兄與人混鬪遂竭力相幫。幸警官卑來。不然難免無釀成命案云。

撞傷船體

高雄第二號係有所屬傳馬船二隻。繫於同市田町山口造船所前之運河。去十三晚九時頃被同所出帆中彭人所有發動機船東益丸所撞。傳馬船體。頗受損傷。同時被高雄憲兵分隊所知。經將東益丸船主孫某拘去。現取調中云。

屏東

女賭徒六

去十四日。午後六時頃。屏東街。二五九番地。王蔡氏鋼宅聚集女賭徒一伙。即同街。吳張氏對。年四十六。黃枕氏牛。年五十。呂氏買。年四十七。蘇郭氏金。年五十二。呂陳氏帖。年三十九。鳳山郡。大樹庄。張氏錦。年五十九。共賭四色牌。被郡警局刑事探知。立到現場。一網打盡。拘入郡衙訊問中。

誘蛾燈火

屏東郡。九塊庄。稻田一帶。自設置誘蛾燈以來。成績頗良好。每夜誘蛾。平均獲有數百萬頭之多。稻苗發育。極見順調云。

會事

▲彰化郡花壇庄三家春第二區振興會會式。去十五日午後二時起。在於公地舉行。會員出席男女合共二百餘名。來賓有佐伯庶務課長。平原警部。佐佐木庄長。李助役。林三家春保甲長各派北委員。以及多數列席。先由蔡財氏。述開會辭。次一同起立。合唱君代歌又有兒童學藝演奏。選舉。會長蔡財氏。副會長蔡長氏。郡專蔡火財氏外九名。顧問佐佐木庄長外五名。佐伯課長。佐佐木庄長同校長相繼致祝。至四時閉會解散。

人事

▲中壢郡楊梅庄。黃坤壓氏。令弟。坤岩君。者番卒業日本齒科醫專。入臺北醫院齒科研究云。

▲本漢文部員黃贊鈞君。與臺南門南國公司蔡瑞亨氏長女美鸞聯婚。十六日。舉行結婚式。蔡黃兩家。各主張。剷除繁文縟節。廢聘金。且不受親友致賀云。

▲三菱商事會社高雄出張所務會計主任黃及時氏。最近榮轉臺北支店。按本月下旬赴任。

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

編輯兼發行人 [illegible]
發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

本紙定價 一部五錢・一ヶ月前金壹圓[illegible]

日本一のやさしい英語雑誌

一年の英語

ABCの第一課から

教科書と並行！

6月第3號

一年生の副讀本

一年諸君！諸學科の中で一番大切で一番面白いのが英語です。後々の高級英語も原書讀破も皆此の「一英」の門を通らねば到底物にはなりません。本誌は面白い外國實話や英語讀物や漫畫などを讀んでおる內にいつか教科書の復習も総らせウンと英語の力をつけて上げます。又獨學生にも日本一の家庭教師！六月第三號をお早く！！

獨學生の教科書

內容の一部

・舟遊び（第一リーダ）
・書く英字（英習字の話）
・ミサイアスのゴリラ退治
・この鈴を御覧いこ（應用英作文）
・仲よし同志（第一リーダ）
・俠の學校（やさしい英作文）
・蛙（第一リーダ）
・聽き取り放送
・英語おさらひ會（リーダ復習）
・鬼退治チャック（イギリス童話）
・森のクーグ殿（英文譯めぐり）
・お天氣の會話
・お宅拜見（英國めぐり）
・ゴリとストップ（命令文）

定價三十錢（送料二錢）半ヶ年分前金一圓八十錢

東京麴町富士見町六
研究社
振替東京二八六〇一

●研究社英語雑誌六月號●

四月・五月號は本社にあり、御注文下さい。

二年の英語

中學 高女 二年程度

新二年生諸君！明らかな六月です。我が「二英」は新入學生界の人氣を集中させてゐます。直ぐ讀み比べて下さい。西洋童話や、讀物や、漫畫や、懸賞等に愉快に明らかに遊び乍らいつか英語の實力にして上げます。直ぐ書店へ驅けつけて下さい。目醒める折りの新號で愛讀を待つてゐます。・定價三十錢・送料一錢（半ヶ年前金一・八〇）・

三年の英語

中學 高女 三年程度

新三年生諸君！英語は日に日にむづかしくなつて來た事でせう。併し「三英」誌友だけは平氣です。それほどに愉快に易しく實力がつく雑誌なのです。教科書といつも並行して親切に解釋し、その上教科書外の時事文やスポーツや科學の方面までも判るようにして上げます。清新な六月號を賣切れぬ內に！・定價三十錢・送料一錢（半ヶ年前金一・八〇）・

上級英語

四五年及受驗程度

新四五年生諸君！愈々受驗時代到來です。我が「上英」誌友の誇る可き時！昇上迄もなく上英さへ毎月味讀してゐれば教場の豫習復習も完全で且つ續々として實力の實は上がるからです。徒らに高價な尨大な參考書をあさるは愚です。速かに本誌を熟讀御利用下さい。充實せる六月號發賣！・定價卅五錢・送料一錢（半ヶ年前金二・一〇）・

商業登記公告

●瑞芳興業株式會社（變更）取締役田中清監査役茂宮末男ハ昭和八年五月拾壹日辭任同日基隆郡瑞芳庄九分貳拾五番地島田利吉ハ取締役ニ同所同番地三毛猶次郎ハ監査役ニ各就任

右昭和八年五月拾五日登記

臺北地方法院基隆出張所

公示催告

本籍東京市豐島區巢鴨二丁目十一番地

最後ノ住所臺北州臺北市龍口町二丁目十七番地

不在者 石原百太郎

慶應元年十月五日生

右者ニ對シ利害關係人石原貞雄ヨリ失踪宣告ノ申立アリタルヲ以テ不在者ハ昭和八年十二月二十二日午前九時迄ニ當法院ニ其ノ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其ノ屆出ヲ爲サザルトキハ失踪宣告ヲ受クヘシ右不在者ノ生死ヲ知ル者ハ前記ノ期日迄ニ當法院ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ

昭和八年五月十三日

臺北地方法院民事部

臺灣銀行券發行平均高

自昭和八年五月七日
至昭和八年五月十三日

銀行券發行高 四一、四〇三、五九六・〇〇
準備 正貨準備 二三、六二八、八六三・〇〇
保證準備 一七、七七四、七三三・〇〇

昭和八年五月十五日

臺灣銀行

支部長 誰れも出來地方にて大歡迎月收多大確實あり高尙で簡易有望案內ハガキで申込次第會則送る

東京市中目黑十四 國民教育獎勵會

大阪商船 基隆出帆

門司神戶行
瑞穗丸 五月十七日前十時發
蓬萊丸 五月廿三日前十時發
扶桑丸 五月廿七日前十時發

近海郵船 基隆出帆

門司神戶行
朝日丸 五月二十日前十時發
吉野丸 五月廿四日前十時發
大和丸 五月廿九日前十時發

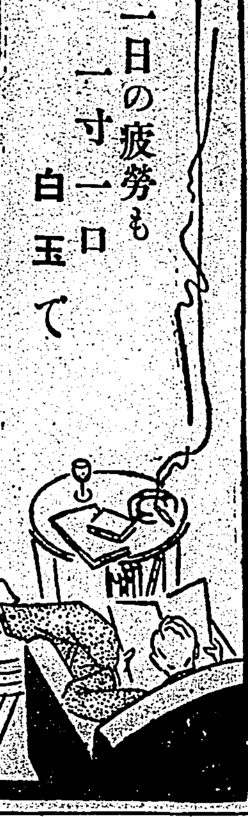
大連汽船 基隆出帆

大連直行
山西丸 廿一日午後四時基隆發
山東丸 五月卅日後四時基隆發

代理店 丸一組 高雄電三二四七 基隆電八九九 臺北電一八八一

絕對に着色せぬ純良白葡萄酒

白玉ホワイトワイン

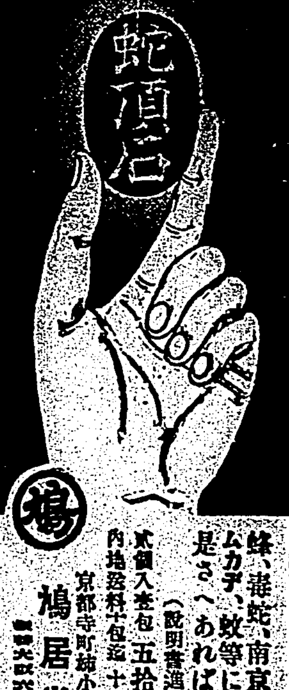


一日の疲勞も一寸一口白玉で

製造元 江井ヶ島酒造株式會社

毒蟲の妙藥

蛇頂石



蜂、毒蛇、南京蟲、ムカデ、蚊等にも是さへあれば

（說明書進呈）

貳個入壹包 五拾錢 內地送料十錢

京都寺町姉小路 鳩居堂 振替大阪六六三八

最新刊

貴族院議員 國際聯盟事務局前次長 新渡戶博士著

內觀外望

壹圓五拾錢 送料拾錢

日本が生める随一の國際人たる著者が、非常時日本の內外を洞察し、大觀し、國民に對つて呼びかけた名著。

著者が日本及び世界が、經濟的に思想的に大患に惱まされつゝある現狀に、深く心を痛め、卓拔せる識見と該博な學識を以つて、その大患の因て來る原因を究め、祖國愛の熱情より日本國民の進むべき大道を、宇內に宣明したる良書にして。現下萬人の必讀書である。

長谷川行生氏著

新時代の信仰

（神樣の御利益） 定價 六拾錢 送料 六錢

帝國飛行協會理事 四王天中將序・小山勝清氏著

定價壹圓 送料八錢

最新刊

科學戰爭

戰爭の勝敗は、最新兵器による科學戰によつて決定せられる今日、軍事研究家として令名高き著者が、非常時國民の必須的讀物として、本書を公にした。各項、巧みなる描寫に加ふるに精密なる寫眞說明を挿入したるもので、一讀何人にも面白い良書である。

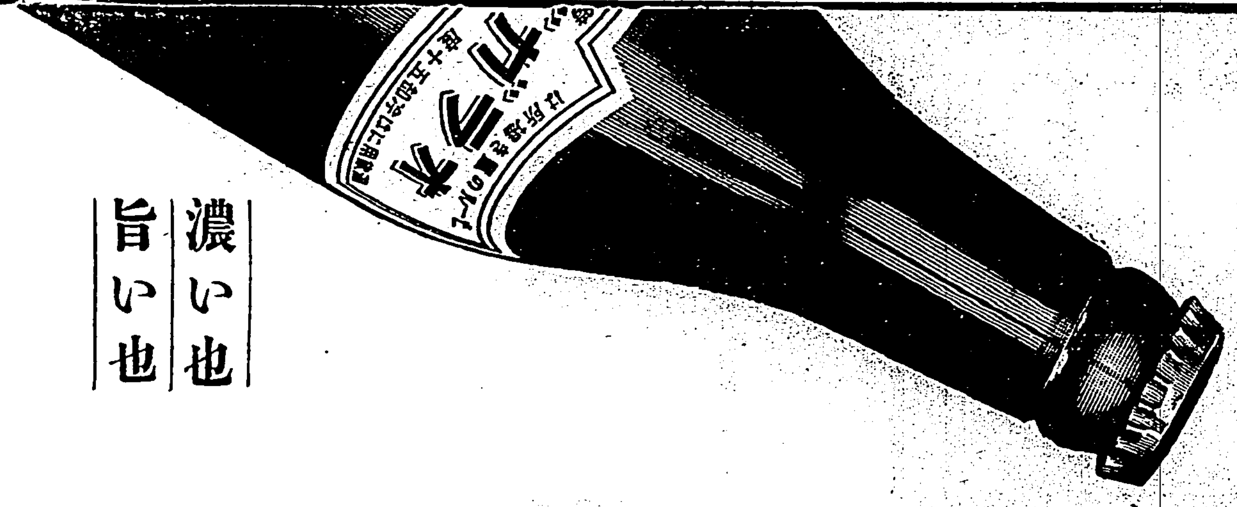
內容略目

△奇々怪々のカムフラージ
△突如斧上の大密會
△不可視光線
△夜でも見える暗視器
△無線の驚異
△秘密通信
△不可聽音波の出現
△敵前渡河作業
△無線操縱時代
△どうして帝都の空襲を防ぐか
△大砲の音を捕ふ音源標定隊
△機械化部隊の出現
△クシヤミ性毒ガス
△催淚性毒ガス
△殺人光線…その他

發行所 東京市京橋區銀座西[illegible]丁目 振替口座東京[illegible]番 實業之日本社

福助 足袋

製品は値打で賣れるお德用な福助



瓶レッテルに味はなし
オラガは知る……中身の價値を！

濃い也
旨い也

オラガビール

0104

三共 SANKYO

TAKA-DIASTASE 胃

タカヂアスターゼ

藥・工學博士 高峰讓吉氏發見

消化不良に
食慾減退に
榮養增進に

肺結核、病後恢復期
一般消化機能衰退時に
無比の奏效あるを知らる

タカヂアスターゼは、本品獨得の製法によりて造られ多種多樣の消化酵素を包含し、強力なる澱粉消化力を有するは勿論、蛋白消化力また強大、效力永久的不變、耐酸、耐アルカリ性強く、又その消化作用は茶、紅茶、コーヒー等に影響せらるゝことなき特色を有す。

粉末、錠劑、各種

[illegible]代進呈
多岐多樣なるタカヂアスターゼの消化作用を解說せる問答式說明書出來御申越次第送呈す

東京・室町 三共株式會社

ビタミンBの世界的始祖
效力毎製品動物試驗により檢定す

三共 SANKYO

オリザニン

一般脚氣、乳兒脚氣、姙娠脚氣等に對するオリザニンの特效的效果は今や疑ふの餘地なし。

オリザニンは又ビタミンB缺乏による榮養衰退諸症、例へば重病中に現はるる食慾不振、浮腫症狀、脚氣樣症狀等、又疲勞恢復の目的を以てスポーツ界等に盛に推奬せらるゝに至れり。

包裝 粉末、液劑、錠劑、エキス各種 （說明書進呈）

東京室町 三共株式會社

蓬萊米の包裝問題に就て
麻袋から叺への大勢を見よ

一

移出米包裝材料として叺を使用すべきか或は從來の麻袋を繼續すべきかは臺灣米界數年の宿題であり今日では叺の有利なることは殆んど疑の餘地なきまでにその議論も歸結して來た、斯る情勢の中にあつて去る九日五州米穀商同業組合が移出商同業組合宛に『本年第一期米より契約米は麻袋、叺の何れを問はず勝手渡しとするから左樣御承知ありたい』と通告を發したことは改めて本問題を世の輿論に訴へる機會を與へたものとして注目に値する。トランケン組合の右の如き高飛車的の仕打は當然移出商連の心證を害し從つて右の通牒に對する移出商の回答が內地方面の不贊成を盾にとり麻袋使用を今暫らく辛抱する樣といふ形式を取るに至つたことは現下の情勢として是非もないことであらう。併し顧つて考ふるならば、五州米穀組合が徐ろに叺の使用奬勵を當局並に移出商組合に陳情又は懇談することなく突如として右の如き一方的通告を發したことは、それだけ世人の注目を惹き叺使用に對する機運を促進助長する有力な投石であつたには違ひない。

二

本島に輸入される麻袋原料は年年四百萬圓を超え、そのうち砂糖包裝となるものを除いても移出米包裝用としての麻袋の檢査數は實に一千萬袋に垂んとしてゐる、而して此の莫大な麻袋は一部の商人に依て殆ど獨占的に取扱はれその營業上の利潤も尠からざるものあるを聞く、此事は少數の商人を利せんために年々數百萬圓の臺灣の富を徒に外國に捨ててゐる事を物語るものでなくて何であらう、麻袋の原料は輸入品なるが故に爲替の變動によつて其値段も不斷の變動を免れず而して又その配給は獨占的弊害に陷するを以て需要者を困惑させ自らも亦芳しからざる聲の種を蒔くといふ次第である、唯之だけの事實からするも麻袋は決して臺灣及臺灣米を利するものではなく、米包裝材料としては臺灣叺に合流すべき大勢にあるものではないかと思考される。

三

然るに實際問題として麻袋は容易に臺灣から影を消さず依然として生命を持續してゐるのは何に因るかといふに、恰も臺灣米に一種いふべからざる妙味が附隨してゐる如くに、麻袋にもそれ自身の妙味を保有し一朝一夕には解決することを得ぬ事情あるが故だ、卽ち內容物が消化された後にかける外包の價値が麻袋と叺との間には十錢の開きがあり此の眼前の有利な事實が容易に叺に乘取られぬ主要な力となつてゐることも考へねばならぬ。移出米商としては內地商人は有難いお得意先ではあり、その希望に副ふべく努力を續けて行きたいであらうことは吾人も諒解出來るところであるが、それは餘りに眼先のみに囚はれる考へ方で、寧ろ延いては日本の國益といふ大きな觀點からするならば、徒に因習に戀々たるは卑怯でなければ因循であると言はざるを得ぬ。されば移出商も大所高所より觀察して努めて叺使用を助長する樣盡力すべきである、勿論使用袋に於て麻袋と叺との間に値開きがある以上移出商としてはトランケン組合の要求たる同値に引取ることは事理の當然に於て不可能なことであらうから、價格の相違ある點は之を按配しつつ叺の滿出餘地を出來るだけ縮めてやるといふ風に致さねばならぬであらう。

四

それならば本島に於て早速叺が間に合ふ如く生產されるかといふに勿論之は望むべくもない、現在各州各地に於て叺製作の指導講習を行ひつつあり殊に員林地方からは少數とはいへ優良叺が產出する樣になつて來た、斯る事に力を得て稻の刈取りの際に注意し製造技術にも工夫を凝らすならば三年位の準備期間を經過することに依て內地朝鮮に劣らざる完全な優良叺を製作し得るに至り、且つ十ケ年にして本島需のみを以て移出米全部に對する叺の自給自足を達成し得るものとの見込みもある。斯くして本島農家の副業が起りその收入によつて農家が助かるばかりでなく高價な麻袋の需要者は一躍して低廉な叺に移ることを得、その結果は相當巨額の富の外國流出を防ぎ得るのである。例へば現在麻袋は三十五、六錢程度であり叺ならば十六錢乃至十九錢にて事濟むことから考ふるもその開きの如何に大きいかを知ることが出來るのである

五

然らば叺使用に方向轉換せしむる決定的の方法は何であるか、移出米商をして內地白米業者を說得せしむることか、トランケンの積極的叺使用か、麻袋の獨占的販賣を自由販賣に導くことか、何れもその效果を期待することは望薄である、結局は移出米檢査規則改正し麻袋を絕對に認めないことにするのも一方法である。尤も斯くする事に依て內地需要筋から多少の苦情や非難の出る事は覺悟しなくてはならぬ。この覺悟さへあるならば速かに斷行すべきである。叺が麻袋に勝ることは論議盡されて居り當局の方針も亦此處に存してゐることが明なる以上結論は簡單であると思ふ。斯くて內容の向上によつて今日內地米と比肩し得るに至つた本島移出米をして外觀も外米然たる貧弱さから救ひ出されて以て內容外觀何れよりするも他に遜れを取らぬ蓬萊米であらしめたい。之がためには當局の速かなる英斷を望む次第であるのみ。

北支の大局急轉直下か
中立政權の樹立を條件に
黃郛が日本側と折衝せん
蔣の密令を受けて

（天津十六日發電通）何應欽が北平より脫出すべしとの報道傳はり北支の民衆は支那當局の無力と無責任に呆れながらもこれにより平津の危機救はれんと稍々安堵の色を示し、各方面とも武藤關東軍司令官の聲明に深甚の注意を拂ひ、鳴りを鎭めてゐた保彊安民の烽火が勃然として起り猛運動開始の氣運濃厚化せんとしてゐる倘明朝著平の黃郛は蔣介石の密令を受け北支の中立政權を樹立するを條件に日本側と折衝することになつて居り、四、五日中には北支の大局は急轉直下し新局面展開さるべしと見らる

表面休戰を申込み
後方攪亂を講ぜん
『靑紗黨』に入滿の指令

【奉天十六日發電通】南京政府では灤東灤西の戰況は到底勝算なく徒らに兵を失ひ良民を塗炭の苦に陷らしむるのみなので表面休戰を申込み後方攪亂を目的とする便衣隊を派遣して滿洲國の擾亂を謀るが最も有利な方策と見做し、對日滿の方針を變更し着々その準備を進めてゐる模樣で、その一方法として最近藍衣社に比敵する靑紗黨なるものを組織して私かに入滿の指令を與へ潛入せしめつつあることが判明した

倘于學忠は十四日トラック八臺に滿載せる重要物件を佛租界の大陸銀行に運び込んだ、天津の住民は昨夜の爆彈事件と戒嚴令に一層刺戟されその上今明日中に一大クーデターが行はるべしとの說流布され恐慌の極に達し外國租界に避難する者續出した

支那側盛んに
停戰方を申入れ
我方は眞平と拒る

【天津十六日發電通】何應欽は形勢非なると民心離反せるに鑑み十五日午後元北平政府某巨頭を代理としてわが公使館○○武官に停戰方を申入れて泣きついて來たがわが方は『口先だけの申込は眞平だ』と卽時拒絕した模樣である、又府伯陵よりも停戰方申込あり中央政府の根本方針を齎し十七日著平の黃郛の動きとともに該數日中の支那側の態度が注目すべき形勢である

軍事政務委員會を
保定に移すに決定
重要書類を外銀に預く

【天津十六日發電通】何應欽は前線の敗報と日本飛行機の北平來襲に極度に狼狽し十三日最高幹部會を開き北平政務委員會を保定に移すに決し中央政府に請訓中であるが重要書類は外國銀行に預けた

于學忠の態度を
何應欽漸く怪しむ
中央軍の移動を請訓

【天津十五日發電通】支那側の消息によれば北支の形勢急迫に伴ひ于學忠の態度が漸く怪しいと氣付いた何應欽はこれが監視のため中央軍第十師を天津方面に移動せしむべく蔣介石に對し請訓を發した

治安攪亂者
死刑に處す
天津で布告

【天津十五日發電通】爆彈事件の發生に拍車をかけられ支那街の人心は極度に動搖し流言蜚語亂れ飛び戒嚴令下に十五日夜の天津は死の街と化した、支那官憲は治安攪亂者は直ちに死刑に處する旨布告した

北平居留民團が
特別委員會
形勢を觀望

【北平十五日發電通】居留民團は十五日午後四時四十分より特別委員會を開き協議したが結局形勢の見定めがつかぬので警戒しつつ時局の推移を觀望するに決定した

三萬の敵軍
再度の逆襲
川原、鈴木の兩部隊
應戰して大激戰

【奉天十六日發電通】川原、鈴木兩部隊は十三日午後二時以來敵大部隊の逆襲に應戰し、同夜之を擊退したが、敵は更に陣容を整へ十六日早朝總勢三萬の大部隊で再度の逆襲に出で目下激戰中である、川原部隊は午前九時南谷莊南方一キロ九松山の西北陣地を占領し引續き同地の第一司令部正面に突入激戰中である

平賀本部隊も
豐潤に入城
敵は唐山に潰走

【奉天十六日發電通】今朝九時平賀部隊の山縣枝隊は豐潤に入城し引續き平賀本部隊は豐潤南郊の敵主力部隊を擊破して十時半入城日章旗を飜へした、敵は皇軍の急追に算を亂して唐山に潰走した

王道政治を
希望の歎願書
天津實業團から

【天津十五日發電通】天津の支那實業團代表は十五日[illegible]れ等を一日も早く戰禍の苦痛より救ひ王道政治のもとに安住せしめられんことを望む

丁强軍司令部
を灤州に進出

【天津十六日發電通】丁强軍は十五日午後灤州に司令部を進め引續き鐵道沿線の殘敵掃蕩に當り居るが、一方多倫を占據した劉桂堂軍王永成軍は張家口方面を壓迫しつつあり、同方面の敵は北平方面に潰走しつつあり

戰傷者を送還

【奉天十六日發電通】第二次灤東作戰で名譽の負傷をした坂本部隊の將兵九十五名は十六日午後二時奉天驛着患者輸送列車で前線から送還されて來た、內三十名は奉天衞戍病院に入院、六十名は午後四時發鐵道病院に入つた

支那側の死傷
一萬數千
王以哲外二師
殆んど全滅

【北平十五日發電通】支那軍當局の發表によると灤河方面の戰鬪における支那側の損害は頗る多く王以哲外二師は殆ど全滅し死傷一萬數千を算すと戰鬪經過を報じてゐる

豐富な石油脈の
爭奪も宣戰の一因
チヤコの主權が生命線だと
ボ・パ、國力を傾倒す

【アスンシオン十日發聯合】パラグァイ河西部流域、四つの河に取圍まれた所謂北部チャコ地方の領有境界問題に絡まる紛爭は遂に惡化の頂點に達しパラグァイをしてボリビアに對し宣戰を布告せしめるに至つた、遠く半世紀の昔に端を發する此の係爭は幾度か交戰狀態と休戰期とを交互に反覆して居たが、昨年七月八日兩國國交**斷絕し**て以來は完全な事實上の國際戰爭狀態に入つた、該係爭地がボリビアに對して有する利害關係は主としてパラグァイ河に依る大西洋への交通運輸關係にあり、海港を有せざるボリビアとしてその歸趨如何は死活問題であり、之に對してパラグァイ側では該地方に產出する單寧製造材料のケブラコ樹脂に最近發見された豐富な石油脈に著眼して之を固執せんとするもので、兩國とも紛爭地の主權を以て其の生命線と主張し國力を傾倒して全軍事能力を動員し暗憺たる南米の空に血塗みれの**鬪爭を**繼續してゐる、特に今年一月末ナナワ要塞の戰鬪に於て兩軍ともに死傷四千以上を算し南米空前の大激戰を展開した慘澹な光景は未だ記憶に新しい所である、國際聯盟では二月末本紛爭問題に關する理事會を開催し規約第十一條に依る兩紛爭當事國に對せる武器輸出禁止案を審議、アイルランド、スペイン、グァテマラ三國代表を以て成る三人委員會に右に關する決議案の起草を依囑し三人委員會は直に決議案を起草理事會に提出し理事會は之が審議を繼續以て今日に及んでゐる

四百の反蔣分子を
北平で一齊に檢擧
盛んに反蔣傳單を撒く

【北平十五日發電通】戰局灤東より灤西に移り又密雲一帶に移り平津に脅威を感ずるに至るや平津各地の反蔣運動は猛然表面化するの形勢となり北平城內は戒嚴令が布かれてあるにも拘らず、盛んに反蔣反中央の傳單が撒かれ

一、何應欽放逐

一、東北軍による北支治安維持

等が强調されて居り中央軍憲兵は何應欽の命を受け十四日より今曉にかけ大仕掛けの手入れを爲し四百餘名を檢擧した

日支問題を
米紙揭載

【ワシントン十五日發電通特電】日滿軍が天津北平方面に進擊し平津の人心動搖の報あり他方武藤關東軍司令官が長城線一帶の戰況に關し支那側が挑戰態度を持續せば引續き反擊を加ふべしと聲明したことは米國官民に日支問題に對する關心を再燃させ新聞紙の論說も思ひ出したやうにこの問題を取扱ひ初めた

白系露人團體が
反日滿の陰謀發覺
某國諜報機關と連絡し
ゼネバに中傷的な報告

【新京十五日發電通】滿洲における白系露人の反日滿陰謀が新聞紙に揭載禁止中のところ十七日正午解禁をもつて發表された

滿洲事變勃發以來張學良蔣介石の一派は彼等の所謂失地回復運動のため日滿兩國の內情を偵知するに汲々としてゐたが白系露人を利用して反日滿情報の蒐集、對外宣傳に當らしめつつある疑ひが最近に至り濃厚となつたので、滿洲國新京警察廳外事課で嚴探中のところ二月二十七日天津居住のミハイロフが新京に來り新京城內居住のミハイル・プーキン等に對し東京白系露人巨頭ホルワットよりの指令を交付せる事實を探知し、三月五日ブーキンの家宅捜査をなし書類多數を押收し大連、奉天、新京、ハルビン、チチハルにて一齊檢擧をなした、彼等の告白に依ればホルワット及びチチエリクスを中心とする白系露人團體は一巨頭の命を受け滿洲國の內情日本軍の行動等を內偵し日滿兩國に不利なることを捏造し又は誇大に作製し日滿兩國の國際的地位を不利ならしめ滿洲國の建設を妨[illegible]聯盟に報告され日滿兩國の立場を不利ならしめた

定例閣議

【東京十六日發電通】十六日の定例閣議は午前十時から首相官邸に開會、齋藤首相以下各閣僚出席荒木陸相より灤西各地の戰況を報告し次で小山法相より五・一五事件の發表案文は陸海軍、司法三省協議打合せを進め折衝案を練り更に今日三省で交渉を進めてゐるのでその結果發表は十七日夜か十八日になるか未だ確定してゐないと報告し次で內田外相より外務次官の更迭につき說明し午後零時散會

一、決定事項

特命全權公使　重光　葵

任外務次官（一等）

外務次官　有田　八郎

依願免本官

米艦隊三分の一
豫備役に編入
軍令部長から命令

【ワシントン十六日發電通】アメリカ[illegible]

豫備に變更される艦船左の如し

戰艦五、大巡洋艦（甲號）五、輕巡洋艦（乙號）三、驅逐艦三三、潛水艦一六、航空母艦一、輕水雷敷設艦二

從つて現役に殘る艦船數は左の如し

戰艦一〇、大巡洋艦（甲號）一〇、輕巡洋艦（乙號）七、驅逐艦六〇、潛水艦三九、航空母艦二、水雷敷設艦一、偵察船一四、補助艦船其他七七

但し最近就役した最大の航空母艦メーコン號には影響なし尚當面の責任者プラット軍令部長は左の說明的聲明をした

今回の三分の一案は毫も艦隊としての能率を害することなく有力な他國艦隊と優に對抗し得ると信ず、然し今回の計畫に依り一時豫備に編入されるものも再び軍用される時期必來せん

日本側委員
十五氏任命
日滿合辦通信の

【東京十六日發電通】日滿兩國合辦通信會社設立委員中日本側委員は左の十五氏が任命された

外務省亞細亞局長　谷　正之

總領事　栗原　正

大藏省主計局長　藤井　眞信

陸軍少將　山岡　重厚

同　岡村　寧次

陸軍工兵大佐　高屋　甫彦

海軍中將　寺島　健

司法省民事局長　大森　洪太

遞信省電務局長　山本　直太郎

拓務省殖產局長　北島　謙次郎

關東廳內務局長　日下　辰太

關東廳遞信局長　藤井　崇治

正四位勳二等　米澤　與三七

正二位勳二等功四級　山內　靜夫

正八位勳七等　西　大助

滿洲における日滿合辦通信會社設立委員被仰付

廿日に初會合
設立準備委員會は新京で

【東京十六日發電通】十六日の閣議で決定正式任命を見た日滿合辦の日本側設立委員は來る廿日午前十時より拓相官邸に初の顏合せ會を開くことになつた尚滿洲國側の設立準備委員會は新京で開かれる

總督官邸の
晩餐會
牛丸中將を主賓に

中川總督は十六日午後六時半より來臺中の海軍首腦部牛丸中將[illegible]晩餐會を開いたが陪席として平塚長官、[illegible]井上海軍武官、高橋技師、能澤、枡山兩祕書官列席した

阿部軍司令官
十五日南下

阿部軍司令官は臺南步兵第二聯隊第二次隨時檢閱のため十五日午後十時三十分臺北驛發大塚參謀長以下幕僚を隨へて南下した

ロータリークラブ
週例午餐會

臺北ロータリー・クラブの週例午餐會は十六日鐵道ホテルに開會、幣原會長司會の下に池田幹事代理より諸般の報告後左の諸氏の五分演說あり一時半散會した

臺北水泳競技に就て　加藤　均三

船舶の原因其他　牧野　元

日支紛爭の
好轉見越
大株活況を呈す

【大阪十六日發電通】五月一日以來百八十三圓を中心に東新は上下二圓內外の五圓幅で保合ひ極度の閑散に一般は新動機待に見送り昨日の短期出來高は僅か六萬株と本年の最低記錄を示し相場も全く膠着して新東、大新等の一流株さへ二、五十錢幅に過ぎず、之は愈々陰の極で伸びんが爲めの縮みと見る向多く、エヂプトの關稅引上アメリカ市場の反落、內地商品界安等の軟材あつたが賣方の手曲とマバラ買募ひとなり後場に逆行して諸株强硬を示し、就中增配見越のレーヨン株は鐘紡高の關係から買あつて昂騰し、續いて主要株も軟材に逆行の强保合を示したので後場は愈々保合ひ上放れと見る向と後半は更に支那軍休戰申込を報じ、愈々日支問題の好轉見越から形勢一變し新規買間斷なく注がれ、新東は百八十九圓二十錢と九十錢に肉薄するの活況を演じた、兎に角此の獨立直るか疑問なるも久しく底を壓縮しただけ人氣は頗る强く前途は一段の活躍を期して居る

會

▲臺北帝大記念講演會　臺北帝大の記念講演會は十七日午後七時から敎育會館で開かれる

人事

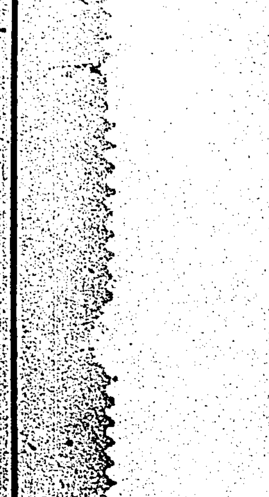
▲松方正熊氏（帝國製糖社長）十七日瑞穗丸にて歸京

▲加賀山之吉氏　十七日瑞穗丸にて歸京

シナチク

我が空軍が十六日爆擊を加へた北寧線の唐山は、英國の開平煤炭の唐山から更に天津の方へ近い所で此の唐山には交通大學などもある相當の都市であるさうだ▲所が四月二十日の申報によると唐山の此の交通大學は全部上海に移り、同地の師範學校も天津を通過して南下し、又北平大學では[illegible]上海の同文書院に[illegible]は六百個に達したと言はれてゐる▲何しろ逃げ足の早いのと其の方の用意周到さには驚かされる▲同紙によると唐山の各學校では全部解散し、天津の各學校[illegible]安全な方法を講じてゐるさうだが、[illegible]じてあるさうだ▲何れにしても唐山だけでなく北支一帶、殊に天津や北平などの動搖振りは素晴らしいものだらうとのこと。

實用新案特許
酒精清光燈
絕對安全で最も經濟且つ使用便利な純全な新製品 一ケ月經費六拾錢 各都市に特約店募集カタログ進呈
臺灣一手販賣元
吉元藥行
臺北市港町　電二七七番



ダンダンは
風の妙藥
發賣元　東京小石川區音羽町　信生堂藥房
代理店　大阪東區　大木合名會社
同　支店
▼各藥店ニ販ス

嶄新實用織布黑板
從來織布黑板の名は他にありたるも實物を發賣せるは本品を以つて嚆矢とす
▼用途及び特長
一、敎室の普通黑板は勿論下用として最も經濟的なり
一、長さ三十尺、幅三尺以下迄繼目なしのものなり
一、厚さ一分以下は如何なる長尺にても容易に卷きて携帶し得、使用は自由携帶に便利なり
時代的に本品の安價提供は弊店の誇りとす
金剛式萬年黑板
織布黑板製造元
臺北市綠町一ノ六
店主　坂本良吉
金剛

萬漬物の調味料！
萬野菜の消毒料!!
專賣特許
糠漬の素
特效
味が良く　うまかつた　ほどほど　はらはらしすずず
台灣總發賣元
三宅商會
台北・台南・嘉義

すは火事！投れば消える
世界的防火の大福音
アンブール式防火彈
屏東、高雄、臺南、嘉義、臺中、臺北各所ニ於テ各官廳ノ御立會ヲ願ヒ實驗ノ結果成績絕大ナル御證明ヲ頂ク
（各地警察署、消防組、役場等ニ有效證明書及試驗成績表アリ）
特約大店募集
製造元　神戶市　東亞化學工業所
臺灣全島總代理店　臺北市本町二丁目一番地　永井裕商會
（代表者）永井裕通　電話三一六番

玉冠景品附
→高砂の生瓶詰←

高砂生ビール
三十圓
一圓
三錢
五錢
十錢
五圓
十圓
三十圓

【寫眞說明】去る十五日拔穗祭を執行した高雄州屏東郡番地サンテイモン獻穀粟畑のみのり……

久し振りの降雨で
耕地二千餘甲潤ふ
十二、三日間も降續いて

雨がない、[illegible]、早くも農作物の收穫減さへ唱へられて居る今日北の顆盛郡の如く屏東街附近では僅かではあつたが降雨を見た、次で十四日には萬丹庄一帶に降雨を見舞つて居る、中にも惠まれたのは潮州郡新園の萬丹萬隆一帶に約三千甲に亘る耕地は耕地クナナウ、カピヤン等々十二、三日引續いての降雨でライ社地下水灌漑路は奔流の勢ひで低地へ低地へと流れてゆきつつあるので同地方一帶の農作物は此の地下灌漑水で蘇つて居る

花蓮港街で
築港に海水浴場
今夏から街民も思ふ存分潮水に浸れる

【花蓮港電話】海がありながら海水浴場に惠まれない花蓮港街民は海水浴の代りに公園のプール、サバト溪の流流で我慢してゐたが昨年からタロコ總督府鐵道及び本社支局の休憩所、脫衣場の新設等、東海自動車の三棧行バスの特別運轉に由つて三棧の天然プールに街民の慰安場を見出したのであるが依然として海に親しむ欲望を充たすことが出來ずにゐたが本年は築港工事の進捗と共に防波堤防工事現場の海底の整理を行つたので海水浴場として恰好の安全地帶が出來たので街役場ではこれに設備を施して六月中旬頃から海水浴場として一般にこれを開放すべく準備を進めてゐる

花蓮港街の
チフス豫防對策
絕滅を期する計畫

【花蓮港電話】本年もそろ／＼チフスの流行期が近づいたので花蓮港廳警務課衛生係では撲滅にこれが豫防を期するため五月十五日から花蓮港街のチフス豫防對策を開始した、其の一方法は各家の便所及び塵芥箱の消毒を勵行すると共に各家にスターといふ藥劑を配布して便所や塵芥箱に撒布させて蠅の發生を防止する計畫を立ててゐる而して吉野村のチフスは同村の蹈と稱せらるる位だから同村に對しては特にこれが豫防注射を行ふことになり去る四月吉野村では昨年患者三十二名の死者を出して大騷ぎを來したので本年こそは未然にこれを防止する意氣込で衛生係では既に塵芥箱消毒を勵行する外貯水タンクの消毒をも實施し殊に便所は不良のものが頗る多いのでこの手段として補助豫算を組して不良便所の改良を實施せしむる計畫を建ててゐる、而し其他昨年の流行期に總督府の曾田技師が將來て著しく奏效した豫防藥も殘存してゐるので五月末からこれを各家に配布する等萬全の策を講ずる筈

臺北市衛生課の
チフス豫防對策
豫防注射、野菜の消毒等々

臺北市衛生課では臺北の發生病視されてゐるチフスの豫防を圖るべく目下特別消毒班一、普通消毒班四を組織し特別消毒班は患者の發生した附近及び保菌者の居住する附近住民の豫防注射を、又普通消毒班は市內一派出所管內十日間（市內には三十二派出所あり）の豫定で豫防注射を施行し來る六月二十五日までに二十六萬市民にチフスの豫防注射を完了する計畫でこれが實行に當つてゐるが、一方患者の發生狀況は市衛生課がこれ丈け努力を拂つてゐるに反して七年の三十五名よりも發生數が多く五月十六日までに五十名、保菌者八名と云ふ香しからぬ數字を示してゐるので總督府に向つて一層力を添ぐ事となり各市場の野菜消毒、一週二回の便所消毒等を行ふ外市內の保菌者九十七名（現在）に對し便器を配付してチフス菌の散逸を防止する等萬遺漏なきを期してゐる

軍司令官
隨時檢閲

【臺南電話】阿部軍司令官、外山參謀長一行は十六日朝七時五分臺北發列車で來南東屋旅館に少憩後八時より新營部坤子頂演習場に赴き臺南第二聯隊第二大隊の臨時檢閲として午後十時まで演習狀況を視

操練檢閲　【臺中州彰化郡】警察課では十五日午前九時より郡下警察官百餘名を鹿港飛行場に於て操練を舉行し高橋教習所教官の檢閲があつた

堤防延長工事
延期願協ふ

【花蓮港電話】鳳林郡豐田村豐田第二堤防二千米延長工事は既報の通り竣功延期願ひを提出中のところ來る十一月まで延期承認の指令があつたが右工事の中五百米は豫泉組に於て一萬二千圓で請負落札したが工事區域の分擔勞力提供等の問題で工事着手に聊かの悶着があつたが此程解決し直ちに着手することになつた

講習生派遣　【花蓮港電話】總督府文教局主催の農業教員講習會は來る六月一日より十一月まで帝大農林專門部に開催されるが花蓮港廳學務係では農業補習學校助教諭野口直明、豐田小學校訓導田中德道の二氏を講習生として推薦した

心配さうに
空を眺る嘉義市民
水道の斷水が氣になり

【嘉義電話】旱魃に伴ふ嘉義水道の減水は市民に極度の不安を與へてゐるが十五日午後嘉義水道取入口を有する牛稠溪上流に相當の驟雨ありここ數日中取入口の流量二箇二分位のものが同日午後には三箇一分に增水十六日午前は二箇八分位に減じたがこの分ならば夜間斷水の決行を見ず近日中には降雨ある水飢饉の不安から脫し得らるるかも知れないと市民は空ばかり眺めてゐる

嘉義市民憤慨
中等校野球南部
豫選場所問題で

【嘉義電話】來る七月中旬嘉義にて舉行される中等學校野球南部豫選大會は體育協會本部より既に發表され嘉義に於て夫々準備中の事は既報したが若し之を臺南で舉行するとせば嘉義農林及び嘉義中學は參加するやと十六日臺南某氏より兩校長に交涉あつた爲め兩校長は體育協會本部より既に發表あつた爲めその心組みして準備を進めてゐる今日臺南に會場を變更する樣な不見識な事は體育本部もすまい若しさう云ふ事にでもなれば嘉義市民の心情はどうであらうか等を考慮し臺南に會場變更の際は兩校とも出場しない方針をとるものと見られてゐる、尙既に右の如く決定したものを今更臺南に持つて行く等との風評に對しそれを知る市民は當事者の措置につき極度に憤慨してゐる

市尹郡守會議

【臺南電話】臺南州では十六日午前十時會議室に職員全部の外各市郡の市尹郡守を集め今川知事より地方長官會議に於ける中川總督の訓示を傳達しこれに伴ふ訓示をなし十一時傳達式を行つたが午後一時から知事官邸に市尹郡守會議を開き重要政務の打合を行ひ同三時終了した

總督訓示傳達

【臺中電話】竹下知事は十六日午後一時州廳各課長以下全職員を會議室に召集、聯盟脫退詔書傳達並に地方長官會議に於ける總督長官の訓諭傳達をなした

苦力部落が
マ病の巢窟化す
宮川課長が實地檢分

【宜蘭電話】宜蘭濁水溪治水工事は關係に於る大事業として每日二千六七百名の人夫が出役し附近の川原にはこれら人夫の起居する家屋集團で宛然大部落を形成してゐる箇所が數ヶ所あり爾然たる勞働者部落で關係當局に於ても治安風紀衞生の各方面に亘り大なる注意を以つてこれが取締りに當り殊にマラリヤ防遏については特に留意してゐるが羅東郡三星庄拜聖郷の如きマラリヤ病の巢窟とも云はれる程の猖獗振りを示しこれが防遏に當局を苦心せしめてゐる同部落は凡そ六百の住民中百名に近い保菌者があり昨今僅日二十名乃至二十五名の新患者發生既にマ病のため三名の死亡者を見てゐる附近に二千數百名の勞働者を控へこのまま放置するを許さぬ狀態にあるを以つて徹底的防遏を施すこととなりこれがため十七日臺北州より宮川衛生課長が現場に出張[illegible]することとなつた同部落は治水工事出役者力によつて最近實現した部落でマラリヤ防遏區域に指定されてゐなかつた所であるが今回の防遏區域に編入され今後は徹底的防遏が施されるであらう

臺南西市場の
露人洋服店の火事
一時はなか／＼の騷ぎ

【臺南電話】十六日午後零時二十分臺南市西門町四ノ三四西市場構內ロシア人チューマコフ洋服店二階から出火した、附近のものが駈けつけて消火に努め消防ポンプも繰出し火は約二十分で鎭火したが市場構內には此程竣功開店したばかりの五十軒に餘るマーケット質店があり西市場が火事だといふので驚いた市役所森市尹が駈けつけるなど人出の多い場所とて一時は大騷ぎを演じた、臺南署からは小山署長初め係官現場に馳けつけ取調べたが主人チューマコフは田舍に行商に出てゐる留守中の出火で二階にあつた服類その他數點燒失損害約三百圓に留つた原因については留守居の本島人子供を本署で嚴重取調べ中である

後援會設立を
臺南神社に奉告

【臺南電話】臺南神社後援會では十六日午前八時臺南神社に於て會長初め役員全部約百名參列の上設立報告祭を執行し松本宮司の祝詞が奉げられ一同禮拜を行ひ盛儀に式を閉ぢたが一般寄附も今日までに四千七百圓に達しこれから愈々事業遂行の具體化が講ぜられることとなつた

員林の西瓜
盛んに出る
檢査員五名增

臺中州員林地方に於る今年の西瓜生產數は員林柑橘西瓜同業組合の調査に依ると七年の六萬顆に對し約三割減の四萬餘顆（內地移出のものに限る）の見込で目下出盛り期であるが檢査員が不足のため生產者の困惑一方ならず、增員方を督府に申請中の所、五名の增員を容れられこれ等檢査員は近く來著の筈であるが、五名の增員ではなほ不足を感ずるであらうと

服役中の竊盜犯
臺中刑務所を脫走
刑務所では全島に網を張り
血眼になり行方搜索中

【臺中電話】臺中刑務所に目下服役中の竊盜犯が脫走行方を晦ましたのを十六日午前六時になつて看守が發見し大騷ぎをやつた探聞する所によると右は本居地臺中州北斗郡北斗街西北斗六六王祖昆（三二）で臺中刑務所に竊盜罪で三年の懲役に服役中のものであるが囚人服の儘十五日午後十一時より十六日午前二時頃迄の間に脫走したものらしく身丈は五尺六寸位五分刈頭に一寸位の傷がある男で目下極力搜查中である

夏季の適作野菜
何種が適するか
農事試驗場で研究中

【臺南電話】臺南州農事試驗場で試作した夏季の新蔬菜印度ホーレン草は一般の注意する所となり州勸業課に照會を通じて約一石五斗の種子が全部出拂ひ目下種切の狀態であるが農事試驗場ではホーレン草の外に夏季適作蔬菜を發見するため各方面から各種の蔬菜種子を集め試作するため數段步に播種中である、當局ではこの試作により更にホーレン草と同じく適作蔬菜を發見するであらうと期待されてゐる

所得稅調査會

【馬公十六日發電】澎湖廳の本年所得稅調査會は二十、二十一の兩日澎湖廳に於て開會の筈であるが本年の所得稅納稅人員は稍著しく增加する模樣である

道路開通式
今川知事臨場

【嘉義電話】先般來開鑿中であつた嘉義郡竹崎小梅間の新道路は愈竣功したので十九日午前十時より竹崎分室に於て今川知事臨場の下に開通式を舉行する

產業組合研究會

【嘉義電話】嘉義產業組合研究會では十七日午前十時より同郡會議室に於て第三回通常總會を開催すると

地下の寶
東部の砂金
眞面目な企業家を待つ

花蓮港廳下の砂金は或る確かなる筋の調査に依れば優に十億圓といふ金額に換算して四十億圓といふ

◇莫大な價値◇

を有するものと推定されてゐるにも拘らず從來砂金の寶のみ徒らに高くして比無戰鬪の實際も容易に深秘の扉が開かれず空しく土中に埋藏されてゐる有樣であるので、當地方の官民は東部開發の緊急策として大資本家の出現の一日も速かならんことを鶴首して俟つてゐる、これ迄督府殖產局から花蓮港廳に通付された廳下の砂金鑛區出願件數は既に六十三件に達し鑛區總坪數九千萬坪といふ尨大な數字を示してゐるが右の

◇坪數の中には◇

同一の地域に對し數名の企業者から相前後して出願されてゐる鑛區も含まれてゐるからそれらを控除するとしても正味五、六千萬坪は動かない所であらう、右の出願者中その殆どは主としてタッキリ溪から珊瑚溪の流域に跨る二十餘里の溪床一帶の地域であるがこの他タッキリ溪及び木瓜溪の上流、米崙溪の溪床、花蓮港街附近一帶の地域は鑛區設定を許されてゐるからそれら何人の頭上に落つべきか容易に推測を許さざるも、督府當局としては此の際斷然

◇一時的の利權◇

を獲得して一擲千金を夢みる泡沫的企業家を排し、例令巨額の資金を擁し在る者に對して之れを許可する方針であるが、例の三菱鑛業會社の技師一行は客月中旬廳下鑛區調査のため來臺し約一ヶ月を費し探鑛の狀況を調査して本月下旬には愈々右の鑛區に踏み込み、且つ花蓮港に同會社の出願せる千五百萬坪の鑛區に於て詳細なる調査を遂げた上愈々本格的に企業の具體的計畫を確立する段取りとなつてゐる、從つて右の調査は

◇砂金採取上の◇

價値を測定するバロメーターとも稱すべく、當地方民はこの調査の成行に對して多大の期待と注目とを喚起してゐる

乘客四名負傷

【臺中電話】十五日午前十時五十分頃能高自動車會社運轉手李金山は東埔より埔里に向け乘合バス中六九二號を運轉し臺中州能高郡埔里街水頭二九番地先道路にさしかかつた折六十歲の老人陳金目が約五尺前を橫切らんとしたので之を避ける爲め咄嗟にハンドルを廻した所道路をそれて傍の水田に突入しその反動で乘客四名は負傷した

四歲の子供から
腕環を拔取る

【高雄電話】高雄市苓雅寮孫姑の孫阿媽（四）は十六日午前十一時頃附近の安瀾宮廟前で遊んでゐると自轉車に乘つた年齡三十四、五歲位の本島人が馴れ／＼しく近寄つて阿媽の右の手にはめてゐた純金製腕環三匁五分價格三十餘圓を强奪し町方面に向つて逃走した驅け出により苓雅寮派出所の巡查が自轉車で追跡逮捕したがこの男は岡山郡路竹庄[illegible]なるものと判明目下引續き取調べ中

水兵さんの
慰安

【高雄電話】この程高雄館で公演して好評を博した少女舞踊家尾上勝子さんは十六日高雄港に碇泊中の軍艦五十鈴を訪問し乘組員慰問のため午前十時から艦內で得意の舞踊十數番を踊つて水兵さん達の喝采を博した

謝恩會を開催

【高雄電話】高雄州東港郡東港公學校長川畑清次氏は同校創立以來校長の職にあつて專ら地方教育界の爲めに盡力し今回勤續滿十ヶ年となつたので父兄及び卒業生等三百餘名は之を記念すべく十四日盛んなる謝恩會を催した

豚疫猖獗

【馬公十六日發電】先般來馬公街附近に豚疫發生し居り馬公支廳庶務課勸業係ではその防遏に努めてゐるが今尚續發し現在病豚二十九頭に上つてゐる

居ながら出來るサーカス見物　樂の逆立ち、海豹の玉突き、獅子のシーソー等猛獸の曲藝、さてはその仕込方、猛獸同志の大亂闘等、恐ろしくも愉快な大サーカス物語　キング六月號で非常な評判!!

五十鈴歸港

【馬公十六日發電】目下高雄にある軍艦五十鈴は十八日馬公歸港の筈

人事

△曾我子爵　は十六日午後零時十四分上り列車で來中同午後二時五十分發上り列車で臺北へ向つた（臺中電話）

會事

△桃園郡南崁庄丁壯團長劉阿火氏は二十餘年間勤續し此度退職したので保甲民發起の下に十四日正午同地保甲事務所に於て高木行政主任臨席の下に氏の慰勞會を開催し且つ金一封を贈呈して其の勞を犒つた

△家長會例會　臺南州斗六街海豐崙林內部落では去る十五日午後七時より同部落集合所に於て郡街各庄產業技手及び宮川助役等臨席同部落各戶家長出席の下に例會を開催した

萬なかだち
求職一件一回 金五拾錢
其他一回 金七拾錢
匠名倍額

電話 賣買 金融 商品券 可成高價 町一ノ八七 電三三二五 正和電話店

電話 金融 郎 商品債券 賣買 榮町天地 電三六二六 三成社

電話 不用もの何時でも現金買受けます 榮地町一の北 電八八番 旭屋

電話（松山）七番讓 樺興株式會社 電話三三〇二番

貸家 大正町六條東 四半一坪二十五圓 電九五二 森

女給 數名入用 カフエー 委細面談上 臺北市京町 都通り 電話二九三七番 島

看護婦及女中入用 見習 若竹町二 有馬醫院（電六一九番）

店員數名入用 十六七歲より 本人來談 西門市場 佐藤仲與服店

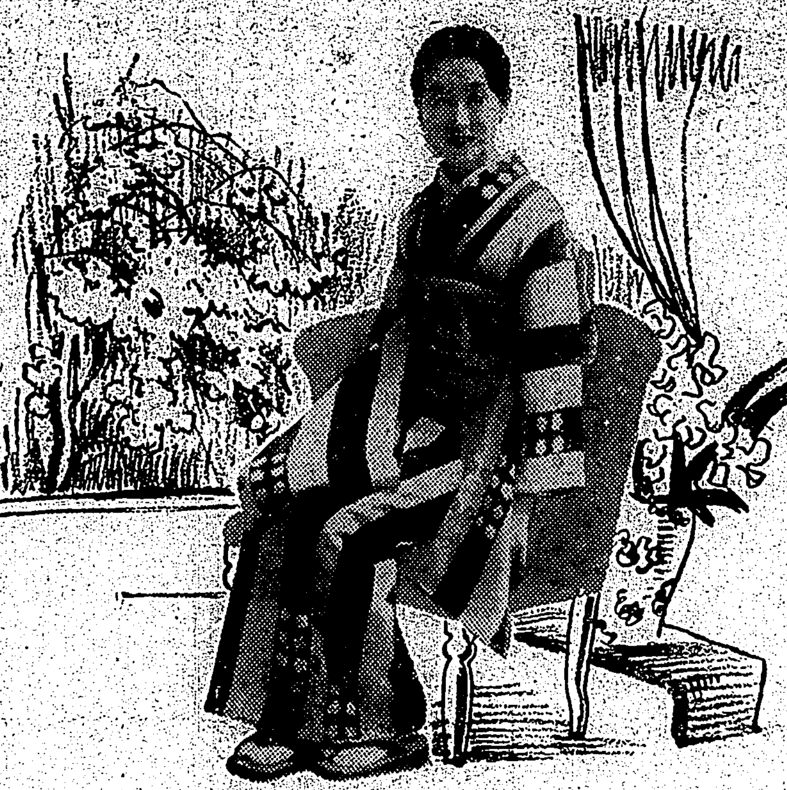
植物學文獻の最大收穫！世界に誇るべき大名著
村越三千男先生編著
内外植物原色大圖鑑
豫約會員募集
實物出來 御覽下さい。とても素晴らしい美ごとな出來榮え
三千部限定故に即刻書店へ申込まれたし
滿員切迫 好機を逸して悔ゆる人なからん事を
申込所 植物原色圖鑑刊行會
七年府藏の白札・赤札あり

十年ウ井スキー
角瓶 サントリー
汽車の旅行にチビ／＼召せば
揺れる車体は揺りかごに似て
車輪の軋りも歌きくこゝち！
S191

●座右にノーシンありて 日日是好日●

月經催進劑
アゴメンジン
卵巢中に含有する月經促進作用ある水溶性物質にして女子生殖器官に充血作用を呈し、流血作用を增し又胚胎腺の機能を滿め其刺戟により卵巢ホルモン（濾胞ホルモン及黃體ホルモン）の生產を增加し性週期を正調に復せしめ月經を促進せしむ。　內服（錠劑）或は皮下・筋肉注射として……
月經困難・月經不順・月經過少・子宮發育不全・充血不全症・代償性月經並に乳汁分泌障碍等に適用す
月經過多 月經痛に　シストメンジン

ハクツルサイダー



私の一番幸福なとき

▲會心のお化粧ができたとき

川崎弘子

美しさに生きる——それは私たち若き女性の生命です。そして美しさ——それは聡明爽快として躍動する近代的な女性美でなくてはなりません。ですから私たちの生活の第一歩はまづ

朝のお化粧に明るさと朗かさを見出すことからフェード・インいたします。朝のお化粧は、その日一日中をホガラカにもユーウツにもする一番大切な日課なのです。自分の氣に入るやうにメーク・アップできたときの

嬉しさ。美しさ——これは女性にだけ許された女性でなければ判らない心理だとでも申しませうか。では、どうしたら、いつも、自分の思ひ通りの、會心の化粧をすることができるか——美容の秘訣は第一にまづ

肌を生地から整へることだと思ひます。私は洗顔や入浴にクラブ石鹸やクラブのカテイ洗粉といつた品のデリケートな効果を愛してゐます。殊に朝起きた時の洗顔にこの二品はダンゼン一日も缺かせない日課なのです。

鏡に向つての操作はまづ流行のクラブ美身液です。次にクラブ美身クリームが淡雪のやう快よく肌に溶けこみます。これで大切な白粉の下地はできたのですが、何といつても、よい化粧にはよい白粉の選擇が必要條件です。

日本美といふ言葉が提唱されてゐますが、本當によく日本女性の肌に適合して、女性の日本美を發揮する白粉といへばクラブ白粉などを指すのでせう。ツキ、ノビ、モチ、一點の申し分もなく殊に私の愛用品クラブ肌色の

明朗かな氣品と魅力——これこそ會心の美です。女性の日本美です。私たちのマスコットでなくてはなりません。

春のドライヴ　美は躍る

心も躍るコンパクト・シーズン

「いゝスピードねえ……」

「スピード、スピード、スピード・アツプ……あたし、けさ三分間でお化粧すましちやつたの。でも相當なもんでせう。クラブビシンですもの」

「私クラブ美身液だけつけて來たのよ。白粉は自動車の中でと思つて、これ、クラブのコンパクト……」

「あら、あなたもクラブね、私もよ」

「まあ私も……では皆クラブなのね」

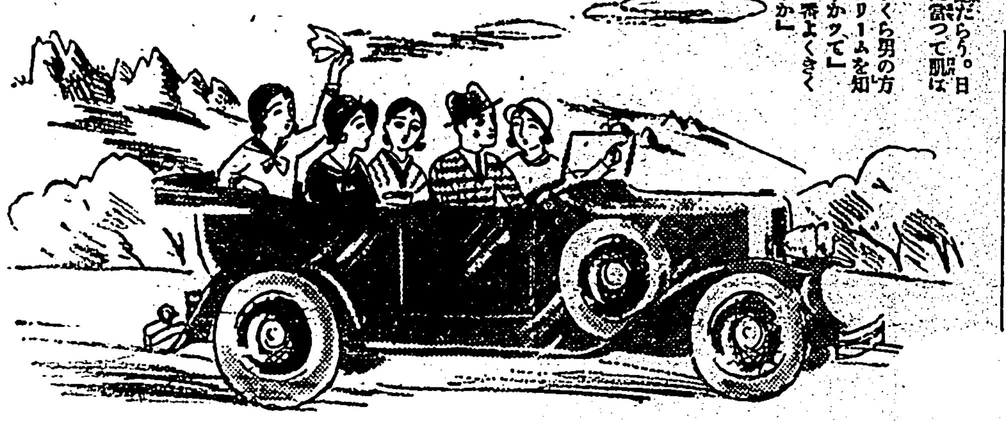
「素敵だわ、クラブ揃しの自動車！」

「ね歌ひませうか、クラブに輝くわれらのアンサンブル……」

「無蓋車だから心配だらう。日にはヤケるし、風に當つて肌はアレるし……」

「御冗談でしよ、いくら男の方だつてクラブ美身クリームを知らない譯がありますかツて」

「あ、なアる程、一番よくきくアレ日ヤケ止め……か」



日ヤケ止めに一番よくきく

クラブ美身クリーム

オール日本に春訪れて

家庭に、街頭に、事務室に春を競ひ咲く女性美の花！

クラブ美身クリームとクラブ肌色白粉の新鮮で明朗なお化粧です

クラブ白粉

「A子さん、A子さん！　あなたのお化粧この頃ダンゼンいゝわ。ステキな新技巧があるんぢやないの？　私にも教へて頂戴よう」

「あら！別に新技巧ってないわ。B子さんと同じやうにクラブ美身クリームとクラブ肌色白粉よだけど、私、毎日クラブ美身液をつけるやうになつてから、お化粧がとても樂になつたわ」

「分つてよ。美身液で肌が整つてるから、白粉が一層よくつくんだわ。私も早速使ふわ。ホヽヽ」

祝　発刊三十五周年　記念

經濟解說

近く開かれる國際經濟會議（三）
何を期待し得るか

（二）軍縮問題

米國が戰債交渉の代償としてゐるのは何んといつても歐洲の軍縮である、ボラー氏の代表的意見によれば

軍縮を伴はない戰債減額は歐洲人の經濟生活の重荷を減ずる所以でない、戰債棒引の先決要件は歐洲の徹底的軍縮である

これは尤もな話で一九三一—三二年度の豫算を見ても英國は歳出總額の一割二分、佛國は二割七分を軍事費に支出してゐるのに戰債支拂額は僅かに英國四分八厘、佛國二分八厘、伊國一分四厘に相當してゐるに過ぎない、米國の品物も買はず、戰債を減額すればそれだけ軍備擴張に流用する樣な歐洲諸國に對し何で戰債だけを減額してやれるか—それが米國の言ひ分である、フーバー三分の一天引軍縮案も歐洲に冷水三斗の思ひをさせる爲の提案だつた、今度の世界會商招請の目的に軍縮問題協議の一項を入れたのもその爲だつた、然らば華府會商はこの問題を何う取扱つたか、軍縮問題となるとまづ先に佛國の例の「安全保障」が問題になる、二十四、五兩日のルーズベルト、マクドナルド、エリオ三巨頭會商でもエリオは

歐洲政局の不安殊に軍縮に關する獨逸の平等權主張は佛國に脅威を與へた、少くとも英米佛三國間に何等か安全保障に關する協定を結ぶ必要あり

と力說してその結果英國側から不戰條約を補足すべき「協議條約（コンサルタテイブ、パクト）」案が出で佛國はこれでは不充分としてその外に軍縮條約の履行を監督すべき常設移動監督委員會の設置、侵略國に對する武器禁輸協定等を主張したらしいがルーズベルトが斷乎的態度に出た爲め話は纏まらず單にエリオをして

ルーズベルトは軍縮及び安全保障に關し全く新しい觀念を抱いた、余は米國の傳統的中立政策の一部をも放棄する可能性あることを看取した

と手前味噌をならべさせるに止まつたやうだ、要するにここでも具體的效果は納めずエリオの言葉で「正確な情報の交換と人の直接接觸」とで各自よい氣持になつた位が華府會商第一彈の土產たるに止まつた

六

米國の國際經濟會議に期待する所は歐洲市場の購買力が回復し且つ歐洲諸國に對する輸出障害が撤去せられて歐洲が再び米國商品の顧客となつてくれる事だ從つて米國の觀點から云へば歐洲購買力の復活と關稅問題とが最も重要視される譯である戰債問題を持たぬ貿易國たる我が國にとつてはまた關稅問題は今度の會議議題中第一義的重要性を持つその意味でワシントン會商に於ける關稅問題交渉の經過及びロンドン會議の歸趨には至大の注意を拂はねばならない、最近の世界各國の關稅政策は極めて急テンポに動いて行つた當初の國內產業保護程度のものが一九三〇年六月の米國關稅引上げ—自國內の繁榮と高い賃金高い生活標準を維持する爲の、だが全く逆の效果を示した—によつて極端化したのが動機となつて各國の報復關稅を誘ひこれに世界不況の深刻化が伴つて赤字財政補塡の高關稅政策となり一九三一年英國の金本位停止後は爲替ダンピング防止稅の形をとり最近に至つては純然たる價額關稅に化した、一九三一年七月より三二年九月までの一ヶ年二ヶ月間に新關稅實施及び稅率引上げを行つたもの英、米、佛、伊、日等約五十七ヶ國に及んで流石の米國が眞先に悲鳴を擧げるに至つたハル國務長官によればアメリカは自ら蒔いた過去十ヶ年間の關稅戰に六十億ドルの損を招いたことになる

七

國際的關稅障壁を打破しやうといふ運動は從來も再三行はれた、一九三〇年には、ゼネバ關稅休日會議で一ヶ年休日案が決定されたが、翌年二月の期限になつても批准するもの一國としてはなくお流れとなつてしまつた、續いて一九三二年六月再びゼネバの聯盟經濟委員會で關稅引下げ運動が提唱されたがこれ又有耶無耶になつたと云ふ曰く附きの代物である、何故國際關稅引下げ運動が失敗に終つたかと云へば財政的關稅と保護關稅の區別國內的手數料徵收の除外例等の技術的問題について意見の一致が困難であつた事も一の理由であつたが更に大なる理由は米國の不參加であつた蓋し元來米國はその輸出品は棉花小麥、石油等、原料品が主で各國はこれ等を無稅としてゐるので米國側とすれば互惠關稅協定の必要さへ認めなかつた態度であつたからだ然るに今回の國際經濟會議に先立つて米國は急に關稅の一般的引下げ乃至互惠關稅協定の設定を叫ぶに至つたこれ全く米國が高關稅政策の破綻を痛感したからには相違ないが、實は昨年八月英帝國オツタワ會議により英帝國間のブロツク形成に追ひ詰められての悲鳴に外ならなかつた、然しルーズベルトのさうした主張の背後には

爲替下落の競爭に對し米國產業を保護すべき立法措置を講ずるか或は對手國の貨幣が事實上金本位に近き迄價値を回復するまで交渉を開始せざること

といふ商業會議所貿易委員會の主張が有力な副動機として附纒つてゐる事を看過してはならない

八

それかあらぬか關稅問題に關する華府會商は果して何等の根本的協定にも到達しなかつた、ただ英、米、佛何れも關稅の相互的引下げの必要を認め合つたのみで具體的には六月十二日ロンドン會議開催まで關稅休日に入るべきことを米國側より提議したるに對しイタリーを除いては英佛共に氣乘薄の返事を與へたに止まつた殊に爲替低落諸國を四圍に置いて關稅引下げを行ふが如きは全然無意味であり從つて本格的關稅引下を肯定する前には金本位制復歸を條件とするから金本位再建問題の動向も確然たらざるに漫然關稅休日を受諾するは後日不利な事態を齎す虞れある爲である、ここに至つて問題は金本位再建問題に還元されて來る（つづく）

エヂプトでも綿絲布關稅引上げ
一番の打撃は日本品
ランカシヤも影響免れず

【カイロ十六日發電通】エヂプト政府の輸入綿絲布關稅引上は十五日公式に官報で發表されたが之に依りて打撃を受くるは主として日本品であるが同時にランカシヤ其他歐洲各地產の太番手綿製粗布も矢張り影響を受ける譯である

日英民間協議會は關稅休日案の影響を受けず
英民間當業者の聲明

【ロンドン十五日發電通】イギリス商相ランシマン氏提唱の日英民間協議會は民間當業者の協議會で日英兩國政府の公式商議でないから關稅休日案に依り影響を受けずと公式に聲明した

高雄の芭蕉出荷記錄的增加
總出荷五十萬籠か

【高雄電話】高雄青果組合の芭蕉出荷は檢査日每に增加しバナナ洪水の觀があると同時に新記錄を作つた、卽ち組合創設以來數年を經過したが過去に於ける一檢査日の出荷の最多は五萬三千籠であつたが去る十四日檢査の出荷は五萬八千籠を算して記錄を破つたが之等は全部十六日高雄出帆の高濱線高雄丸高阪線ドーバー丸大浪線盛山丸及阪神線第二蓬萊丸で夫々積出されたが中に大連行きの分は臺中組合の出荷を合して七千三百餘籠に上りこれで大連直航は第四回目でその總出荷高は約三萬籠に上つてゐる、尙高雄組合の五月中の總出荷ははじめ三十七萬籠を豫想されてゐたが右の如く出荷が檢査日每に激增し既に二十三萬籠を搬出し月末迄には尙五回の檢査日があると同時に出荷の狀態から推して總出荷は五十萬籠に達するものと見られてゐる

滿洲國と本島との貿易狀況
貿易品別に見る

本島と新興滿洲國との經濟的關係は益々密接の度を加へ、之を最もよく表現する貿易は著々進展を示して居るが、之を督府稅關の調査したところによれば八年一月以降三月迄の輸出累計高二萬七千三百五十六圓、輸入累計高二萬八千七百四十三圓にして貿易品別にこの內容を見るに次の如し

品名	▲輸出　數量	價額
生菓	[illegible]斤	[illegible]
鳳梨	三、九六〇	一三二
龍眼	一、八四〇	一六九
紅茶	一、五五一	一、九八二
砂糖	四九、五六〇	三、七一七
鳳梨罐詰	一八〇打	四八〇
酒精	二九、〇〇〇升	六、八六八
木材	四〇七（立方尺）	二六七
其他	—	一、四三八
計	—	二七、三五六

品名	△輸入　數量	價額
大豆	一四六、七六〇斤	[illegible]
豌豆	[illegible]	[illegible]
胡麻子	[illegible]	[illegible]
阿膠	[illegible]	[illegible]
大豆油粕	[illegible]	[illegible]
其他	—	[illegible]
計	—	[illegible]

桃園郡の稻熱病

桃園郡下に於ける本年度稻熱病は主として龜山庄及八塊庄で其他は部分的で格別憂ふるに足らぬが被害總面積は約二百甲內外であるので郡では之が對策として去る九日技術員を召集し銅石灰液の製造及撒布の實習を桃園街黃金發宅の原種田に於て行ひ十一日より十八日迄各庄原種田に本液の撒布を爲すべく目下手分作業中

桃園米穀改善會の決議

新竹州桃園米穀改善會は先般月別平均移出制に順應すべく各土壟間の生產制限方法を決議したが十三日更に總會を開き生產制限違約者に對し二十五圓の罰則規定を設ける事を決議した、尙改善會の創立一周年を期し會の功勞者たる模範會員劉春木、彭火興、陳新田、木石金の四名を表彰した

昭和製鋼の鞍山製鐵買收問題

【大阪十六日發本社特電】昭和製鋼の鞍山製鐵買收合併時期切迫と共に販賣統制問題は益々紛糾し滿鐵東京支社では八田副總裁、十河理事、大淵支社長等が協議を重ねて居るが、大淵支社長は十一日取敢へず東京支社としての意向を大連本社へ齎し廿日頃副總裁の歸任を待つて大連本社に於て重役會を開催愈々根本方針を決定することになつた

中研農業部の一期稻作作況調査
前、平年より良好

中研農業部第一期作稻作況報告によれば本期間に於ける氣候狀況は概して良好にして高溫多濕であつた爲稻は一般に順調な成育を遂げ內地種は前、平年と大差なく蓬萊種は稍々之に劣つてゐる四月下旬以降葉稻熱病の發生を認めたが被害は少なかつた、今後の天候が順調であれば平年に劣らぬ收穫を擧げるであらう、尙その他試驗田に於ける三月上旬早植のものは成育特に良好である

	氣溫	日照時數	降雨量
本年	二四、二	六六、五	三二、一
前年	二四、九	三七、五	三三、〇
平年	二三、〇	五〇、四	八二、一

【附記】附近農家に於ける作況は當部と相似てゐる（以上自穀雨節四月二十日至立夏節五月六日調査）

銘柄淸算取引で蓬萊米の地位向上
東京市場と臺灣とを一層密接に
蓬萊米の座談會（一）

既報の如く正米市場組合、移出商同業組合及米穀代行會社の主催で十五日午後三時より鐵道ホテルで米の座談會が開かれた官民の出席者四十名に上り約四時間の永きに亙つて適切なる問題につき座談が交され相當得る所があつたので茲にその要點を摘記し米界方面の參考に供することとする

貝山氏（正米市場常務）內地米界の權威加賀卯之吉氏の來臺に引續き東京米穀商品取引所の吉田常務理事、西田同檢査課長の來臺を迎へたのを好機として茲に座談會を開催しましたところ炎暑の折柄斯く多數御出席下すつたことを感謝します、御承知の如く我が臺灣米は近年目覺ましき發達を遂げ殊に蓬萊米の質の改良、量の增加に連れ內地市場に於ける同米の地位は躍進的に向上し淸算米の受渡代用に充當し得る時期も遠くないと考へられる之に對し實際家たる東米の吉田、西田兩氏の御所見も承はりたく又さきに議會を通過した新米穀統制法も本年十一月より實施せらるることになつて居りその統制法實施と蓬萊米との關係等についても各位の腹藏なき御意見を拜聽することを得ば幸甚であります、先づ吉田常務理事の御話を承りたい

吉田氏（東米常務理事）淸算米の受渡代用に供用するにはそれ相當の條件が具備しなければならぬ、蓬萊米は以前から質と量に於て代用に適しないといはれてゐた從つて內地の淸算市場では久しく除外してゐたのである、ところが米界の形勢は年一年と變化し殊に蓬萊米の品質目覺しく同米の進出消費の增加によつて東京と臺灣とは密接な關係を結ぶに至つた次第である、東米取引所では昨年四月から銘柄別淸算取引を開始し一日平均六千石づつ取引が出來てゐる過去一ヶ年の同出來高中蓬萊米は實にその約三割を占めてゐるのである、併しながら之を格付淸算取引高に比すればまだ微々たるものであるが格付取引と銘柄取引とは離るべからざる關係があり相俟つて堅實なる取引を助長し以て生產を刺戟する所以であつて互に光ある銘柄取引のスタートを切つたことは一般から大に注目されてゐるのである、而して蓬萊米は正に東京市場の寵兒であつて六年以來その移入高は幾何級數的に增加し本年は移出高の半數を東京市場で引受け得る自信がある中にも六十五號種と愛國種とは東京人の嗜好に合致してゐるのである、私見を以てすれば生產技術の點特に品種に就て尙研究の餘地がありはせぬか、格付淸算取引の代用米に充當するには尙乾燥其他に一層努力を要し石拔きの如きも改良の餘地が殘されてゐるやうである、卽ち聲價の向上販路の開拓について臺灣一層の努力を必要とするわけである、取引所としては現物市場の成行には常に注意を拂つてゐるが、格付淸算取引の値段が二十錢動けば銘柄取引の値も十錢位動くと—蓬萊米の買物取引の標準相場は大消費地たる東京市場に動かされるものであるから東米の銘柄取引に對し充分御理解を願ひたく又東米では米の外、綿絲、人絹等も努めてゐるし、中にも人絹は投機物件に最も好適し株の如き以上に妙味のあるものである、充分御利用願ひたい

貝山氏（臺灣正米常務）先づ淸算方面から見た蓬萊米の乾燥、品質、調製、銘柄等に就て西田檢査課長の御意見を伺ひたい

西田氏（東米檢査課長）技術者として蓬萊米に對する希望を述べるならば先づ品質は遜色ながら內地の各銘柄に比し優れてゐるものではない、六十五號と云ひ愛國種と云ひ東北地方の陸羽一三二號西の旭種に比し品位、品質も劣り朝鮮米に比しても品質は劣つてゐる、以前關東では細粒、關西では大粒の米が嗜好されたものであるが今は東西共通となり太くなく細くない中粒のものが喜ばれる、蓬萊米はその傾向からみて稍細すぎる嫌がある、次に乾燥の點をみると蓬萊米は夏が來ると腐敗し易い內地で貯藏されたものはそれほどでもないが臺灣で永く保管されたものは變質し易い、乾燥をモツと好くする必要がある、併し乾燥度を過ぎるとカチ／＼になつて食味を落すことになるが水分一五％位の程度のものなら食味は失はない淸算取引にかける米は大部を生產し季節的變質の少いものでなければならぬ、政府が買上げる米は硬質米であることも長期の貯藏に堪へ得るからである、それから乾燥し過ぎると胴割れが多く出易いものであるが內地では硬質米でも胴割れは百分の十二、三に過ぎないが然るに臺灣米には胴割れ多く甚しきは三十乃至四十％の胴割れが出ることさへある（此項未完）

全島畜產主任官會議
引つづき第二日開催

全島畜產主任官會議第二日は午前九時より開催された、諮問事項に對する答申は臺中州の後をうけて

△臺南州　同州では家畜特にカーキーキャンベル種のアヒルの飼育に力を注いでゐる、之は水沼を必要としないので同州下乾燥地帶には相當の普及を見るであらう、牛については從來の品種をホルスタインの優良種に改良しつつあるので現今では良質の乳牛が多くなつた

△高雄州　如何にすれば農家に於ける家畜飼育から收益を擧げうるかに腐心してゐる、先づ搾乳の獎勵を行つてゐるが餘剰あるためバターやホープス（乳酸飲料）の製造を勸め更に原野には肉牛の肥育をやらせて臺北邊りへ搬出された肉についても評判よく肉質は青島牛程度の良質となつた

次に協議事項に移つたが

一、豚の配給狀況と鐵道輸送との關係、運賃の改正で南部からの輸送賃が比較高となつたのは不均衡で引下げを要する、寧ろ業者の乘車賃は免除して貰ふが當然である、貨車の設備はモツト衞生的にして欲しい

二、豚コレラ撲滅對策如何

之を全く撲滅するときは全島三千萬圓の豚の生產は倍加するかも知れぬといふ大問題である、然るに防遏の至難な理由は病性の猛烈なこと、豚の飼養法不衞生的なること、惡疫に對する飼養者の知識缺乏せること等で表面上の發生統計は全島百七十五萬頭の豚のうち僅か一萬頭となつてゐるが實はその何十倍あるか測り知れぬ、そこで正確に近い發生統計を調査し以て輿論を喚起してその撲滅に努力すべきであるといふ意見に一致した

同午後からは

三、牧野並に採草地設立に關する件

四、豚の血統登錄事業の現況並に將來の方針に關する件

指示事項

一、獸疫豫防費經理に關する件

二、血淸豫防液等の要求に關する件

三、家畜傳染病發生統計に關する件

四、家畜傳染病發生並に防遏狀況通報に關する件

五、畜產獎勵に關する事業成績通報に關する件

等につき論議するところがあつた

島田臺銀頭取
十六日歸北

島田臺銀頭取は十四日日月潭電力工事視察のため南下、折柄南部視察中の曾我監査役と同道して日月潭を見學して十六日午後七時四十分歸北した

曾我臺銀監査役歸北

土居秘書課長と同道中南部地方を視察中の曾我臺銀監査役は十六日午後七時四十分臺北驛着の列車で歸北したがなほ二十日頃更に東臺灣視察を試み月末若くは來月早々頃歸京の豫定であると

臺中米價（十六日）

蓬萊米七、五〇錢丸糯六、五〇錢在來米一〇、〇〇錢（刑袋、長糯六三〇錢出來高蓬萊米二、九五六袋丸糯一、一六六袋（臺中電話）

商況（十六日）

米況

臺米現物相場

（基隆渡百斤、前日對比）

品名	相場	前日對比
南部二期在來米	六、二五	同
北部二期蓬萊米	七、三一	三安
中部二期蓬萊米	七、五一	一高
北部二期丸糯米	六、三九	二高
中部二期丸糯米	六、一五	一高
南部二期長糯米	六、一五	同

基隆在庫米（十六日朝現在）

品名	數量
二期蓬萊米	三、九一七袋
一、二期蓬萊白米	五、三三三
二期丸糯米	一〇、九五〇
一、二期丸糯白米	八
一、二期長糯白米	二一
一、二期在來白米	九八
合計	二〇、三一六

到着米二十車（二五八四袋）

高雄在庫米（十六日朝現在）

品名	數量
一期蓬萊米	一九七袋
二期蓬萊米	七、七四六
二期丸糯米	九二一
二期長糯米	二、〇一八
二期在來米	九、二五一

正米市場

（公定相場、出來高）

品名	相場	出來高
一期蓬萊米	先七、六〇	九車
二期蓬萊米	當不　中不	—
二期丸糯米	當不　中六、四二	八

總出來高　一七車

正米市況（後場）

▲一期蓬萊米　先限七、六〇　出來高十三車

▲二期蓬萊米　當限不申　中限七、三三　出來高一車

▲他出來不申

大阪期米

節	▲後場　當	中	先
一	二三四七	二三八四	二四五〇
二	二三四五	二三八九	二四五〇
三	二三四七	二三八六	二四五〇

東京期米

節	當	中	先
四	二三四八	二三八六	二四五五
五	二三四九	二三八九	二四六〇
六	二三五四	二三九三	二四七〇

	當	中	先
寄	二三五八	二三八八	二四七四
止	二三七八	二四〇五	二四九三
高	二三七八	二四〇五	二四九三
安	二三五八	二三八八	二四七四

神戸期米

	當	中	先
寄	二三四四	二三八七	二四五七
止	二三六八	二四〇五	二四七五
高	二三六八	二四〇五	二四七五
安	二三四四	二三八六	二四五七

堂島前場先限兩建控除主なる手振（單位石）

賣方　潟先一、一〇〇　アト全部

買方　小口　福井清三〇〇　アト小口

堂島兩建控除俵合

當限　九一、四〇〇石　賣方　小川以下一一店　買方　水野以下二二店

中限　一一二、二〇〇石　賣方　潟先以下九店　買方　上補以下二七店

先限　一二四、六〇〇石　賣方　廣瀬以下八店　買方　小河以下二八店

堂島前場先限主なる手筋

賣方　正米筋乘替（潟先）地場（磯茜、廣瀬）

買方　岡山筋（太田）地場（北川、文筋英、田中喜）

堂島米況前場

【大阪十六日發電通】無材料に保合の閑散で當、中は媒介とも捗々しからず先は地場の小挑みに二十四圓四十七錢と寄り正米の乘替買にマバラ買の薄商內で四十六錢とタレ跡七本保付き四十五錢と下還ひ神戸筋買に四十八錢と戾りに引けた

株況

大阪短期

銘柄	▲後場　寄	引
鐘紡	二二五、四〇	二二九、三〇
鐘新	一〇五、六〇	一〇八、二〇
東新	一八四、九〇	一八九、二〇
大株	一一二、三〇	一一三、六〇
大新	一一三、八〇	一一四、四〇
商船	三一、〇〇	三一、一〇
[illegible]	六五、二〇	六五、七〇
[illegible]	八五、三〇	八五、九〇
[illegible]	七二、七〇	七四、八〇
淺野新	三八、一〇	三八、八〇
日產	八二、六〇	八三、七〇
レヨン	六二、五〇	六四、四〇
日毛	—	[illegible]
東洋紡	一五七、八〇	一五九、〇〇

大阪長期

銘柄	▲後場　寄	引
大株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日糖新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
明糖新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東新	一八四、七〇	一八六、二〇

東京株況前場

【東京十六日發電通】外電は概ね不引立であつたが委託證據金の引下發表あり更に支那の對日態度緩和等を傳へられて消極的乍ら買氣を刺戟し諸株概して鞏りを呈した卽ち鐘紡一、二圓安乍ら紡績株には押目買氣强く鐘紡九十錢高新鐘四十錢高東洋紡新一圓二十錢高其他區々乍ら底堅く砂糖株では原糖三錢方小安かつたが之も買氣あつて日糖新、製糖新、帝糖、明糖等五、八十錢高雜株では淺野、東拓、日產、麥酒、鋼管等三、五十錢高其他小堅きもの多く東株一圓二十錢高新東も一圓二十錢高に引けた短期新東は百八十三圓丁度と手堅く寄り商內であつたが長期の强氣配に漸次上向き四圓丁度を高値に三圓九十錢と强硬に引けた綿紡其他も低金利の折柄とて引締り薄く商警戒押目買の商狀となつた

東京銀行實株

日銀　五〇六、〇　同新　三五二、〇

正金　一七三、〇

臺銀　八六、五　同新　六五、〇

勸銀　七九、四　同新　二〇、五

鮮銀　六六、〇　同新　一六、七

紐育株式

スチール株　四七弗二分一

アナコンダ株　一二弗八分三

公債

東京國債

甲號五分利　九九、九〇

第三五分利　九八、八五

第一四分利　八九、六〇

第二四分利　八九、五五

廿二年物　一〇〇、八五　一〇〇、八〇

廿八年物　一〇〇、六〇

佛貨公債　一五六、三〇

國債出來高　八六、二〇〇

爲替

神戸對外爲替

對米期近　寄　二四弗四分一買　二四弗八分一賣

先物　寄　二四弗四分一買　二四弗八分一賣

引　二四弗四分一買　二四弗八分一賣

紐育爲替

米日爲替　二四弗一二仙二分一

米英クロス　三弗九五仙四分三

銀塊

倫敦現物　一八片四分一

同先物　一八片一六分五

紐育現物　三三仙一三

同先物　三四仙五五

穀肥

▲前場

大連現物　一〇四、七〇　一〇四、七〇

同先物　一〇五、〇〇　一〇四、八五

シカゴ小麥

五月限　七二仙二分一

七月限　七三仙四分三

九月限　七五仙四分三

神戸豆粕

▲前場

砂糖

玖馬

一弗三〇仙

爪哇

直限　五盾九一仙四分一

六月限　五盾九一仙四分一

七月限　五盾九二仙二分一

八月限　五盾九二仙二分一

九月限　五盾九二仙二分一

大阪現物

三溫（OBB）　一七圓四五錢

ケ溪（MS）　一七圓九四錢

精糖（臺）　二〇圓八九錢

同（關）　二〇圓九五錢

同（日）　二一圓〇〇錢

耕地白糖（A双）　二一圓〇七錢

大阪淸算

▲前場

九限　一二九四　一節

六限　一三五四　二節　十限　一三〇三

五限　一三四六　三節　六限　一三五二

▲後場

五限　一三四六　一節　六限　一三五五

五限　一三〇七　二節　六限　一三五八

五限　一三五二　三節　六限　一三六二

十限　一三一一

大連特產

品名	▲前場　寄	引
大豆現物	四、九〇	四、八八
五月限	四、八八	四、八七
六月限	四、九一	四、九〇
七月限	四、九三	四、九四
八月限	四、九八	四、九七
九月限	五、〇一	五、〇〇
豆粕現物	一、五一〇	一、五〇〇
六月限	一、五二〇	一、五一〇
七月限	一、五四〇	一、五三〇
八月限	一、五五五	一、五四五
九月限	一、五六五	一、五五五
豆油現物	一三、七五	一三、七〇
六月限	一三、八〇	一三、八〇
七月限	一三、九〇	一三、九〇
八月限	一三、九五	一三、九五
九月限	一四、〇〇	一四、〇〇

▲後場　六限　三、六〇　一節　五限　三、六二　六限　三、五八

絲況

大阪綿絲

米棉　九十五錢安

印棉　一圓五十錢安

▲前場

五限　二〇二、五〇　二〇三、五〇

十一限　一九三、六〇　一九三、一〇

▲後場

五限　二〇四、四〇　二〇三、一〇

十一限　一九三、三〇　一九五、八〇

大阪棉花

▲前場　五限　五四、二五　五四、五五

▲後場　五限　五四、四〇　五四、七〇

大阪人絹

▲前場　五限　一一〇、九〇　一一〇、九〇

▲後場　五限　一一〇、七〇　一一一、一〇

東西南北

ビール醸造をうまく片付けた山本專賣局醸造課長はとても朗かで平山書記らを伴ひ目下中南部にビール行脚をやつてゐるが餘り長くなるので十八日一旦歸局し更に東部にビール行脚をやりビール醸造の內容についてかんでふくめるやうな說明をなす譯である▲同君は專賣局煙草課長の不在中は酒部長代理をもやるが出張中の天候不順で病氣引籠り中なので酒部長事務、三課長の分を一手に引受け『煙草があつたらみんな持つて來い』と內地歸りのいい顏をボン／＼決裁を與へて馬力をかけてゐる▲東米の吉田常務理事や西田檢査課長が來臺した用向きに就て一部では米界の寵兒蓬萊米を銘柄取引だけで滿足せず更に格付淸算取引の代用米にする下準備の爲めに來たのでないかと揣摩する向きがある十五日鐵道ホテルで開かれた米座談會の席上で吉田理事はそれとは云はなかつたが座談の口吻からして蓬萊米の代用は時の問題だといふことに顯著した▲ところが十五日の大阪特電によると、堂島では擬て懸案となつてゐた蓬萊米の別建卽ち三期種の長期淸算取引を開始することに決定したやうだ、之が準備の爲め取引所から鈴木監査役と辻川調査課長が近くやつて來る、取引員組合からも磯崎委員長が來臺する模様とある、又鈴木監査役が取引員時代に夙くから熱心に主張してゐた別建がモノになるとすると東米の方でも銘柄取引だけで甘んずる譯に行くまい▲イヤ臺灣正米市場も依然として甘んじてゐる譯には行かぬ東米の銘柄淸算取引が九十日で堂島の別建が九十日だといふのに正米市場が依然四十五日制では釣合がとれない、取引の實際が淸算取引そつくりである以上之も九十日に延期すべきだ、蓬萊米の場外取引には五ヶ月以上に亙るものさへあるのだから正米市場が九十日制にしたつて一向差支ない、組合員も賛成者も喜ぶだらう▲それが出來ねばイツソ層の事取引所を許して名實共に長期淸算をやらすより外はない、關係當局の一考を要するところだ。

創業廿年

東京株式取引所一般取引員

田林菊三郎商店

東京市日本橋區兜町　電話茅場町(6)自三二一二

株界、動機迫る！

世界的金本位問題、對歐對滿貿易問題歐米主要國の微妙なる政治的動き等々株界を廻ぐる大材料輻輳す。卽ち最も注目すべきは世界經濟會議の成果如何だ從つて我國の豫備會商開始と共に株界の波瀾は起る資產增殖の好機は今だ

◇◇◇

定期預金で四分二厘、郵貯で三分株式投資で六分に廻す—この方針でゆく證券投資なら絶對に安全なり。

投資々料

月刊『インベスター』

田券旬報

田子貫金の秘

無料買贈券

損失限定賣買法

御一報次第無代贈呈

陸海軍人

陸海軍々人・少年航空兵となつて活躍したい諸君へ特に受驗の秘訣と志願者案內を無代進呈す

東京神田一ツ橋

藤澤の臟器製强力止血劑

トロムボゲン（ジフ）

喀血

「喀血、吐血、出血の治療劑」

醫學士　柳沼信太郎氏實驗報告の一節に曰く

重症肺結核に因る大喀血

三十九歳男數年前より肺結核に罹り右肺空洞症狀著明なる者突然喀血二日間持續せり直にトロムボゲン五ccを注射したるに僅に一回の注射に依りて喀血止み極度の不安より脱す

●他に皮下注射用・內服用粉末及液・錠劑粉末あり

內服用錠劑

藤澤友吉商店　大阪道修町

●頭痛にノーシン●

皮膚の學者により創製された皮膚病藥

くさ、おできにデンチン

皮膚のくづれに塗れば、膿の分泌が淨化し非常に早く新らしい表皮が出來て治癒します。

耳漏・痔疾

癒りにくいきづ、糜爛せる濕疹

等を短時日で治療するヴイタミンA外用の治療劑です。

定價一圓三十錢・六十錢

全藥一圓五十錢

各地藥店にあり

田邊商店

巡查試驗

巡查志願者はハガキで東京巡查試驗問題見本を無代進呈

東京市神田區一ツ橋　官吏受驗講習會

腹が第一

腹がへつては戰が出來ず、腹がはつても仕事が出來ぬ。人生腹工合が第一。腹はり、腹鳴り、くだりばら、はら痛等胃腸疾患の治療と食慾營養の增進にはヘルプが第一。

（慢性胃腸病には滋養物よりヘルプ）

三圓六圓

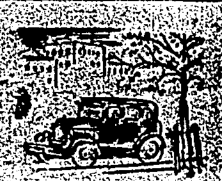
全國の藥店にあり

本舗　津村敬天堂

颱風圏內

(1)

畑耕一作　山田喜作畫



襲來の前（一）

ちよつと助手の肱に手をやつて頭をさげながら、助手がパタンと扉を締める。

「では、夫人さん、また明日の晩」

「駄目、わたし、氣まぐれ屋さんだから、明日のことは明日にならなくちやわからないわ」

「そんなに仰有らないで……僕達はみんな夫人さんをあてにしてゐるんですよ」

「迷惑だわ。そつちで勝手にきめ込んで、あてにしてゐるもないもんだわ」

「夫人さん、明日、お電話をさしあげてよろしいでせうか？」

「わたしどなたにも電話は出ないことにしてゐるぢやありませんの―」

容が、輕く四、五人の學生へ、わざとらしく素氣ない瞥へをくれて、艶典夫人は、振り返つた運轉手に、「それ」と輕く眼くばせした。

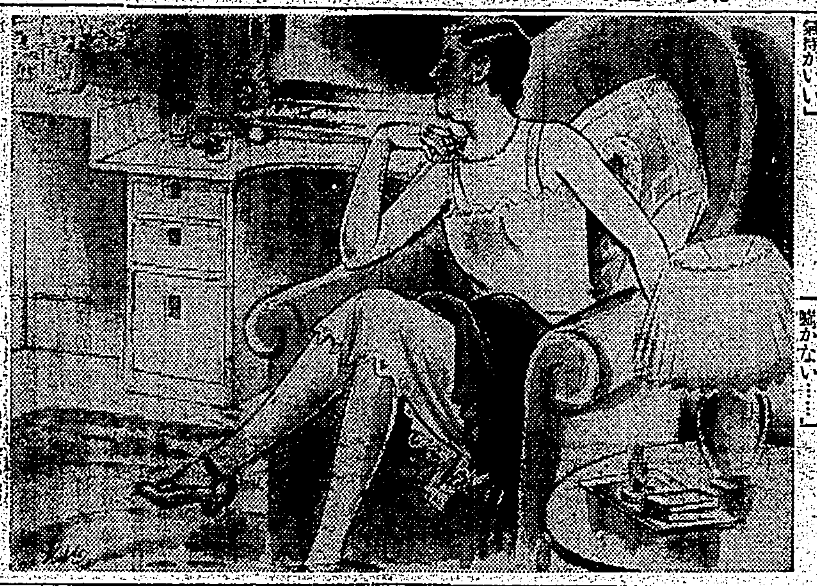
自動車は動き出した。

輕く中身を天鵞絨のクッションに凭せ掛けて、夫人は揺るがままに、次第に瞳を閉ぢた。

ヘッド・ライトを頻々と閃かせながらまつしぐらに走る―

或る都會的な微笑が、夫人の頬に漂つた。

「でも、まだ、學生のはうがいいわ。なんといつても正直で可愛いところがある。あの海豚のやうにデブついた銀行屋のお爺さんや、栗鼠のやうにこせついた寶石屋の若主人よりは、話してゐてずつと氣持がいい」



―夫人はひとりうなづいた。が

「いやいや、だけれど、學生だつてこの頃は隨分小悧巧に横着になつた。安心はならない。あの連中も吟味すれば、それぞれ嫌な野心やら希望やらをもつてゐる。ただ乙彦さんだけはいい。あの人は純だ。口數はすくなく、どんな場合にでも、自分が學生であることを忘れない。先刻だつて、みんなのうしろから默つて見送つてゐたけれど、一番質實な態度で、今夜の招待を感謝してゐてくれた。よくあの人の心持はわかる。すべてに嘘がない……」

逞しく濃い眉、象牙彫のやうに整つた鼻、豁かに澄んでゐる瞳―夫人は一つ一つ、天岸といふ學生の道具立を思ひ浮かべた。

ブーブーッと鋭く鳴らされた喇叭。自動車は砂利を轢いて玄關に横づけされた。

すぐ内部の電燈がともつて、女中が三人、硝子戸を雙方から開けて居並んだ。

「御苦勞さま」

運轉手と助手がヒラリと飛び降りる。扉をあけて頭をさげる。

夫人は背ひ乗てて、ズッと入る。―化粧室で眼もさめるやうな眞紅の、奇抜な切嵌の肩穴をつけたドレスを、ゆるやかなパジャマと著かへ、派手なナイト・ガウンをひつかけると、

「もういいからお眠みよ」

手傳つてゐる小間使のお千代にいつた。

「はい。ほかに御用は？」

「すぐ寢室へゆくから、あすこへいつもの本と飲み物を置いといておくれ」

「畏まりました」

お千代は一禮して去つた。

夫人は、革張の椅子によつて、ミス・ブランシュの細巻煙草に、小さな七寶の點火器をパチンとあけて火をつけた。

香の高い紫煙が天井の燈火に雲母のやうに美しくひろがる―

ツイと立つて希臘風の彫刻を施した桃花心木の化粧臺の前に來たその豐麗な肉體を誇るかのやうに、胸を反らせざま、フッと煙を鏡の面に吹きかけた。

得意滿々の微笑―

が、彼女は、どうしたのか「あつ！」と驚いた。

ラヂオ　大楠公

今日の番組

臺北（ＡＫ）周波六七〇
臺南（ＢＫ）周波七二〇

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操
今日のお天氣のお知らせ…臺北測候所發表
【八・〇〇】全國氣象通報（東京）
【九・三〇】家庭百科問答 △[illegible]場についておたづねの方に△近視兩眼の眼鏡について△素人で指紋を簡單に撮る方法△唇がただれて困つて居ります
【一〇・一〇】家庭料理獻立（臺北女子高等學院研究科發表）△鯛丸揚△胡瓜白酢和へ
【一一・〇〇】日用品小賣値段…臺北市西門市場發表、臺南市西市場發表

午後の部

【一一・五九】正午の時報、氣象通報（臺北のみ）臺北測候所發表
【〇・一〇】放送局編輯ニュース
【〇・二〇】晝間娛樂時間（レコード演奏）臺灣音樂一、絞芝瓜二、槙子孫補…陳王安、徐阿保三、怨嘆興嫂移…碧雲 四、古城會…金水、阿樂、紫珠、阿却
【一・〇〇】氣象通報（臺南のみ）臺南測候所發表

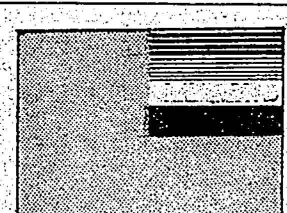
夜間の部

【六・〇〇】子供の時間（臺北）童話「影をほしがる猿」元重恒
【六・三〇】講演（名古屋）豐太閤の話…神宮皇學館教授 若山善三郎
【七・〇〇】英語講座（臺北）初學科、第八講…吉見猛
【七・三〇】大楠公（臺北のみ）桃山神風
……浪花節の夕……臺北
【七・三〇】新日本音樂（臺南のみ）一、遠砧…尺八天野淸、同安生長治、箏（高）古本幸子、同（低）牛尾喜久惠、三絃中貞 二、春信幻想曲…尺八一部天野淸、二部安生長治、箏（高）古本幸子、（低）牛尾喜久惠、三絃中貞、ヴァイオリン葛山龍男
【八・〇〇】兜山の血煙…岡本圓造
【八・三〇】時報（東京）
【八・三一】空閑少佐…京山呑風
【九・二〇】氣象通報臺北測候所發表、翌日ニュース（臺北のみ）放送局編輯ニュース（臺北のみ）臺南新報ニュース（臺南のみ）公示並告知事項、明日のプログラム發表

明けゆく滿洲（十四）

新京にて　草方生

進軍喇叭を吹奏する國都新京



建設途上にある滿洲國の策源地は新京である、よし未だ國都としての體を爲さず、文化設備は何物の見るべきものも無いとは云へ、滿洲國の光りは此の地から發して行きつつある。溌しき市街、貧弱な建物、そこに何等の新しい味は無いが、之より萌出でんとする冬籠りの芽の様に、目に見えぬ新興滿洲の氣運は新京の天地に横溢して居る

◇

新京は少しも靜止して居ない、それは流れる水の如く、前へ前へと進んでゆく、到る處進軍喇叭の吹奏を聞く様な氣がする、第一この土地は人の出入が夥しい、その結果一番繁昌するのが旅館と料理屋と自動車であらう、出入する中で最も多いのは軍人であることは申す迄もない、旅館も軍人、料理屋も軍人、自動車も軍人と云つたのが、私の滯在中の新京であつた

◇

私のありついた旅館は二流位の粗末なものであつた、それでも手足が延ばせると思へば無上の有難味を感じて、女中の導く儘に浴室へ行つた、獨りの白髮の品格の紳士らしく良い年配者が、私より先きに浴槽に氣持ち良ささうに浸つて居た、私はその人と並んで這入つた、其人曰く『熱くありませんか』「いいえ、丁度良い加減ですよ」と私は答へた、其人は我意を得たりとばかりに寛んで語り出した

◇

『あなたは北からですか南からですか』と、私は答へた、『アア、北ですか、私も北です、私は軍隊の者です、ハルビンから來たのですが、明朝またハルビンへ立ちます、又二三日すればやつて來ますよ』と、なかなか元氣に自己の任務を語つた、この老人は岡山師團の人見聯隊長であつた、翌朝私が鳥打帽子を被つて洗面所へ行く時、廊下でバッタリ會つたのは、大佐の軍服を著た昨晩の人見聯隊長で、是からハルビンへ出發の刹那と知れた

◇

或る通信社の幹部と某料亭で私は夕飯を共にした、新京の藝者が二人私達の席へ來てシヤベリ出した所へ仲居が物を運んで來た、其時恐ろしく廊下が騷がしくなつて、航空隊の某と云ふ軍人が御入來との觸れ込みだ、すると私共の席に居た若い藝者が、急に顏色を變へて『アノ方のお顏が一度見たい』と云つた、間もなくこの若い藝者にお貰ひが懸かつて來た、アノ方とは、當時行方不明を傳へられた航空隊の士官と知れた、是等は軍人ならでは夜も日も明けぬ新京の一面觀である

◇

關東軍司令部の某友人と私はヤマトホテルで晩飯を共にする約束で出懸けた、友人を待つ間にホテルの應接間に數十名の陸軍士官が集まつた、何れも金モールのたすきを肩から懸けて居た、流石に新京のホテルらしいと感じた、私の友人は約束の時間にやつて來たが、食堂でモウ一人の軍司令部の友人が私達の食卓に來た、間もなく又一人通信社の友人が是も偶然來合せた、吾々三人は卓を圍んで熱河問題を論じ會つた

◇

滿洲國には一體誰を迎へたら最も統治上工合良く行くだらうか、などと勝手な下馬評を始めた、是からの滿洲は産業化す必要がある、それには山本条太郎と云つた人物を登場さして見たいと異口同音に云ひ出した、それ程滿洲では山条氏に人氣がある、所が當の御本人は滿洲なんか鬼門だと、陰で腰をして居るかも知れぬ

身上相談

相談相手もなく思案に餘る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛で御申出下さい電話や面會はお斷りします

姑や夫に不滿　婚家を出たい

私は內地人一女性で御座います昨年の春某青年と戀愛結婚をいたしましたが半年位は何事もなく暮しました、然し其後は、姑からも冷たい態度に出られ夫も何の理解もなく唯束縛する事だけしか知らず無理ばかり言ひます、彼自身は服を新調しても私には何一つ惠んでくれず且つ彼には向上心も無い樣で將來が不安でなりません、いつそ思ひ切つて家を出て職業婦人となりたいと存じますが如何でせうか、事務はなれてゐて出來ると思ひます、或は中流以上の家庭へ女中として入り働いて行きたいとも考へます、今の樣で暮してゆけば老後がどうなるか心配でなりません、一日も早く出て働きたいのですが何樣お手引き下さる事はできぬものでせうか（なやむ女）

婚家を出るなら合意の上で

あなたは、姑が冷たい態度だとか、夫が自分は服など新調しても自分には着物を買つてくれないなどと女らしい事ばかり言つておいでますが本當によく物事を考へて見る必要がありませう戀愛結婚などといふ事が却々輕率な事で一生を託する夫を選ぶといふのに隨分冒險をしたものではありませんか。この上更に冒險をされやうとするのですから餘程よく考へねばならぬと思ひます。自分の事は自分が一番よく知つてゐるのですから[illegible]際の此の注意をよく[illegible]どうしても夫に見込み[illegible]家庭を出る外ないといふ[illegible]合意の上先方をも納得[illegible]る樣になさるべきで[illegible]り何かすると[illegible]お困りと考へます[illegible]には關係者を仲に入れて[illegible]くべきでせう、稚若い女が[illegible]立つて職業婦人として立つて行く事は之も可成り危險があります[illegible]す、食ふ事は出來るとして[illegible]して將來のためよいか惡いか[illegible]判斷つきません兎に角よく考へた上できめなさい[illegible]職業婦人として御周旋する[illegible]は出來兼ねます（係）

浪花節の競演

臺北　夜　七時三十分から九時二十分まで

第一　大楠公

七・三〇　桃山神風

萬世一系世界に稀な皇國の我國は春秋めぐりて三千年、遠い昔の西國より赤き心の武夫は、數多けれど命を賭し、屍は朽ちて苔むすとも、死して護國の鬼となる、嗚呼忠臣は楠氏の臣と、神と祀られ崇められる智勇兼備の正成が水は枯れても清き名を、千載までも後の世に、流れ久しき湊川、時は延元元年の青葉茂れる皐月の末、降りみ降らずみ五月雨の、空ほのぐらい東天の曉破りて鬨の聲、もはや寄せ來る逆賊に君の御を守りて楠判官正成は、一族郞黨五百餘名今日を最後と九重の、都を後に兎島立ち駒をばしばし櫻井の、宿にとどめて背乘さへ戀れる面影に粹弓、執つて諭へる床しさよ、大楠公父子櫻井訣別れの一席

第二　兜山の血煙

八・〇〇　岡本圓造

明治二十一年四月滋賀縣草津より三重縣四日市に通ずる鐵道工事を大倉組で請負した、その下請として伊賀の上野の土木師二引組がトンネル工事を請負した。伊勢神部の藤中組が工夫を一手に引受けた所、藤中組の資本家で大野屋兵衛の破産した爲めに明治二十三年十二月二十七日關西鐵道ダケの鎖より三つ目のトンネルくぐれば北にそびえる鈴鹿四十八峠の山にて伊勢の藤中組と上野の二引組とが雙方三千人の人夫が入り亂れての大亂鬪の一齣である

第三　空閑少佐

八・三一　京山呑風

假りの世を祖國人の爲にて、今日もむなしく暮しつるかな

硝煙彈雨のその中に、我魁けて勇ましく散るや日本の櫻花、勝を高く謳はれし勇士の數は多けれど、刀折れ彈丸つき倒るるまで、人事をつくしてよく戰ひ、武運つたなく悲しくも身は敵軍の捕虜となり死するにまさる恥辱を忍び、鐵も通り拔き武夫の士節を守りて、戰ひの終りし後に從容と自ら散りて花の一輪、陸軍少佐空閑昇悲壯の最期の物語

講演

名古屋【午後六時三十分】

豐太閤の話

神宮皇學館教授　若山善三郎

家庭料理獻立

臺北女子高等學院研究科發表　午前十時十分（臺北）

△鯛丸揚（チーフンギュイ）鯛肉 五十匁、椎茸 二箇、ネーブ 四合、醬油 少量、食鹽 少量、生薑 一箇、胡麻油 少量、筍 少量、玉子 一箇

△胡瓜白酢和へ 胡瓜 三本、豆腐 一丁、[illegible] 二本、人參 一本、砂糖、鹽、酢 適量

婦人倶楽部
六月特大號
十八日發賣

第一附録
夏の子供服婦人服の作り方
型紙六十種と型紙擴大器つき新型六十種の作り方發表！！
この附録の十大特長
▲東都の一流洋裁大家を總動員した空前の大計畫！……
▲作り方は全部圖解入の説明で誰方にもスグ出來ます
▲今夏の新流行型ばかりを選りすぐつて六十種發表……
▲モダンに過ぎず流行に遅れず上品で輕快な新型揃ひ
▲赤ちやんものから女學生婦人ものまで一切を網羅……
▲附屬品付き洋服地特價提供といふ大奉仕大特典つき
▲應用自在で重寶便利な新工夫の型紙六十種を添付……
▲どれも市價の半額で仕立上るのでトテモ經濟的です
▲スグに役立つ新考案の巻尺式型紙擴大器を添付！……
▲日本一親切な洋服裁縫の獨習書と諸名家挙つて推奬
大懸賞　ホームミシン三百台

第二附録
お子様方へのお土産附録
漫畫繪本　凸凹黒兵衛
いよいよ面白くなつたので大評判！
定價六十錢　附録二大つき
大日本雄辯會講談社

侵略國に對する
商業的制裁に言及か
歐洲政局の惡化に鑑みて
米大統領が重大聲明

【ワシントン十五日發電通特電】ルーズベルト大統領は最近の歐洲政局が世界經濟會議を前に控へ次第に惡化しつゝある現狀に鑑み、これに關するアメリカの態度及び意向を全部的に明かにするためステートメントを發表することとなつた、その內容は歐洲の平和及び安全保障を中心とし協議條約參加の意思を表明し、且つ目下大統領が非常な關心をもつて考慮中の侵略國に對する商業的制裁の可能性についても言及するものの如く、尙フランスドイツ兩國の緊張せる關係に對しても切に平和維持の必要を訴へるものと解されてゐる

但しホワイトハウス官邊ではこれは歐州で活動中の軍縮代表ノーマン・デヴィス氏の活動を助ける意味で發する ステートメントではない旨言明し、單に大統領の立場を宣示せるにすぎずと稱してゐる

【ワシントン十五日發聯合】歐洲政局に對する不干涉主義を固執する米國を歐洲の政治機構に參加せしめ、ヴエルサイユ體制を基礎とする歐洲の現狀維持安全保障に米政府の協力を得ることは世界平和確立の根本政策として英、佛その他諸國の等しく待望する所であつたが、ル大統領は愈々米從來の超然孤立政策を放棄し、安全保障に關する商議條項を受諾するに決し、十六日米政府の歐洲に對する外交政策に關し所謂ルーズベルトドクトリンを聲明する重大聲明を行ふこととなつたが、その要旨は大體左の諸項を含むものと見らる

△侵略的戰爭の脅威ある場合米は何日にても諸外國と商議に應ずる用意あり△米は米大陸に關しては依然モンロードクトリンを固執せんとするものである△但し所謂商議條約に加盟し他國の要求に拘束されることはこれを避く

ル大統領自ら
歐洲に乘出さん
米國消息通の觀測

【ワシントン十五日發電通】ドイツの軍備均等要求と國防軍存續主張等により軍縮會議が再度停頓狀態となつたのを遺憾としたルーズベルト大統領は愈々軍縮會議の難局を打開し世界經濟會議への道を開くため國內にありて國際會議指導者の位置に立ち、場合によつては自らヨーロッパの舞臺に乘出すだらうと消息通は見てゐる

歐洲の舊聯合國
聯盟に提訴か
ヒトラー獨首相が軍備擴張を行へば

【ワシントン十五日發聯合】大戰當時の聯合國側の情報を綜合するに、若しヒトラー獨首相が軍縮會議と正式に絕緣し、軍備擴張を行ふことあれば歐洲の諸聯合國は單獨又は共同して聯盟に提訴し理事會の裁斷を仰ぐ意向である

各戶を巡回して
檢病的戶口調查

夏季の傳染病撲滅のため臺北州警務部は臨時防疫雇員五十名を募集し南、北兩署に廿名づつ、其餘署に八名、州衞生課に二名を配置し十六日から直ちに活動を開始したが本年十月十五日迄の六ケ月間に亙り各戶を巡回して檢病的戶口調查をなし傳染病の早期發見に努力する事になつてゐる

五・一五事件を
三大臣から伏奏
十六日前後して參內

【東京十六日發電通】五・一五事件の發表終結とともに司法・陸・海軍三省打合の結果發表する內容も十六日の閣議で決定した結果、大角海相は午後四時、次で小山法相、荒木陸相も宮中に參內し夫々事件內容を奏上して退下した

十七日夕五時に
天下に發表
一切の手續を終つて

【東京十六日發電通】五・一五事件の發表文案の修辭上の問題については其後軍部と司法省の間に數度の交涉が行はれた結果、十六日三省間で大體折合ついたので司法省としては愈々三省の分を取纏め發表案の起草を終り、同時に別項の如く小山、荒木、大角三相はこれを伏奏申上げ一切の手續きを終つた爲め、司法省は十七日午後五時（內地時間）を期し五・一五事件を天下に發表することになつた

臺北州の
水產試驗船
引渡しを完了

臺北州が岡山縣宇野の三井造船所で建造中であつた新水產試驗船七星丸はこの程竣功を告げ臺北州から受取のため同地に出張した窪田勸業課長との間に十五日正午引渡を了したが魚艙三個の內張改造其他細部工事のため二十二日宇野出帆途中宮崎に立寄り臨時漁夫を乘組ましめ鰹漁業をなしつゝ基隆に廻航の豫定である旨臺北州に通知があつた、尙窪田勸業課長は豫定を早め十八日門司出帆の吉野丸にて歸臺の豫定である

新竹州の郡守
市尹會議（第一日）

【新竹電話】新竹州の郡守市尹會議は十六日午後一時より開會されたが、指示事項二十九件、注意事項十二件を蒸し暑い知事應接室に於て議し、午後三時半には第一日の日程を終つて諮問事項「管下產業五ケ年計畫の進捗狀況並に重要指定道路その他地方產業道路實施促進方策につき意見を諮ふ」に移り、郡守市尹が先陣を承つたが、問題が直接市政に關係薄き爲めかあつさり片付け、その後を承つて鹿田大溪郡守が蜿々四十分の答申を試みた、かくて午後四時半第一日を終つた、尙內海知事は午後六時半より稻亭湖畔にて郡守市尹會議出席者一同の招待宴を催した

草山の桃林に
褐斑病が發生

臺北州七星郡士林庄の桃の名所永福、山子後、草山などの桃林に一週間程前から病菌が發生し、折角實のつた桃は片つ端から落ち、葉は黃色くなり百姓連中は大弱りであるが農民らは氣候の加減と稱して成行きに委せてゐる、草山に別莊を有つ山本悌信氏は放任して置いては桃は全滅するとあつて十五日臺北州を訪問し當局からこれが豫防法其他について種々聽取するところがあつたが七星郡も此役場もまだこのことを知らずこの話を聞き聊か驚いてゐる、この病氣は褐斑病で病徵は葉に小さな淡褐色の斑點が出來、この斑點は漸次擴大して圓形又は橢圓形をなし中央から變色して褐色となり且つ健全部から稍陷み周圍に向ひ色濃く後遂に暗黑色を帶び黑色の小粒點を生じ其裏面は暗褐色を呈し稍輪紋を認むるものである、防除法としては春季より時々二斗五升式石灰ボルドウ液を撒布することと被害葉は除去燒却するより外に方法はないと

賭賄者は有罪で
貰つた小川氏は無罪
東京檢事局が起訴か

【東京十六日發電通】東京檢事局では私鐵疑獄關係の各被告が無罪となつたことについて直ちに檢事會議を開き模樣によつては大審院の命令を仰いで更に無罪となつた小川平吉氏を起訴するか、又は普通手續により控訴するかを

評議し

てゐるが、右は[illegible]て小川氏關係の瀆職罪については北海道鐵道、伊勢電鐵、東大阪電鐵、奈良電鐵等悉く小川氏の瀆職を認めて起訴してあるに拘らず問題の多額鐵道については太田淸氏が四萬圓を贈つたことについて起訴してあるが、その贈賄の情を知つて受取つた小川氏を起訴してない、即ち前記の四私鐵關係が悉く無罪となつた[illegible]多額鐵道關係で有罪とすべき節ありとするも檢事の

起訴が

なかつた爲め有罪とするわけにゆかずといふ點である、而して右理由において太田氏は贈賄として有罪となつたが受取つたものは起訴されて居らず、從つてこの事件中に法律的事實として現はれなかつたと云ふ珍事實を出現したものである

裁判長は
頭がいい
小川平吉氏談

【東京十六日發電通】無罪となつた小川平吉氏はにこにこしながら

無罪になつたつて別段うれしくない初めから自分は無罪と思つてゐたんだが流石にけふは惡い氣持はしないね、それにつけても天岡君は氣の毒だ一つ何か書かうか

と筆をとり「雲在天、水有瓶」と起訴當時にものした得意の漢詩を書き

裁判長は硬骨漢だと聞いたが判決を見ると中々頭もいい

としきりに褒め大元氣である

すぐ控訴（天岡氏談）

【東京十六日發電通】懲役二年を言渡された天岡直嘉氏は不機嫌で語る

何も感想はない、自分はやましくない、無論早速控訴するよ

比律賓選手の
歡迎茶話會
昨日總督官邸で

中川總督は十六日午後二時より官邸に比律賓水泳選手を招待して茶話會を催したが總督初め平塚長官各局長、中瀨州知事、西澤市尹、米國領事初め加福、中澤兩博士、[illegible]、庭園で記念撮影の後食堂にて茶話會は開かれた、中川總督は越村通譯官の通譯で一場の挨拶をなしアリヴィア監督は松尾通譯を介して謝辭を述べ歡談裡に午後三時散會した

比島選手に
午餐の接待
圓山動物園で

來北中の比律賓水泳選手一行は十八日午前圓山動物園を見物するが臺北市役所では同日正午比島選手及び關係者二十名を招き動物園內倶樂部建物にて午餐の接待をなすこととなつた

米國から三少年
日本見物に來る
懸賞論文に當選して

【東京十六日發本社特電】國際觀光局がアメリカンボーイ紙を通じて「何故僕は日本へ行きたいか」といふ題名で懸賞論文を募集したが、その一等當選者には日本に觀光旅行をさせるといふ條件がセンセーションを捲き起し、去る三月十日の締切りまでに一千七百六十五篇の可愛らしい論文が集まつた嚴重な審査の結果一等當選者左記三名が選ばれた

加州ハリウツド・ハイスクール二年生　ドナルド・ブラドロー（一五）

アラバマ州バーミンガムラムゼイハイスクール四年生　ケイ・ストロムキスト（一五）

ジョージア州ワシントン十一級　ゼミルトン・ウイリアム（一八）

三君はアイカワ州立大學新聞科助教授ミチエル・チャンレイ氏に引率され六月三十日郵船日枝丸でシヤトル發七月十四日來朝するに決定、一行は小、中學や各種運動競技產業機關等を見學、八月二日鮮滿に向ひ同十一日神戶に歸來、十七日横濱發歸國する豫定

京大が潰れば
斷乎たる處分
瀧川教授の處分問題で
文部省小西總長に通牒

【東京十六日發電通】文部省は京都帝大瀧川教授の處分問題に關し過日上京した小西總長との話合によりその自發的辭表提出を待つてゐたが、今日に至るも未だその處置に出でざるため鳩山文相は十六日午後粟屋次官と協議の結果京都帝大側で處分を行はざる時は[illegible]をもつて文官分限委員會に附議し斷然たる處置に出る旨小西總長宛通牒した

小公學校の兒童
約一萬人が旗行列
海軍記念日の行事

來る二十七日の海軍記念日は時局柄盛大に擧行することとなつたが臺北市における記念行事は左の通り決定した

◇記念講演　二十五日午後七時三十分より[illegible]にて時局に關する講演會を開催する　講演者井上海軍武官、藤井大佐

◇海軍記念日式典　二十七日新公園廣場（雨天の場合は取止め）官民合同として午前七時花火三發を打揚げ△開式時刻午前九時△式次第（一）開式…喇叭、氣を付けに依り一同姿勢を正す（二）軍艦旗揭揚…國歌合唱二回、樂隊伴奏（三）日本海海戰に因みたる勅語奉讀…市尹（四）大元帥陛下萬歲三唱（五）帝國海軍萬歲三唱（六）閉式…喇叭「解散」に依り小學校生徒より退場△參加團體　陸海軍隊、在鄉軍人會、青年團、青訓、少年團、諸學校、官衙、銀行會社、各町團體其他（式典參加團體注意）（一）諸學校は校旗を其他の團體は團體名を書きたる標示旗を携行のこと、但し小公學校（附屬小公學校を含む）には別に市役所より小旗を配布す（二）集合は午前八時五十分迄に完了のこと

◇學童旗行列　二十七日市內小公學校及參加人員、內一四△參加學校五年以上男女（附屬小公學校を含む）全部約一萬人△實施要領（一）各學校は午前八時四十分迄に新公園に到着する如く其校を出發のこと、但し行進經路は各校隨意とす（二）行進途中は小旗を揭げ行進歌を高唱すること　日本海海戰の歌（三）新公園に到着せば係員の指示に依り東面の二列乃至四列側面縱隊に整列し式典に參加すること（四）湯茶は新公園以外には準備なきを以て可成水筒を携行せしむること

◇官民合同祝賀會　二十七日午後五時より鐵道ホテルに於て官民合同の祝賀會を擧行す（會費金二圓）宴會は挨拶式とし前年の例に依る

◇記念放送　二十七日午後六時三十分臺北放送局より約三十分井上海軍武官の記念講演及海軍在鄉軍人に依る海軍に關する軍歌の放送をなす

◇音樂演奏　二十七日午後七時より新公園音樂堂にて臺北音樂會の音樂を演奏す

◇活動寫眞公開　午後七時三十分より新公園廣場に於て海軍に關する映畫を公開し帝國海軍の實情を一般に普及す（フイルムは主として海軍省より貸下のものを使用）

十九路を怨嗟の
童謠が福州で流行
江屛藩氏が刺殺さる
本社福州特置員　靜山生

十九路軍が非常に福建人に怨かれてゐることは既報の通りであるが最近市中到るところに次の樣な十九路軍を怨嗟する童謠が歌はれてゐる

（イ）歡迎十九路、有脚行無道（十九路軍を歡迎したところ今は足があつても行くべき道がない即ち十九路軍が依然跋扈し何もかも行き詰つてゐる）

（ロ）歡迎蔡廷楷、要哭無目屎（蔡廷楷を歡迎したところ今は泣きたくても淚は出ぬ、即ち失業者は激增し稅金が高く搾られ全くペテンにかけられた）

（ハ）歡迎蔣光鼐、月々有錢打（蔣光鼐省政府主席を歡迎すれば月々金が貰へる、詰り失業の心配がなく毎月の給料がとれるのを後悔してゐる）

× ×

福建省政府の要職を一手に握つてゐる十九路軍は文武官員を問はず悉く金錢搾取の目的であつて民利民福や福建の開發は一種の欺瞞行爲に過ぎない、財務總局の統計によると[illegible]局及び水上四ケ分署に毎月三百元宛の稅金を局長宛に送付すべき內訓を出した、それで各分局長は所轄內の戶口保甲等に關し何でも彼でも稅金と云ふ調子でまきあげるので市民の怨嗟ぱつと上つた。閩侯公安局長は逃日辭職した同局狙擊隊に對しそれ相應の稅金を私し中に資力なき者のみを法院へ移送したので法院でぷつ〳〵言つてゐる

× ×

臺北大和工業會社と大橋改造の契約を結んだ當時はいろ〳〵の噂も立てられたが大橋完成した今日市民から好感を寄せられてゐる前者政府委員兼建設廳長にして現在閩海關監督江屛藩は三日の午後三時東門外で暗殺されて即死した加害者[illegible]は即時就捕された、死因は[illegible]に關する家[illegible]に起因[illegible]最初市民が直感したのは[illegible]してゐる廣東福建（江は福州人）の黨派感情の色彩はない樣であつた加害者[illegible]は屛東で洋服店を開き[illegible]してゐる人で[illegible]が江の[illegible]されたとて訴訟を起こしたところが[illegible]となつたのは江が[illegible]の爲めだと曲解し[illegible]從つて三日[illegible]を讀めたことを聞いて[illegible]から歸閩したところ[illegible]めて居ることを聞き[illegible]さた店を[illegible]三回[illegible]知り三日黃は[illegible]して待構へ江を不意に襲つて石灰を擲げてから刺し殺した、黃は直ちに[illegible]つて目下[illegible]局で訊問中

印度に押渡つて
邦品の販路擴張
印度通川畑福一氏
青年商業隊を組織

【東京十六日發本社特電】關稅障壁を高くし日本品を拒んでゐるインドに押し渡り邦品の販路擴張の爲就職難に惱む學校出の若人で青年商業隊を組織し

感情的

にもインド大衆と手を握らうと云ふので滯印二十年のインド通川畑福一氏が昨年七月歸朝以來桐生市織物組合前組長飯塚春太郎氏をはじめ杉森孝次郎氏等實業家學者方面の援助をうけ青年商業隊の計畫が成つた、最初十名を送り邦品の直接販賣の草分けをなし、一年後に次の學校卒業生百名を送り最初の者が一人で十人宛の

指導者

となり、次の年もこの割合で進めて行つてインテリ青年の海外活躍と邦品の販路擴張はインド人の手でのモットーでインド市場を獲得しやうとするもので、川畑氏は六月中旬渡印先發隊の調査をとげるとともに青年商業隊の本據とする家屋等の準備をすませ十月歸朝、最初の十名を連れインドに乘込む事になつてゐる

臺北市蔬菜園
で花卉苗提供
十九日朝から

東門町の臺北市蔬菜園では來る十九日午前八時から午後二時までの間に花卉苗の無償配布をなすこととなつた、品種は松葉牡丹、朝顏、千成酸漿、其他十種で數量は約五萬本である

運動にも
オゾー
萬一の怪我は[illegible]
疲勞の減少と回復
にもテキメンです

インチキ記者
二人檢擧さる
泥棒や詐欺が本職

インチキ記者二人が最近南署にあげられた、しかも泥棒や詐欺が本職と來ては聞いただけでも呆れざるを得ない

× ×

現住所臺北市壽町二ノ一林道夫は萬朝報臺灣支局記者の名刺を振廻し自稱柔道五段と稱し諸官廳にも出入してゐたが、過日臺北練兵場で競馬見物中、某氏がアレが宅に入つた泥棒だと[illegible]の刑事に耳打し其場から引立られ其儘留置取調べを受けてゐるが、彼れは夜間留守宅に忍入、現金を專門に泥棒を働いてゐたこと判明、被害も可成り多數に上つてゐるらしい

× ×

お次は詐欺の常習者で「新聞聯合」の名刺を振廻し山羊鬚を生し和服に白足袋を履きヤギさんで通つてゐる岡田國といふ男、無錢飲食で訴へられ、取調中職業紹介所の手の招待で救助金と稱し各所から約三百圓を詐取し最近には時局關係の寫眞を島民に賣へると稱し津崎代議士や某退役海軍中將など二三の知名者を招待すると豪語しまで發表、會社最高幹部などとも面會しこれを種子に一儲けをたくらんでゐたものである、彼れは總督府や專賣局、市役所などにも出入し職員から「子供の月謝がないから一圓借せ」「今晚の夕飯が食へぬから一圓借せ」とか或は「電氣水道料が拂へぬから五圓借せ」といつた具合に借り倒してゐた、今春にはスズキタクシーの運轉手を醉狂の餘り半殺しにした札附の注意人物である

× ×

近來この種のインチキ記者や金[illegible]新聞等のインチキ連の横行甚だしく官廳や銀行會社側でも弱つて居り、州、市、郡などの文書課長や庶務課長は全く神經衰弱になりさうだと悲鳴をあげてゐる

カルモを嚥んで
記錄し乍ら昏倒
十二分目にオケサを書き
奇拔な自殺未遂男

【東京十五日發本社特電】カルモチン自殺を企て服分その效目を記錄しながら十二分の後に氣を失つた男がある、十四日午後六時頃王子區上十條の雜木林の中に二十三四歲の職人風の男が昏睡狀態に陷つてゐるのを附近の子供が見つけ、王子署員が駈けつけ調べるとカルモチンを

多量に

服用昏々と眠つてゐる、所持品には時計と鉛筆口に金三錢があるだけであるが膝の上に乘せてあつた遺書らしい記錄がふるつてゐる

俺は今カルモチンを嚥んだ、何分たつたら藥が止るか、口の中に泥つた、何ともない、二分たつたでも入れたやうだ、三分たつた、バットを一本吸ふ、ゲップが出る、四分、まだ何ともない、七分、嚥んだカルモチンの

效力が

ない、八分、三原山行としようか、十分、何ともない、おケサでも一つ歌はうか、十二分、雪の新潟吹雪で暮れる佐渡は……

で奇拔な記錄が切れて困り雷鳴である、身許照會中で一時行路病者として王子區役所に引渡した

同じ日に
二人斬らる
基隆署活動を開始

【基隆電話】十六日午後四時頃基隆市双葉町双葉小學校裏山頂上西川町との中間竹藪內で一人の本島人男が後首すぢを斬られて紅に染まつて倒れてゐるのを通行人が發見屆け出でたので、基隆署から清水刑事主任以下急行、直ちに最寄醫院に擔ぎ込んだが同人は瀕死と云ひ一老鰻某から

臺灣刀

で斬られたと苦しい息の下から當時の模樣を物語つて間もなく絕切れた、同署では直ちに署員の非常召集を行ひ犯人捜査を開始した所午後七時半頃今度は人の出盛る旭町媽祖廟前而も旭町派出所の目と鼻との間で又も一人の本島人男が

滅多斬

りにされた事件が起こつたので引續くこの血腥い事件に假に狼狽し服部署長迄出動して同署員を指揮し大活動を行ひつゝあるが詳細は目下取調べ中、數日前の慶安宮祭典で多數の老鰻が入込んでゐる事が確實なのでこの際一擧に老鰻檢擧も行ふ模樣である

線路上で遊び
幼女轢かる

十五日午後二時一分、臺北市新富町五の五五邱木記（[illegible]）運轉の汽車が新店發萬華に行く途中、公館驛發水源地驛に到着せんとする際、水源地驛構內踏切で七星郡三芝水和組合會社林尙父の次女林氏惡笑子（二）が遊んでゐるので警笛を鳴らし徐行したが何んの辨へも無い子供の事、線路に入つて來たので急停車したが、遂に及ばず機關車で突倒し左足先きを碾いた、直ちに臺北病院に收容手當を加へて居る

山岳寫眞展
廿日から丸山吳服店で

臺灣は高山國と云はれるだけに全島到るところ天下の絕景ばかりである、この絕景を目のあたり島都臺北市民に紹介しやうとして本町の丸山吳服店では臺灣山岳會臺灣勝地寫眞協會

後援の

下に二十日から二十四日迄五日間同店階上で寫眞展覽會を開催する、陳列される寫眞は六十點の多きに達し、然も各方面秘藏のものばかりで大きさも全紙物か或は全紙二倍半の大物ばかりである、國立公園として全國的に知られてゐる阿里山の雲海美、新高の壯容、各種塔山の溪谷美、獅頭山の神秘境、臺東耶馬溪、近くは北投紗帽山から雪の大屯山まで全島に亙り勝地や絕景は悉く網羅してゐる、登山期を寂はす

入道雲

がムク〳〵と湧き出し始めあちこちで登山計畫が進められてゐる際とて山に行く者には又とない參考展となり、登山趣味のないものにもその偉大な自然美に心醉さす事であらう、夏の催しとしては趣味と實益をかねた有意義な展覽會であらう

基隆神社大祭の
催物は例年通り

【基隆電話】六月三日基隆神社大祭の催し物についての打合會は十五日午後一時から市役所三階會議室にて各官衙長町委員等約五十名參集の下に開催された、小島助役、多賀視學より說明、協議に入つたが基隆神社は第三期改築工事中であるので祭典は例年通りといふことにし、昨年の收支決算によつて經費を五百圓と定め各町委員に寄附割當を行ひ今月末までに集めさせることとなつた、各町內の餘興その他は自由で各町別に打合を行ふが全市的の催し物として屋臺、打上花火だけといふことになつた、併し來る七月十五、十六日に催される港祭には大々的な祭典と餘興を行ふ筈

自殺二件

十四日午後八時臺北州羅東郡冬山庄興二二四李阿呆の妾女李氏阿姝（二〇）は同日午後二時頃豚の飼料を取りに行く途中同地方の陳氏吒及び張氏阿恐と口論をして負けたのを口惜がり煩悶の末自殺を計つたが生命に別狀はない

△

【基隆電話】基隆市大正町二五[illegible]黃氏[illegible]は十六日午後三時自宅臥室で縊死をとげてゐるのを夜が明けてから子供が發見屆け出でたが原因は二年前からの半身不隨を苦に病んでの結果である

桃園稅務所の所得
稅調查委員會

【中壢電話】桃園稅務出張所に於ける本年度の所得稅調查委員の臨會は十五日午前十一時より桃園街役場前廣場にて桃園、中壢、大溪三郡の委員七名出席のもとに開會されたが宮川所長の開會の辭、次に內海知事の訓辭、內田調查委員長の答辭ありて正午閉式、午後一時より調查會に移つたが宮川所長より調查の事項に就て詳細に亙り說明をなし、それより調查會議をなし午後六時半知事招待の慰勞會に臨んだが翌十六日午前十時より引續き行はれ各委員は何れも愼重に調查をなして午後四時過ぎ好成績裡に終了した

曾我子新竹へ

【新竹電話】曾我子爵同令息は土居豐原郡警察課長とともに十七日苗栗より錦水に赴き製油場ガス噴水井を視察同日午後七時四十分臺北着の豫定

理髮業者軟式野球

臺北理髮業員から成る城內、城外南門の三チームは十七日午前九時から新公園にてカップ爭奪の軟式野球リーグ戰を行ふ

五日目勝負

【東京十六日發電通】相撲五日目勝負左の如し

勝		負
番神山	（押倒）	海光山
大浪	（浴倒）	小野錦
鏡岩	（寄落）	外ケ濱
巴潟	（押切）	[illegible]
[illegible]山	（外掛）	駒ノ里
寶川	（渡込）	和歌島
旭川	（切返）	松前山
錦華山	（叩込）	射水川
吉野岩	（寄倒）	土州山
古賀浦	（押倒）	大邱山
幡瀨川	（內掛）	新海
太郎山	（寄切）	出羽嶽
能代潟	（寄切）	綾櫻
瓊の浦	（切返）	越の海
男女ノ川	（突出）	大潮
沖ツ海	（寄倒）	双葉山
清水川	（寄倒）	[illegible]
武藏山	（寄切）	高登
玉錦	（寄切）	若葉山

六日目取組

（打出六時七分）

【東京十六日發電通】夏場所六日目取組左の如し

（松前山／番神山）（外ケ濱／射水川）（巴潟／海光山）

（土州山／大潮）（[illegible]／若瀨川）（新海／鏡岩）

（和歌島／旭川）（[illegible]／[illegible]）（大邱山／[illegible]）

（古賀浦／出羽嶽）（小野錦／[illegible]）（[illegible]／[illegible]）

（寶川／[illegible]）（大潮／[illegible]）（[illegible]／[illegible]）

（高登／双葉山）（武藏山／[illegible]）（男女ノ川／清水川）

（玉錦／沖ツ海）

本社工場參觀

カフエー永樂女給十一名は多々良マネージヤーに引率され十六日午後三時本社工場を參觀した

特別廣告

新聞取次店變更

虎尾庄　河野初次郎

今回前記の通りに新聞取次店を變更致候間何卒從來同樣御引立に預り度此段謹告候也

臺灣日日新報社

御期待の文藝映畫
戀々公開
オールサウンドトーキー
琵琶歌
川崎弘子、岡讓二、竹內良一主演
高田稔、吉岡上東五郎、飯塚敏子主演
江戶情春譜
十八日夜晝間ヨリ二回
2世界館

三年に一度のロイド喜劇
理屈も無理も不要愉快面白い
寂さを吹飛ばす!笑ひ!笑ひ!
ロイドの活動狂突如來る
十九日より公開（二回）
新世界館

漢文 臺灣日日新報

勳章私鐵橫領三疑獄

小川元鐵相以下無罪

天岡元總裁懲役追徵金

十六日東京電。元鐵相小川平吉氏以下十四名（內井出繁三郎氏死亡）之北海道鐵道。伊勢電鐵。東大阪電鐵。奈良電鐵。博多灣鐵道五私鐵敷設免許賄收所關私鐵大疑獄。及元賞勳局總裁天岡直嘉之勳章疑獄。並元東京商工會議所會頭藤田謙一之合同毛織會社業務上橫領背任瀆職疑獄三大疑獄。相互關聯者多。故併合審理。昭和五年第一回公判以來。亙四年之久。此間辯護人要求合同審理。與垂水裁判長激烈論爭。裁判長申立忌避而不成。今村力三郎辯護士。附諸懲戒裁判大起波瀾。集世間視聽。十六日午前十時。於東京地方裁判所陪審大法廷。對全被告。垂水裁判長判決言渡如左。

▲勳章疑獄

收賄 懲役二年追徵金一萬七千二百五十圓求刑二年

元賞勳局總裁 天岡 直嘉

收賄幇助懲役一年六月追懲金五千二百五十圓（求刑一年六月）

天岡祕書 鴨原 亮暢

贈賄 懲役一月（求刑八月）

前北鐵專務 渡邊 孝平

同 懲役二月（求刑八月）

北鐵前監查役 兵頭 榮作

同 懲役二月（求刑十月）

伊勢鐵社長 熊澤 一衞

同 罰金二百圓（求刑懲役三月）

日活社長 橫田永之助

▲合同毛織疑獄

業務橫領、背任、證據湮滅教唆、並贈賄 懲役一年六月（求刑二年）

元東京商工會議所會頭 藤田 謙一

商法違反橫領、懲役四月（求刑六月）

前合同毛織專務 金原 與吉

商法違反、罰金五百圓（求刑懲役三月）

同社東京支店長 永井 常治

同 罰金五百圓（求刑三月）

同社取締役 竹村 久吉

證據湮滅、懲役三月（求刑六月）

藤田祕書 上川 宗富

▲私鐵疑獄

贈賄 懲役四月（執行猶豫三年）（求刑同八月）

博多灣鐵道社長貴族院議員 太田 清藏

判決分離（求刑懲役六月）出版業 角谷光次郎

無罪（求刑懲役二年六月）

元鐵相 小川 平吉

同（求刑同二年六月）

代議士 春日 俊文

同（求刑同一年）

小川祕書 守矢一太郎

同（求刑同四月）

東大阪電鐵重役 白井 勘助

同（同六月）

代議士 青山 憲三

同（同八月）

北鐵前社長 犬上慶五郎

同（同八月）

伊勢鐵取締役 伊坂秀五郎

同（同十月）

東大阪電鐵專務 田中 元七

同（同一年）

東大阪電鐵取締役、代議士 長田 桃藏

同（同一年）

東大阪電鐵取締役 吉川 義照

同（同十月）

東大阪電鐵社長 太田 光熈

又課罰刑者。乃天岡、鴨原以外。皆執行猶豫。言渡三年。

無罪判決

被告皆大歡喜

惟天岡垂頭喪志

十六日東京電。私鐵疑獄。爲昭和最大疑獄。幾動一世。醸成既成政治家否認氣運。誘致今日非常時內閣。經四年始得判決。除太田清藏。其餘無罪。小川平吉氏其他。已青天白日。是日小川氏。穿五紋羽織。仙臺平袴出廷。裁判長宣告判決言渡。或不安。或期待。表情複雜。注視裁判長之面。以勳章疑獄。合同毛織順序。言渡有罪後。「被告人小川平吉無罪」。高聲言渡。渠垂首低頭。面有喜色。其他被告亦多歡喜。辯護人跳出廊下。一齊言無罪無罪。唯天岡氏穿朔服。頹頭喪氣。狀甚悲哀云。

裁判長頭腦明晰

小川平吉氏快心談

東京十六日電。小川平吉氏無罪。所談如左。雖爲無罪。別無歡喜。余當初固料無罪。然今日心情固不惡。天岡君可憐。即執筆書「雲在天。水有瓶」起訴當時得意漢詩。謂垂水裁判長爲硬骨漢。觀其判決。頭腦固佳。頗褒獎之。元氣旺盛。

即時控訴

天岡氏談

東京十六日電。天岡直嘉被處懲役二年。自云。毫無感想。自省不疚。無論遂行控訴。

畜產主任初日會議

全島畜產主任官會議。第一日之十五日。午前九時半開于督府貴賓室。豬俣局長代理訓示後。直入諮事提示左記諸問事項。

一、畜產改良獎勵施設之實績。並將來要新施設之事項如何。

二、畜產團體指導統制狀況如何。

三、各地方種畜場事業概況。並將來之計畫如何。

四、豚配給狀況。並與鐵道輸送關係如何。

以上由各州出席者答申。其大要如下▲臺北州以七星、淡水、基隆各處。以大屯山爲中心。計畫設一大放牧場。▲新竹州 同州下農家。每戶飼育豚數。現在四頭半。五箇年後。每戶平均五頭。▲臺中州由農會斡旋。實行畜產物共同出貨。爲是排除中間搾取。得出生產者。直接供給消費者。對臺北方面出貨。內豚二萬二千頭。鴨卵三十萬箇。

上京別無要件

中川總督談

中川總督。按二十日上京。而朝鮮之宇垣總督。亦擬于二十二、三日上京。然則兩總督。同時可抵東京。或疑兩總督之上京。有何約束。實則兩總督之上京。不過偶然不約而同。十六日。中川總督在官邸。對訪客所談如左。別無要件。故無帶具體的事務。與政府折衝之事。因値有餘暇。欲暫時上京。不久便歸。當局之問題。若觀察方法有異。意見自難合致。雖然。根本的觀察方法自應無二。明年度豫算侯在歸來。博覽會。可指景氣。開之無防。々

豐潤死傷一萬數千

王以哲外二師殆全滅

十五日北平電。據華軍當局發表。豐潤方面戰鬪。中國損害頗多。王以哲外二師殆全滅。死傷一萬數千。報其敗戰經過。

天津恐慌狀態

何應欽慮學忠態度

天津十五日電。北華形勢急進。于學忠態度可怪。何應欽欲監視之。將中央軍第十師。移動天津方面。已對蔣介石發請訓。又于學忠於十四日。以貨物車八臺滿載重要物件。搬入法租界大陸銀行。天津住民。昨夜因爆彈事件及戒嚴令。更受刺戟。今明日中。必見惑亂專橫。此說流布。恐慌已極。外國租界避難者續出。

土井權大

代議士收監

業務橫領嫌疑

姬路十六日電。兵庫縣揖保郡龍野町播州興業無盡會社重役。前被收容。同社社長政友會代議士土井權大氏。十五日午後五時。忽被姬路區裁判所下瀨豫審判事。以業務上橫領嫌疑。執行令狀。收容於姬路刑務所。

新竹州市尹郡守會議

傳達訓示

新竹州市尹郡守會議。去十六日第一日。午前十時開會。先是合州廳職員全部。集于會議室。奉讀聯盟脫退詔書後。內海知事。就地方長官會議時。總督。長官訓示。凡四十分久。傳達于一同。次開會議。有伊藤新竹。中尾中壢。松尾桃園。鹿川大溪。菱沼竹東。矢野竹南。池田苗栗。吉岡大湖各郡守。政所新竹市尹。諏訪新竹署長等出席。州有郡慶谷兩部長。及各課長等列席。內海知事訓示。正午休憩。下午一時再開。附議注意事項云。

比律賓選手歡迎會

開于江山樓

臺灣體協會長平塚長官。去十五日午後七時。在江山樓。開比律賓水泳選手歡迎晚餐會。平塚長官、暨中潮州知事、西澤市尹、美國領事、加福、中澤兩博士、荒木、小松兩氏。及臺北兩軍選手。大會役員等多數出席。首由平塚長官敍禮。次中澤。加福兩博士。美國領事。荒木氏等題述所感。和氣藹々。至同十時。散會。

見學市內

二十二日歸去

比律賓選手。俟見學市內完畢。搭二十三日基隆發加拉巴丸歸去。見學日程如左。

十七日 淡水跑球場。海水浴場。午後出席新北投堀田交通總長招待晚餐會後歸北。

十八日 博物館。中央研究所。動物園。

十九日 水源地。帝大。高等學校。

二十日 北一中分列式。商品陳列所。建功神社植物園。

二十一日 自由見學。

二十二日 由臺北出發。往基隆乘船。

新竹州農會

請給蠶種

新竹州農會。爲獎勵蠶業擬對同業者配付蠶種。經向督府殖產局養蠶所。申請配給蠶種。其品種係臺灣三十四號。或臺灣三十六號。蠶種紙。按一千三百五十六張云。

基隆港灣祭

礎商進行

訂來七月十五、十六兩日。盛大舉行之基隆港灣祭。既如前報。著々進行計畫。去十三日午後二時。在市役所三樓會議室。招集各官衙長。會社。銀行各種團體代表者等五十餘名。開第一回礎商會。首由桑原市尹。對于豫定行事之大體。徵意見後。決定委囑顧問。並各種委員。係員。至午後三時。散會。

製糖會社前貸金

爲貸付行爲宜課稅

稅務當局著手調查

島內製糖會社。從來對蔗農耕作資金前貸。並蔗苗金肥料金等之貸付。係一種貸付業行爲。因而對此附加營業稅與否。乃自前頃以來。爲各州稅務當局之宿題。前此于高雄州々稅事務礎商會。以爲參考議題。造礎商後。以前貸于歷史的。有種種事情。然在稅務當局之立場。以耕作物其他。爲確實擔保物件。而行一成內外高利貸。只擧收益。自不免爲貸付業行爲。各州當局。乃行調查。其課稅方法。收各月抄貸付現在存額。總平均貸付額。視爲資本金。其千分之十爲本稅。本稅之百分三十八爲附加稅課稅。例如年只九分。將一萬圓。一年間貸付時利息有九百圓。其中百三十八圓。徵收爲營業稅（含附加稅）。新于製糖會社殊爲苦痛。唯此問題。非只以稅務當局之意見所能決之性質。並考慮殖產局方面之立場。故其前途如何頗難逆睹也。

瀛社例會

廿一日江山樓

瀛社例會。此期輪値謝雪漁、李金燦、葉練金、張家坤四氏。訂來二十一日々曜日午後二時。開于江山樓。希望社友多數出席云。

新竹州下昨年中

栽種荔支四甲餘

摘收一萬七千餘斤

新竹州下。昭和七年中所栽荔支共千二十三株。面積四甲一分八厘。摘收斤數。萬七八千。價約三千六百餘圓。比前年增栽三十六株。面積增加一分四厘。摘收增加約七千斤。價增約二千圓。內中新竹郡下栽種最多。其次爲竹東郡下云。

盜人張老賞

自嘉押送回南

臺南市大正町二丁目。張老賞。年二十二。本有盜癖。前曾爲南部旅館[illegible]。自昨年八月棄職後。復其故態。往來臺南嘉義間。潛入兩地旅舍。酒場。商店。並諸高官第宅。竊取金品。化財揮霍。積案重々。去十一日。爲嘉義署中畑。北園。邱三刑事緝獲。嚴訊後。知難辭飾。業已供實。嘉義部分查清。去十五朝八時餘。由嘉義署井手司法主任外三刑事押解來南。直即拘於臺南署。署即派值班刑事。赴高砂町一丁目。其常出入之親戚家。再行搜查。再一就其做案之處。實地檢證。[illegible]

時評

○中國北方之抗日。連戰連敗。北京辯護士會。至議無條件開城。國府諸要人明知其無勝算。猶倘繼續主張。心境如何。實難於窺測也。

○中國軍閥。於戰前必先要求戰費。戰費之用途。又不能何趣奢。而則趣括。士氣安從而鼓舞哉。

○經濟會議。前途悲觀。紐育銀價慘落。大抵此種會議。各國利害不同。亦猶軍縮問題之諸多紛糾也。

○幣原式外交受非難。芳澤外相起用之有田次官。又受非難。少壯之强硬派外交此後其益有力歟。

○員林西瓜盛出。檢查員不足。督府宜作速增員。庶不至生產者。坐受損害。其他島產之移輸出檢查。準此。

○元開元寺住持僧成圓之末路如是。現世法之嚴正。正不待談來世與後世之因果也。

○中南部久旱。農作物失收業佃俱困。不知地租水租兩方面。有從權減輕之辦法否。

○小川元鐵相。判決無罪。讚美裁判官。頭腦明晰。噫。眞秀逸。如聞其聲。

拾遺報出

蓬萊公學女生

蓬萊女子公學校四年三組蔡氏鳳嬌。即臺北市太平町三丁目百四番地亭子腳。於去十四朝。拾得臺灣銀行十圓券一枚。即日呈繳北警察署云。

爲貧故自殺

新竹郡關西庄新城茶農吳明欽。年五十六。爲貧故悲觀。去十二日薄暮。呑下殺鼠劑。及至翌十三日正午。苦悶發作。救治不及。至午後六時半喪命。

基市十五晚

傷害口角

酒醉檢束各二

基隆市高砂町人。張金樹年二十五。去十五日下午九時半。於元町二丁目四十一番地道路電柱下。被士林人通稱釘丁者。斬傷十一處。流血滿地。由附近之人。舁入岡生醫院治療。生命危篤。基隆署接報。防犯係急赴現場調查原因爲口角。又同時日新町派出所管內。有內地人三名酒醉。被當局檢束保護。又同入船町。有內臺人口角一件。旭町派出所檢束酒醉一件云。

小梭生成群非爲

受南署嚴重取調

南署。於去十五晚。拘內地人不良少年。約二十名。由野田司法主任。河野警部補兩名。嚴重取調。據聞彼等屬市內某小學校生徒。常結黨成群。到處非爲。戲謔婦女。某校當局自勿待言。爲其父兄者。亦無之何。南署。因恐影響教育界。乃暗中警告父兄拘彼等查究云。

竹州下旱害

田園龜裂

忙於防止爭水

新竹州下各地。自入夏季以來。降雨絕少。圳水不足。水稻蔬菜類。柑橘等。將見枯死。農民儆督。巡視水路。或對水利組合。訴苦不休。水利組合。恐發生爭水事故。使乃託警官。並役場吏員。其公平配水。防止事故發生。然此不過一時之彌縫策。非上天降雨。實無補於事云。

高雄地方

需冰頓增

爲鮮魚移出

高雄地方。漸入盛夏期。冰需要頓增。昨今市內消費量。日約百二三十噸。內飲料用。僅十二三噸。餘百餘噸。爲漁業用。較例年。頗見暢消。然市內製冰能力。大日本五十五噸。蓬萊水產四十噸。計九十五噸。對需要不足。日約二十五噸。乃至三十噸。依舊貯藏冰補充。若更不足。即向臺南方面運來。本年暢消原因。爲內地魚價頗昂。漁業者多配往該方面。顧例年同期。鮮魚之移出內地。多不能和盤。本年反是。右內地市價。若繼續維持。則此後移出漸盛。冰需亦隨之而增。一面漁業者。受好影響云。

羅東信組

臨時總代會

十八日公會堂

羅東信用組合。因客年中農業倉庫部。有莫大缺損。有種々關係上。致難于解決。既如所報。後該問題。移于羅東郡警察課究辦。將農倉之抄錄。全部押收于同課內。每日派係員數名調查。並對理事及總代員等。一々訊問後。缺損額。判明有萬七千餘圓。一面諸役員爲講究善後策。去十二日再發送通知書。招集總代員。定來十八日午前九時。在羅東公會堂。欲開第八回臨時總代會。是日附議事項。日前由同組合。發表如左。

▲報告及承認事項

一、開于昭和七年度財產目錄貸借對照表之事業報告書及剩餘金之處分案中要一部分訂正及承認之件

▲決議事項

一、理事及監查役選任之件

濁水溪水源各圳

山間降雨水量稍增

水利課長等監督分水

島內濁水溪上流。因最近不雨。水量大減。故以同溪爲水源之八堡圳。刺子埤圳。鹿場課圳等。取輪番方法。灌漑總面積三分一。數日來。山間地方降雨。水量稍增。目下輪番灌漑區域。增至三分之二。日前藤黑水利課長。小原技師。及督府名取土木課技手。在組合事務所礎商。翌日名取技手。出張於現地。監督分水云。

金山

定期總會

基隆郡金山青年團。於月十六日。午後七時起。於金山公學校講堂。開定期總會。並擧行入團式。

青團行事

基隆郡金山青年團。昭和八年度豫定行事。▲六月中。部落集合。於水尾。團報發行。發行日十七日。始政記念日參列。時記念日宣傳。▲七月中。部落集合。於磺港。演能製作。巡回音樂。部落集合。▲八月中。陸上競技會開催。部落集合。於萬里阿突。音樂講習。納稅宣傳。▲九月中。憲兵招魂祭參列。無飲酒日宣傳。生活改善宣傳。中元祭當日。設置救護班。並於十字路或市場前其他之處。宣傳巡行道德。▲十月中。青年一人一研究發表會。部落集合。於三界堀。家庭製作品展覽會開催。公學校運動會參加。共同耕作。▲十一月中。明治節參列。青年團大會參加。少年衣歡會開催。▲十二月中。植門松。▲昭和九年一月中。新年祝賀式參列。植金山士林間街道並木。▲二月中。紀元節參列。團報發行。敬老會開催。公學校主催學藝會參加。▲三月中。講習會。

文山

恩賜診療

臺北州恩賜診療。月十四日。於新店庄安坑。開始診察。午前九時。先有新店庄庶務課長。訓示趣旨。然後施行。受診者多至八十餘名。午後四時餘終了。

慰勞保正

新店庄大坪林字十二張。保正高潤比。久任該區保正。此次爲郡直轄保甲區域變更。從來之十二張區。故與十四張區合併。高氏乃勇退厥職。但民惜之。去十四日。設筵演戲。以爲慰勞。而高氏於翌十五日午後六時。於自宅招待官紳五十餘名答禮云。

彰化

派員檢閱

臺中州彰化郡警察課。月十五日午前九時起。招集郡下警察官百餘名。在鹿港施行大操演。是日總督府練習所高橋大尉。特爲檢閱。

發會日程

彰化郡花壇庄役場。去十三日招集教化委員十九名。開擧行部落振興會發會式礎商會。是日與員以熱心討論。結局依照左記日程施行。二十日崙子頂。二十四日三家春四區。六月二日花壇一區。三日白沙一、二、三、四區。七日三家春三區。八日花壇二區。九日三家春一、五區。十二日口庄區。

斗六

部落例會

斗六街海豐崙模範部落。去十五日午後七時。在同庄集會所開部落例會。臨席者。郡蓬萊技手。宮川街助役等。出席者各戶家長全部。礎商事項。爲蓬萊種改良。柑橘之栽培獎勵。其他關于部落向上事項。至午後十時半散會。

拘包辨者

本居斗六郡莿桐庄湖仔內二八八番地。現住于虎尾郡西螺街西螺二九九番地。自動車包辦業施進祥。年二十九。去昭和六年五月頃。代濁水溪護岸工事。在北今道組之下包辦。被囑托保存鐵條一千一百枝。去七年正月。今道組將該鐵條賣于臺南吉住組。若于品交付期。不足三百六本。價格六百餘圓。以故去十三日。被斗六郡警察課拘留取調中云。

嘉義

旱害彙報

嘉義地方。自昨多以來。久旱不雨。一般農產物。爲成枯稿。而嘉義水道。將欲定時吸水。由當局現方鳩集水源。免致涸渴之虞。然嘉義郡下之水稻總面積六千五百甲。其中不能播植者。二千百甲。減收約九萬五千圓。稻作面積二千五百甲。因不能下種者。約五百甲。減收額五千四百圓。於是景氣不佳。且商況沉寂之今日。慘上加慘。農商各界。莫不憂形於色云。

訓示傳達

豬口嘉義郡守。定本十七日午前八時。齊集庶務、警務兩課員。及郡下庄長學校長組合長等。在郡公室。爲總督長官訓示傳達式。

檢閱操練

總督府警務局高橋囑託。月十五日午、五、三十八分來嘉。同七時召集嘉義署及警察課之巡查。於公園內運動場。檢閱操練。同九時。咸至武德殿柔劍道比試演習。至十二時講評後解散云。

農組總會

嘉義郡水上庄湖子內農事實行小組合定期總會。月十五日午前七時。開於同組合事務所。附議事項。爲昭和七年度收支決算及昭和八年度豫算案等云。

詩壇

次韻林梳卿先生七十書感四首 笑儂 楊樹德

風流放誕比隨園。介壽人爭晉蔚言。淑草詞章憑點綴。紛紜時局忍評論。標期暖逐親賜驚。庭訓端嚴戒子孫。記否墩山同作客。雪泥鴻爪尚留痕。

[illegible]福澤信非虛。祝嘏[illegible]孤高最羨隱匡廬。芝蘭味合盈階砌。桃李陰成遍里閭。五月初。偃蹇自憐淪苦海。遯跡他年酬素願。移家來傍浣花居。

蓮壺頭髮隔紅塵。留此堅貞松柏身。每藉新詩伸素志。忍從庸俗祝芳辰。文章[illegible]情偏擊。道義于心誼更親。一笑渾忘桑海劫。頭銜合署葛天民。

與世無爭且學農。交游我願百年期。[illegible]只合翻新譜。魯殿尤宜頌舊時。[illegible]跨鶴歸飛南山句。環得延齡酒一卮。

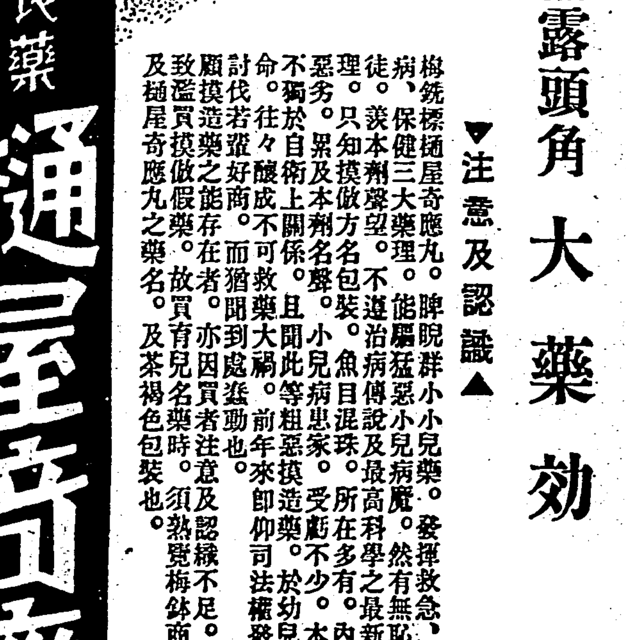
漢文臺日案內

醫院

耳鼻咽喉皮膚花柳病科專門

福民醫院

臺北市永樂町（永樂座前） 王雅三


樋屋
小兒良藥
奇應丸
本家
大阪天滿橋筋四丁目
樋屋合資會社
本舖樋屋

小兒良藥 樋屋奇應丸

嶄然露頭角 大藥効

▼注意及認識▲

梅鉢標樋屋奇應丸。脾睨群小小兒藥。發揮救急、治病、保健三大藥理。能驅猛惡小兒病魔。然有無恥之徒。羨本劑聲望。不遵治病傳說及最高科學之最新藥理。只知摸做方名包裝。魚目混珠。所在多有。內容惡劣。累及本劑名聲。小兒病患家。受虧不少。本舖不獨於自衛上關係。且聞此等粗惡摸造藥。於幼兒生命。往々釀成不可救藥大禍。前年來即仰司法權發動討伐若輩奸商。而猶聞到處蠢動也。顧摸造藥之能存在者。亦因買者注意及認識不足。以致濫買摸做假藥。故買育兒名藥時。須熟覺梅鉢商標及樋屋奇應丸之藥名。及茶褐色包裝也。

「育兒之友進呈」（[illegible]）

主効 五疳、驚風、氣絶、夜啼、吐乳、胃腸、麻疹、下痢、嘔吐、其他小兒諸症

藥價 金二十錢至十圓

大阪天滿橋 本舖 樋屋合資會社

8-T-1

（漢文）

協立煉乳

精粹牛乳使之凝縮 以最上精糖製之逸品

不論何時、皆得使用

育兒榮養品

KYORITSUKAI
KYORITSU BRAND
登錄商標
SOLD BY
THE KYORITSUKAI
TAIHOKU & TAINAN

大日本乳製品株式會社

臺灣日日新報
（第一）號外
昭和八年五月十七日
（第三種郵便物認可）
發行兼編輯人　前野[illegible]若
發行所　臺北市榮町四丁目　臺灣日日新報社

天下を震撼せしめた大不祥事件けふ發表

犬養首相を射殺した五・一五事件の眞相

陸海軍人、愛鄉塾生一團となり非常時日本の國粹化をはかる

全國民待望の的十七日解禁

昭和七年五月十五日勃發した所謂五・一五事件即ち現役陸海軍人と豫備軍人その他が共謀して時の內閣總理大臣犬養毅氏を首相官邸に襲擊して之を射殺し更に同時に警視廳、政友會本部、日本銀行、牧野內府邸、三菱銀行、西田税、淀橋變電所以下を襲擊したる事件は掲載禁止となつて居たが、現役陸海軍人を裁く軍法會議と共に豫審の終結を見たので十七日を以て禁止を解かれた、同事件は帝國未曾有の出來事であると共に民間右翼團體と種々の連繫を有しその犯罪の內容は交錯を極め之がため檢事局は勿論軍法會議でも事件の核心を攫む上に非常なる努力を拂つたものである、左に同事件の內容を報道する

犬養首相射殺の刹那

血走つた眼でグルリと取卷き

黑岩第一彈を放つ

不祥事件の軍部關係者は海軍關係將校が主動で霞ケ浦海軍航空隊附近を一派の根據地とし血盟團とも密接に連絡あり思想問題で陸軍士官學校を退校になつた元候補生池松武志も血盟團を通じて今回の擧を行つた三上中尉等と知り合つたものである、而して士官學校在學中の後藤候補生外十名は池松に引摺られ遂に海軍側と共に事を決行するに至つたものである、彼等兇行者が使用した手榴彈及拳銃等の大部は上海事變出動中三上中尉が戰利用として準備し凱旋の際持ち歸り茨城縣土浦町の山水樓で同志海軍士官等と協議の上歸隊に最も便なる陸軍士官學校生徒の池松武志宅に依託し池松は此等兇器を自宅の床下深く埋沒して保管し此に持出したものと云はれて居る、尚ほ事件後當局取調の結果判明したる犯行の眞相は左の如くである

首相官邸襲擊

首相官邸を襲つたのは第一班三上海軍中尉以下左の九名である

△海軍中尉三上卓△海軍中尉山岸宏△海軍少尉村山格之△豫備役海軍少尉黑岩勇△士官候補生後藤映範△同篠原市之助△同石關榮△同八木春雄△同野村三郎

右九名は豫ての計畫に依り當日午後時を期して三々伍々靖國神社社頭に集合し三上中尉の指揮で通りかかつた圓タク二臺に分乘し何處にか姿を消し去つた、間もなく午後五時四十分頃之等の一隊の

自動車は永田町首相官邸附近に姿を現はし九名は各各悲壯なる決意を胸底に秘めて緊張し切つた顔で表玄關にかかり居合せた田中巡查に首相との面會取次を強要した、取次手間取ると見るや九名は同巡查を包圍して隱し持つたる拳銃を擬して威嚇したので「どうしやうと云ふのだ」と田中巡查が躊躇するや「よけいな事を云はずに首相に會はせろ」と尋常ならぬ見幕を示して迫つた、已むなく同巡查は一同の案內役として表玄關から右折して日本間へ通ずる廊下の雨戸の所迄進み、同所に於て飛鳥の如く身を躍らせて內側に飛込み手早く雨戸を閉め切つた、激昂した一同は怒聲と共に雨戸を蹴破つて奧日本間の方へ闖入しやうとした時悠々として老躯を現はした

犬養首相は「何を騷ぐのだ、騷がんでも話は分る」と卒然として一同の前に進んだ、九名は殺氣に血走つた眼でグルリと首相を取卷き黑岩豫備少尉が低聲で何事か云つたが首相は泰然[illegible]して巻煙草に火を點じ悠々吸ひかけんとした、此刹那黑岩は低く鋭く一聲「撃て！」と命令し首相目がけて猛然一發を放ち續いて三上中尉が同樣狙擊し他の七名は血に染まつて倒れる首相を見下ろしつつ天井に向けて各々一發を放ちサッと其場を逃げ出したが田中巡查が一同を追跡せんとしたので何人かは數發を亂射し同巡查に命中倒れるを見濟まして再び自動車に打乘り憲兵隊へ自首したものである

愛鄉塾頭　橘孝三郎

古賀中尉の一隊は牧野內府邸を襲ふ

投げ付けた爆彈は不發

警備の松井巡查は狙擊され昏倒

牧野內府邸の襲擊者は海軍中尉古賀清志の一隊でこの中村中尉の外に阪本、菅、西川の陸軍士官學校の三生徒が加はり一同自動車で內府邸へ乘込み三生徒は自動車から降りて玄關前で阪本、菅の兩名が爆彈を投げたが幸ひ不發で事無きを得たこの狀況を目擊した邸內警備の松井巡查は矢庭に生徒等に躍り寄つて逮捕しやうとした際、自動車上にあつた古賀中尉は自動車より半身を乘出し松井巡查の背後から拳銃を擬して一發を發射して同巡查を昏倒せしめ邸內騷然となるに及び一同を督して自動車を飛出しいづれへか逃げ去つたものである

日昭等の檢擧で發覺前急に敢行

事件に火の付いた徑路

過般井上日昭等血盟團の檢擧後檢事局にて取調べた結果血盟團と陸海軍の一部將校との間に頑固なる連絡があることが判明し然かも小沼、菱沼等の兇行を擬して居る者も續々判明されたので檢事局から陸海軍當局に對し關係將校檢擧の必要を通告したのであるが之に對し陸軍側としては意思表示をしなかつた、然し海軍側では法務官の手により極祕裡に取調を開始したことがはしなくも五中尉の知る所となり今回の事件を惹起した結果五中尉は何れにしても早晩檢擧の止み難きを知り此際寧ろ進んで初志を貫徹するに如かずとして急遽蹶起し豫てより五中尉と血盟團を通じて連絡ありし士官學校を退學させられた二人の元候補生（思想問題で）を使嗾して在學中の十一名の候補生を煽動參加せしめ十五日の日曜日の虛を衝いて一擧に行動を敢行せんとしたものである

十海軍士官の檢擧の端緒

故藤井少佐の手記

それから連累者發覺

五・一五事件の連累者として塚野大尉以下十名の海軍士官が直接犯行の六名の外に收容せられて居る事は別項の如くであるが右十士官が檢擧さるるに至つたのは今次事件の海軍側首謀者の一人とも看做さるべき故藤井齊少佐の手記に依り判明したものと言はれてゐる、藤井少佐は上海事變に於て空中戰に壯烈なる武勳を樹て名譽の戰死を遂げた人であるが兵學校在學中より日本の國情を深く憂ひ現制度革新の志を樹て同志の糾合に努めて居たもので同少佐の力は陸海軍急進派青年士官の間に大なるものがあつた、藤[illegible]材料とされて居たが同少佐の手記一册と日誌は某氏の手により燒却せられ目下當局の手に殘るは一册の手記があるのみと謂はれて居る

橘孝三郎五月單身渡滿

塾頭、橘孝三郎は昭和七年五月八[illegible]「橘高治郎」と稱し投宿し同十三日午前十一時下關發の連絡船で渡滿した

靖國神社に集合首相官邸を襲擊

內府邸、政友本部も襲ふ

軍人班は三分して行動

第一班

海軍中尉　三上卓（妙高）
同　山岸宏（[illegible]）
同少尉　村上格之（同上）
同　黑岩勇（豫備）
（右事件直後自首と同時に麴町憲兵分隊に收容）
士官學校本科生徒　後藤映範
同　篠原市之助
同　石關榮
同　八木春雄
同　野村三郎
（同上赤坂分隊に收容）

右第一班は五月十五日午後五時頃靖國神社境內に集合自動車にて同日午後五時三十分首相官邸に到着表玄關にて首相に面會を求め應接間に入らんとしたる際、後方の一名より「打て」と號令し、一行はピストル三發を發射

第二班

海軍中尉　古賀清志（霞ケ浦）
（澁谷分隊に收容）
士官學校本科生徒　阪本兼一
同　菅勤
同　西川武敏

右同時刻同樣泉岳寺に集合、自動車にて牧野內府邸に到り午後五時二十七分正門に著、塀外より邸內に向け手榴彈二箇を放擲したるも一彈は不發に了り一彈は破片が樹木と玄關附近に小損傷を與へた尚警戒中の松井巡查に對し入門方を強要しピストル一發を發射し內一發は同巡查の右肩に命中した

第三班

海軍中尉　中村義雄（霞ケ浦）
士官學校本科生徒　中島忠秋
同　金淸豐
同　吉原政巳
（牛込分隊に收容）

右同時刻新橋驛に集合、自動車にて政友會本部に至り同玄關に手榴彈二箇を放擲し玄關コンクリートに輕微なる損傷を與へたが、直に自動車で同處を退出し更に警視廳に赴き手榴彈一箇を投じた

血盟團と相通ず

目的は現狀打開

此事件の中心人物である海軍側將校らは井上日召らの暗殺血盟團と思想相通ずるところあり現在の行詰まれる時局を打開するには既成政黨官僚の壓迫等を打破する要ありとし之がためには直接行動を敢行し以て改造斷行の氣運を促進せしめざるべからずとなし井上一味の血盟團檢擧直後より計畫に着手し權藤成卿、安岡正篤等を介し相知つた茨城縣の愛鄉塾後藤國彥、帝大豫科一年生奧田秀夫らとも連絡をとり計畫實行の前々日即ち五月十三日に茨城縣土浦町山水閣に古賀中尉、中村中尉、奧田、池松、後藤の五名會合し古賀中尉より計畫實行に關する內容を打明け協議の結果前記の行動分擔が出來たものである、尚此會合に於て奧田秀夫は三菱銀行、首相官邸、牧野內府邸、工業クラブの狀況偵察を命ぜられ後藤國彥は農民隊を組織して變電所を襲擊する事を命ぜられた、又第一、第二、第三班は兇行實行後全部警視廳を襲擊した後東京憲兵隊に自首する事を申合せ海軍側は古賀中尉、陸軍側は池松が司令の役を取る事となり後藤は豫て古賀中尉よりピストル二挺實彈六發手榴彈一箇を受取つた

帝都の暗黑化は愛鄉塾生が分擔

塾頭の激勵に十名勇躍

軍人班と相呼應して蹶起

之より先茨城縣愛鄉塾々頭橘孝三郎は昭和七年四月塾生小室外五名を塾頭室に招致し現下の農村は疲弊のために餘りにも疲弊困憊をして居る、之に刺戟を與へ大衆を蹶起せしむるには尋常一樣の手段をもつてしては駄目であるから恐らく農園革命に依る非常手段に訴へざるべからず、軍部方面にても此擧に賛成し連絡を有し且つ非常手段に用ふる爆彈は軍部に於て準備されて居るから充分奮勵されたしと激勵し、一同の同意を得表面には滿洲移民として出發する事とし、五月一日頃に一同に對し「いよいよ實行に着手するから」とて夫々旅費として**六十圓**乃至八十圓を與へ斯くして十三名は夫々入京したそれは五月十日の事であつた、その人々は左の如くである

橘孝三郎、後藤國彥、林正三、大貫明幹、矢吹省三、小室力也、塙五百枝、溫水秀則、横須賀喜久雄、春日信義

一行十名は青山青年會館に宿泊し非常手段決行日時を五月十五日午後七時とし一齊に變電所を襲擊すべく決定した旨橘より告げ各自の部署を定めた

淀橋變電所　溫水
目白變電所　小室
田端變電所　大貫
（高根澤與一同行の事）
小松川變電所　矢吹
尾久變電所　塙
鳩ケ谷變電所　横須賀

席上橘は**爆彈は**海軍方面より六箇入手するが、ピストルの入手は不能となりたるを以て各自刀一本宛を交付すべきにつき行動を妨害するものあらば之を刺せと告げ海軍部で當日要路の大官を暗殺する手筈であるから、指定變電所を破壞し以て市內を暗黑混亂に陷れ軍部の活動をして意義あらしめる樣鋭意努力せよと訓示し右の參集者には金十圓宛を交付した

西田税先づ血祭りに

川崎長光は十五日午後五時三十分西田税を訪問ピストルを發射重傷を負はせた、その後警視廳の手により芝區本芝法音寺境內人夫部屋梁新村三男方にて逮捕された

手榴彈廿一は上海で入手

ピストル十二挺も同じく上海で入手

一味のものが調達した手榴彈二十二箇は三上中尉が二月下旬上海海軍陸戰隊大隊部に在勤中第三大隊の兵器係倉庫より取出し同地にて村山少尉に手交し村山はボール紙函に詰め新聞紙に包み佐世保に持ち歸り同地にて黑岩豫備少尉に交付、同少尉が携行して上京したものである、ピストル十三挺は海軍陸戰隊學校生たりし村山少尉が上海事變に際し出征中モーゼル式ピストル中型九挺、同小型三挺、計十二挺を入手し上海佐世保間の通信艇の乘組海軍少尉大庭春雄に託し同少尉は四月上旬横須賀海軍航空隊古賀中尉に交付した、他の一丁は南部式で村山少尉が曾て所持したものである、又ピストル實彈は上海で村山少尉の手により百六十發入手古賀中尉に送付したものである

事件の發端と裏面の黑幕

五・一五事件は海軍將校及び陸軍士官學校候補生以外に愛鄉塾頭橘孝三郎氏、神武會長法學博士大川周明氏等の援助に依つて其の首魁が神武會長大川周明博士である事が判明した、抑も五・一五事件關係者は血盟團に脈を引いてゐるものであるが昨年の二月九日井上前藏相暗殺事件に續いて三月五日の團男爵の暗殺事件に就て當局は何處かに必ずや秘密結社が存在して居るに相違無しとして取調べの結果、[illegible]十四名の檢擧に依つて秘密結社の所在を突き止め得たこれは茨城縣大洗護國堂に根據を置く井上日召一派で右十四名の結盟社中には東京帝大學生四名、京都帝大學生三名、國學院學生一名を含んでゐた、即ち之等の者は本年一月上旬血盟社を組織し現在の政界の腐敗は財閥が政黨を使嗾し政黨又財閥の意を迎へて互ひに私利私慾を圖るからである、之を改むるには之等の要路の人を暗殺するに限ると爲し政界に於て十名財界に於て十名を選定し更に之を暗殺する計畫を立て既に井上前藏相と團男爵の兩名の暗殺を實行したのである、右秘密結社が暴露され其關係者が續々檢擧せらるるや此際計畫を斷行して迫つたのが五・一五事件で右にあつて海軍將校、陸軍士官學校生徒以外に愛鄉塾の關係者が加はり右五・一五事件となつたものである

其第一班は海軍中尉三上卓以下八名は靖國神社に集合し總理大臣官舍に到り犬養總理大臣並に護衛巡查を狙擊し第二班は海軍中尉古賀清志以下四名で芝泉岳寺に集合し牧野內府邸に到り手榴彈二箇を投じて巡查一名を狙擊し第三班は海軍中尉中村義雄以下四名で新橋驛に集合し政友會本部を襲ひ正面玄關に手榴彈二箇を投じ右三班は兇行を終るや前後して何れも警視廳に到り手榴彈三箇を投じて巡查及び新聞記者を狙擊し更に一班中の村上格之以下四名は日本銀行に到り手榴彈を投じ學生奧田秀夫は三菱銀行に到り手榴彈一箇を投じたものである

尚之れと時を同じくして愛鄉塾生矢吹正吾外五名は、東京市內數ケ所の變電所を襲擊し、又豫て同志として此の計畫を知つて居た西田税の暗殺を企て、川崎長光が其住宅に到り同日午後七時ピストルを以つて西田を狙擊したものである

被告人の主張は現下の我が國狀を以て政黨財閥特權階級相共に聖明を蔽ひ國民を搾取し私利私慾を逞しうするものである、之を除くには非常手段に訴へる外なしといふに在る、彼等は三月下旬以來屢々土浦に集合し拳銃、手榴彈を以て犬養首相、牧野內府を暗殺する事を引受け、愛鄉塾關係者は東京市內外發電所を襲擊し帝都を暗黑にして治安を妨げ其間に政黨財閥特權階級の有力者の暗殺を引受けたものである

右取調べ中五・一五事件の首魁者としては大川周明博士と認むべき事實現はれたる爲め六月十五日夜十時に[illegible]之れを檢擧したのであるが大川博士は此計畫を遂行する爲め四月三日海軍中尉古賀淸志にピストル五挺實彈百數十發を同日及び同月二十九日五月十三日の三回に互り現金六千圓を交付したものである、依つて大川周明博士は爆發物取締規則違反及び殺人教唆の嫌疑の下に起訴されたものである

不祥事件に海軍側の態度

政治干與を嚴禁

海軍の今回の不祥事件に對する善後措置は大體左の如きものである

一、今回の不祥事件に干與せる中少尉六名に對しては勿論他にも不穩思想を抱ける者ありとすれば之に對しても共に斷乎たる態度を以て徹底的に其の根源を突き止め將來の禍根を絕つと同時に全海軍に令して極力軍規の振肅を期し之を保持す

二、明治大帝の下し賜へる勅諭の精神を奉戴し苟も政治に干與するが如き態度を避け海軍傳統の精神に則り軍人たるの本分を全うせんことを期す

本號外は本紙に再錄せず

右傾派のリーダー 大川周明博士檢擧

銃砲火藥取締規則違反と

殺人教唆嫌疑で起訴さる

右傾派のリーダーとして將又東亞經國調査局長（元滿鐵附屬目下獨立の財團法人）として嚇々たる令名を有せる法學博士大川周明氏は昨秋の〇〇〇事件及五・一五事件等につき何等かの關係あるやに傳へられて居たが、果然昭和七年六月十五日夜同博士の主宰する神武會東北講演に出張の途中土浦驛にて檢擧され銃砲火藥取締規則違反及び殺人教唆嫌疑と云ふ罪名を以つて起訴された事件は禁止事項として新聞紙に掲載を差止められ起訴豫審に附し取調べられてゐたものである

五・一五事件資金に 一萬圓を提供す

拳銃五挺と實彈三百發も

深入りした大川博士

大川周明博士は古くより右翼陣營の大物であり彼れの黨と共に右翼青年に多數の渇仰者を有して居た、而して大川周明博士と古賀中尉の間には疾くより大事決行に付て暗默裡に默約があつた、そこへ上海事件より歸國した、村上、山岸らの尖鋭分子に拍車をかけられ、遂に決行を急ぐ事となつた、古賀は人員の關係上、井上日昭の紹介で知り合つた頭山秀三を招ね一切を打明けたところ、秀三は直に之を快諾した、よつて古賀中尉は軍部方面をまとめる事を約し秀三は一般青年學生の方をまとめる事を引受けた、斯くて古賀中尉は橘孝三郎氏と會見し日昭の決死隊をつぐ事を約し準備の全く完成したのは決行前半月に滿たざる頃であつた、尚大川博士は五・一五事件の決行については相當深入りをして居たものの如く其計畫には大川博士直接關與したもので古賀中尉、橘孝三郎の兩名が大川博士宅で屢々密議をこらした、そして最初には古賀中尉が犬養首相を襲ひ、村上、山岸らは牧野内府を狙ふ事になつて居たのであるが、五月一日の會見に於て大川博士自身の發案によつて古賀中尉を一班として牧野内府を村上、山岸等を同班として、犬養首相を狙はせる事に變更したものである、大川周明博士は自分に心服して居る古賀中尉を引きつけ本年三月下旬自宅に於いて國家改造を決行するための資金として三千圓を古賀中尉に渡し、更に四月十日、四月十五日、五月一日の三回に亙り七千圓の資金と拳銃五挺實彈三百發を手交した、古賀中尉は事件決行まで之を池松に渡し池松は之を青山隠田町の自宅に隠匿した、而して事件決行直前之を林正三に手交し林は同人の實兄牛込區若宮町三十五林正一方で決行二日前の五月十三日に後藤に手交し、後藤の手から之を同志に分配したものである

東北へ講演旅行の途中 深夜土浦驛に於て檢擧

下車して自動車で警視廳へ

大川周明博士は昨年來滿洲方面に旅行して居たが、六月初旬歸京し六月十五日神武會東北講演の目的において午後十時半上野發急行青森行き列車に身を投じ出發した、之より先き東京檢事局では同博士が東北方面へ旅行するを知り宮城檢事正指揮の下に秋山豫審判事の拘引令狀を發せしめ、警視廳の清水警部外五名の刑事をして同列車へ同乘せしめたが、博士の姿を發見するに苦しみ急行列車で土浦へ著驛の直前漸く二等車中に發見し清水警部が豫審判事の令狀を示し同行を迫り土浦驛へ下車せしめたる後、驛前にて自動車を雇ひ深夜の路を急いで警視廳へ護送せしめたもので同夜午前一時警視廳へ留置されたものである

逮捕迄の苦心

上野驛に於ける物々しい

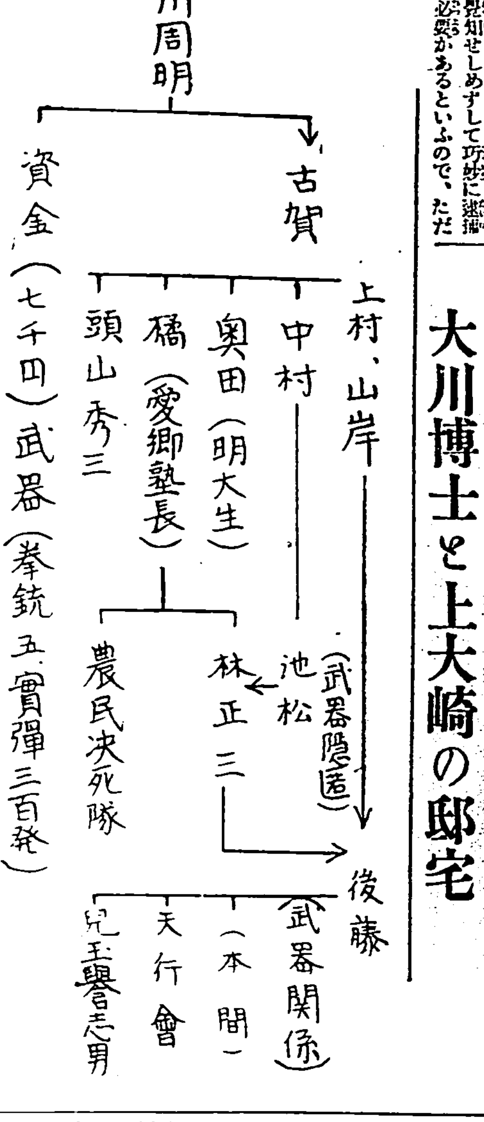
博士身邊の警固ぶり

大川氏を逮捕するに至るまでの東京檢事局の苦心は一通りではなかつたが、同氏が政治上の背景から檢事局や警視廳を敬遠してゐた形跡が却つて檢事局に逮捕の躊躇を與へたものである、それは六月十五日夜八時頃宮城檢事正室で宮城檢事正、棚町次席、木内思想檢事等が同氏逮捕に萬遺漏なきやう鳩首密議の際萬一逮捕上に過誤があれば所持金の豐富な博士は**飛行機**などに乘つて滿洲に高飛びするかも知れず、依て檢事局で狙つてゐるといふ事を同氏に感知せしめずして巧妙に逮捕する必要があるといふので、ただ職權に言葉やさしく檢事局へ喚び出してみやうといふことになり、宮城檢事正から「明日（十六日）一寸、檢事正の室までお運びを願ひたいが……」と自邸へ電話をかけた所、氏は自身電話口に出て「今夜十時の汽車で青森の神武會に赴き講演するのであるからその講演が終はつて歸京するまで待つて欲しい」との事であつたので直ちに三檢事は

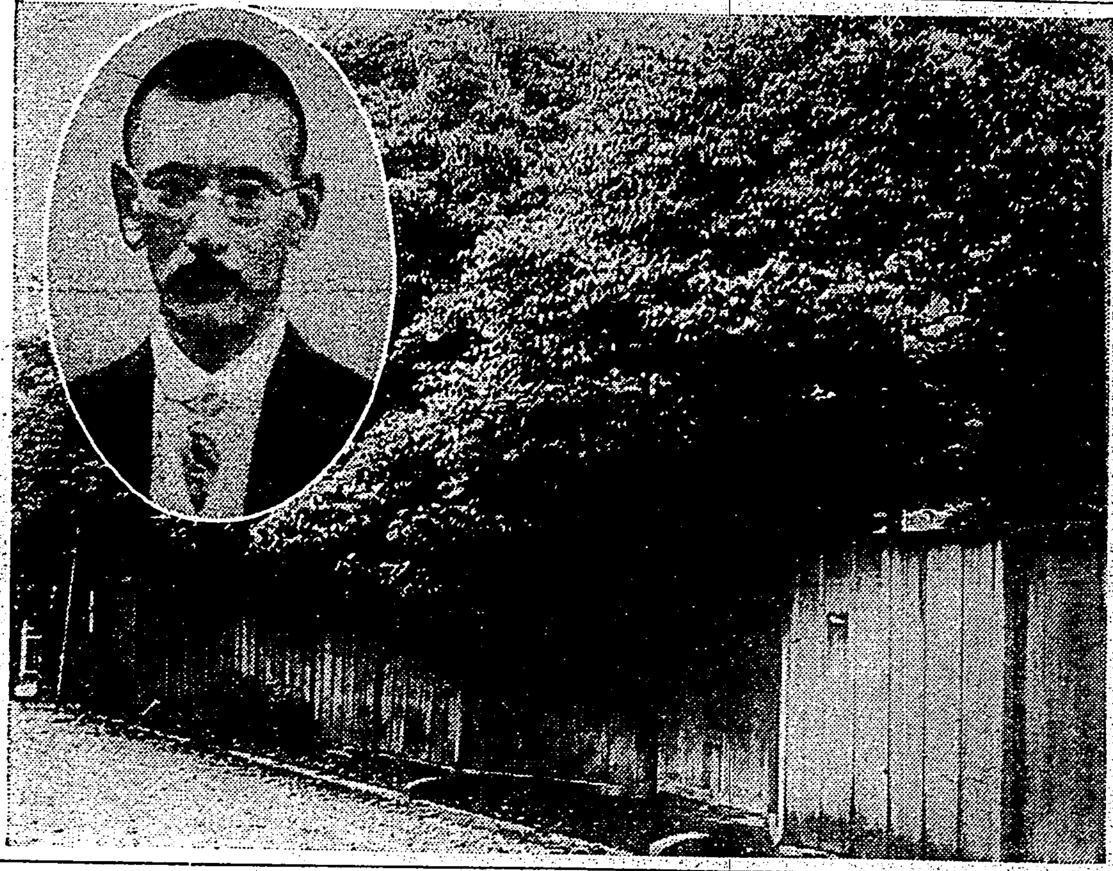
決意の 臍を固め、青森へ赴かしめずして同夜中に敢然逮捕すべしとの事に議一決し、即刻秋山豫審判事の拘引令狀を乞ひ警視廳の清水警部へ電話をかけ同警部に來局を求め、博士の逮捕に關する指揮命令を爲し拘引狀を與へたものである、かくて警視廳の清水警部外五刑事の一行が大川博士逮捕のため上野驛へ急行した際は博士の顏をしる者が無かつたので特に面識のある上野署の刑事一名を差加へたが、出發當夜の（十五日午後十時頃）上野驛の博士の身邊は實に物々しい

警戒振 りであつた、それは嚮に犯罪當夜代々木で暗殺されやうとした西田税一派が川崎長光の所爲を大川派の教唆に基くものとして大川氏を恨む事甚だしく何時如何なる所で同氏に報復が加へられるやも圖られぬといふ狀勢にあり、爲めに同氏が上野發に際してもこの備へもせねばならぬといふので大川氏腹心の部下三十餘名は銘々日本刀やピストルを携へて歩廊に同氏を取卷、誰れ一人近寄れぬやう護衛してゐるので、逮捕に向つた清水警部の一行は

物々し その光景に打たれ寧ろここで逮捕するのは不可なりと斷念せしめた程であつたが列車發車の際には同氏獨身で二等寢臺車へ姿を消したのでほつとした、一行は直ぐさま同列車へ飛乘り列車驀進の車中で拘引について同氏の諒解を求め警視廳へ護送したのである、所が身體檢査の際同氏は洋服の内かくしに現金三千圓を所持してゐた



五・一五事件變電所襲擊事件關係者の系統圖



大川博士と上大崎の邸宅

農民運動を起させ 何等かの成果期待か

神武會本部の家宅搜索で

百圓札で一萬圓發見さる

大川博士の罪跡について檢察當局が取調べを爲した結果、大川博士は愛郷塾一派の農民決死隊に對し其の資金關係について重大なる立役を勤めたに止まらず、更に其の主宰する神武會を地盤として獨逸のヒットラーがファッショ政治を布かんが爲めに獨逸國内を

風靡し つつある如く、博士は農民と結託して農民運動を各地に起さしめ其力を以て何等かの成果を得んことを欲しつつあつたものの如くである、檢事局では大川博士が檢擧された時、眞新らしき百圓紙幣で三千圓の金を懷中して居た事に不審を抱き單に遊說の爲に青森に旅行するのならば此の如き大金を用意して行く必要なし、之には何らかの重大目的があるに相違なしとし、木内係り檢事は嚴重に此三千圓の金について追及した、而して檢事は此の三千圓の金は素より

旅費で はなく八戸市神武會支部や弘前市の同志に會見した時、農民運動の費用として贈る積もりのもの、此の農民運動とは即ち昨年以來冷害と饑饉の狀態にある同地方の農民に對し一種の〇〇を〇〇〇〇〇〇の〇〇を惹起せしむる計畫であつたものと疑つて居るらしい、尚大川博士檢擧後、市外大崎二三一〇の同氏の邸宅を家宅搜索したところ何等證據とすべきものはなかつたが、日比谷東洋ビル三階の東亞經濟調査局及神武會本部の家宅搜索を行つた時に

折目も つかぬ百圓紙幣の眞新しいものが一萬圓出現した此の金も亦農民運動の資金に供する爲めでなかつたかと、檢事局では疑ひの目を以つて見てゐる

ファッショ的 政治運動を計畫

神武會を中心勢力として

博士の略歷と思想と趣味

法學博士大川周明氏は明治十九年十二月山形縣飽海郡酒田町郊外に大川周賢氏の長男として生れ、熊本五高を經て明治四十年東京帝大文科哲學科を卒業、在學中は主として宗教哲學を研究し、殊にインド哲學に興味を持ちインド語を研究する内全インド民衆が白色人種に壓迫されて居ることを

憤慨し 此の當時より有色民族の解放の信念を持つに至つた、大正十一年「特許植民會社制度の研究」なる論文を出して文科出身であり乍ら法學博士の學位を獲得したのである、大正七年滿鐵會社に入つたが昭和四年七月東亞經濟調査局が滿鐵から分離し、その理事長となり今日に及んで居り、傍ら拓殖大學教授を兼ねて居る、大正十三年行地社を創立してこれを主宰し、漸次思想的態度を鮮明にし更に昭和七年二月神武會を創立し事務所を麴町區丸の内東洋ビル内において

活潑な る運動を起した

大川氏は最近「借金整理論」をスローガンとしてファッショ的政治運動を國民運動に迄發展せしむべく計畫して居たが、此の神武會を中心勢力とし行地社その他の同志の組織する諸團體を綜合する政治行動は相當根強いものがあり、大川氏の今後の行動は各方面から非常に注目され日本に於けるファッショ運動の重大な役割を演ずるものと見られて居た、博士の政治行動の根幹を爲す主張は飽くまで觀念的理論を排斥し

實行に 重點を置いたもので、神武建國の精神に則り議會政治を否定すると共に横暴なる資本の暴利を抑制して全國民の福利を增進せんとするもので、對外方針としては東洋有色民族の解放で「東洋人の東洋」たらしめんとして努力して居り、印度志士ボーズ氏の運動を熱心に支持して居る、尚滿洲問題に就いてはかくれたる功勞者であることは識者の知るところであつて

滿洲國 即時承認を早くより叫んで來た

博士は現在市外大崎町上大崎二三一番地に居住後進の指導に力を注ぎ子弟に對しては非常に親切である、趣味は酒、煙草を少量嗜むは殆んど日常の仕事となして居り十年一日の如く滿洲問題の研究に沒頭して居た

左翼から轉向

軍部にも崇拜者多し

神武會會頭大川博士は小磯國昭中將や軍縮代表建川美次中將等と同郷の山形縣生れ、出身中學は高山樗牛を出して有名な同縣鶴岡中學である、學生時代より猛烈な勉強家で所謂手八丁口八丁、文章を良くし雄辯を以て鳴つて居た、東京帝大卒業後自ら全亞細亞會なるものを

組織し て學生時代よりの持論たる全亞細亞主義と相當過激なる社會主義運動とを標榜して起ち、廣壯なる建物の同會には常に印度、支那の志士連二十數名が出入する有樣であつた、印度に關する研究は學生時代より造詣深く印度革命運動の書を著し發賣禁止處分にも遭ひ、當時の同氏身邊には社會主義者として尾行刑事一名、印度革命煽動者として英國より密託の刑事一名、計二名の尾行が常に附纏つて居た、大正十年頃

國士の待遇

獄中の博士は元氣

入る前感ずる所あり

飜然ご して在來の左翼より極右に轉向し、其後後藤新平伯、押川方義氏、牧野内府等と親交を結び此の關係より大隈侯、後藤伯等の所論は大川博士の所論そのままと云はれた程であり愛國團體殊に軍部方面に於ける大川博士支持崇拜の根柢は依然として深いものが認められる

神武會に對しては大川會頭檢擧以來、全國各地の同志より見舞狀や激勵の辭が殺到して居るが、博士は其の後神武會に書を送り會頭の留守中は河本大作大佐並に今牧嘉雄博士に神武會の後事を託したので以上兩氏が直接間接に會務を總轄して居る、尚六月二十四日今牧博士は宇都宮辯護士同道市ケ谷刑務所を訪れ博士と第一次の接見をしたところ、博士は極めて健康で元氣旺盛

「自分のしたことは刻下帝國の情勢に鑑み正しいことと思ふ、若しそれが法律の末節にとらはれ罪となるなら又止むを得ず」と微笑し悠然自若たるものがあつた、又裁判所は博士に對しては出來る限りの優遇を與へ、國士としての名譽を保たしめて居るとの事である

獄中からの 博士の書翰

今牧博士に宛てて

大川博士は市ケ谷刑務所獨房に收容後は專ら讀書にいそしみ、外部との接見も禁止せられて僅かに夫人が二回面會を許されたのみであるが、暑熱にもめげず健康狀態は良好で七月下旬及び八月初旬親友今牧嘉雄博士（[illegible]首相秘書官）に宛て左の如き書を寄せて居る（**寫眞は手紙**）

◇

八月九日午後發信

肅啓その後御淸康一層の事と奉欣賀候、生不相變心身共に健全どうぞ御安堵被下度候、扨日本史のうち平安朝は最も生と縁遠き時代にてこれまで[illegible]に研究せしことも無之候故、今度のことを好機とし、身に沁みて王朝時代の空氣を呼吸せばやと思ひ立ち、先づ源氏物語を讀み初め候處、なかなか難解にて註釋を便りに近來になく骨折りて五十四帖を通讀仕候、此書は寔に[illegible]はず曾て讀める孰れの本よりも生をして王朝文明の本質を會得せしめ申候、まことに古今東西に比類を求め難き時代には候へども結局生にとりては常住の世界には無之候、紫式部の文學者としての偉大にも驚入候、種彥の田舍源氏をも序を以て一讀仕候が到底同日の談に無之候、例によつて適宜のところへ、適宜生の無事安泰なる旨御傳へ被下度奉願上候

匆々敬具

◇

肅啓、今日は七月二十六日、この一週間急に暑くなりました、娑婆に居れば素ッ裸でも暑い暑いの百萬遍でせうが、此處はこぼしても騒いでも追付きませんから狹い獨房にきちんと着物を著て行儀よく汗を流して居ります、これも修行と思へば苦にもならず、從つて元氣も衰へません、昨日は久振りで理髮をして貰つた後で鏡を見ると、さつぱりした好い男になつてる上に、夏痩せどころか却つて肥り氣味です、私は私の心身ともに存外彈力に富んで居る事を知つて喜んで居ります

（五行削除）

匆々不盡

昭和七年七月念六日午後

爆發物違反は 見當違ひだ

デマの出所が判れば 黑白を究明する決心

神武會幹部 狩野敏氏談

大川周明博士起訴の報に諸說紛々として凡ゆるデマが飛んで居るが、博士の主宰する神武會幹部狩野敏氏は右に就き七月二十八日左の如く語る

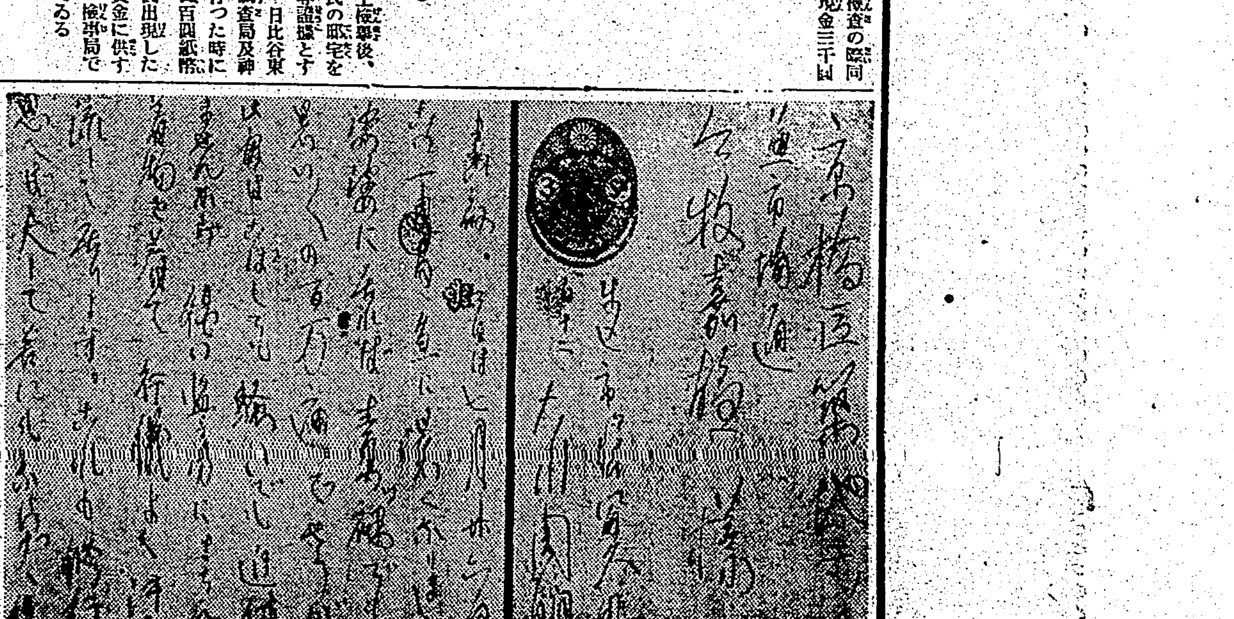
先生の起訴に就て凡ゆるデマが飛んで居るが我々内部のものとしては決して身びいきからでも無く、其の何れをも信ずる事が出來ぬ、先生起訴の理由が何れにあるか恐らくは司法當局の者も係判檢事以外に眞相を知つて居る者は無い筈だ、最初の檢擧

理由た る爆發物取締罰則違反の件は當局でも誤りだつた事は認めて居る筈だ、巷間傳へらるゝ如く拳銃云々の事は決して無かつた事を保證して言明する、殘る所は五・一五事件教唆の點であるが之は解釋の仕樣では先生日頃の言動は教唆とも云はれやう、大體神武會の目的が日本の現在機構の革新を標榜して居るのだから、聽く者のとり樣によつては或は教唆とも云はれやう、併し神武會は決して暴動、暴行を目的とする團體では無く、先生の心境も其處に無かつた事は確信する、現在も先生も今後共神武會の此の目的貫徹の方針は決して變へる事は無い

解釋の 方法で法律的には微妙な問題だが俯仰天地に恥づる事はないと思つて居る、又五・一五事件關係者に先生の手から金が出て居るとの說は全々否定もしないが之も誤解だと思ふ、我々同志の間に於ては先生から物質的に補助を受けて居る者は無數にあり、陸海軍將校の間にも所謂浪人の間にも澤山あるだらう、併し此の金が暴行運動の資金として渡されたもので無い事は明かである、國民運動の爲には相當の金が要るので先生の手から若干が配給されたとて不思議とは思はない、五・一五事件の關係者に先生が

面識が あつたか無いかは多數出入の人ではあるし私は全然關知しない、先生が檢擧の當時三千圓の現金を持たれてゐた事と、神武會本部に一萬圓位の金があつた事は不思議だとも異とするに足りない、當時の先生は青森の神武會支部發會式の爲め相當の金と丁度ボーナス時で調査局からの賞與金及鄕里の母堂に贈る目的の金等を計すれば三千圓位は勿論持つて居られた事と思ふ、併し此の金で神武會と今迄關係も薄く農民との接觸の役も乏しかつた青森地方で農民暴動を起す等とはむしろ笑止の沙汰で信ずる事が出來ない、神武會の一萬圓も會の基金や先生の私有金等があつただけで

隱匿な ど決してしてはゐなかつた、要するに先生の身邊に就てデマが飛ぶのは何等かの爲めにするものの作爲的行動と見るより外なく、我々神武會同志はデマの出所判明次第では事の黑白を明かにする決心を持つてゐる



神武會員 中島氏拘留

家宅搜索の際 短銃が出て

神武會員中島信一氏は大川博士家宅搜索の際嫌疑を受けて家宅搜索を受けたが、その際ピストルがあつたため警視廳に拘留中であつたが去る十日銃砲火藥類取締法違反で起訴され目下市ケ谷刑務所に拘留されて居る、右ピストルは支那、滿洲、西比利亞等旅行中護身用として所持せるもので他に何らの關係がないものである事を證言すると神武會本部では言明して居る

臺灣日日新報
號外（第二）
昭和八年五月十七日
（第三種郵便物認可）
發行兼編輯人　前野　約若
發行所
臺北市榮町四丁目
臺灣日日新報社

五・一五事件

三省の合同發表案
司法省がけふ發表

天下を震撼せしめた所謂五・一五事件は十七日を以て掲載禁止を解かれ事件の内容については既に第一號外を以て報道したが十七日午後五時司法省から左の如く三省合同發表案が公表された

事件關係者は四十一名

海軍側被告

原籍 佐賀縣佐賀市[illegible] 海軍中尉 三上 卓（二九）
[illegible] 古賀 清志（二六）
[illegible] 中村 義雄（二五）
[illegible] 山岸 宏（二五）
[illegible] 村山 格之（二五）
[illegible] 黒岩 勇（二九）
[illegible] 林 正義（二七）
[illegible] 大庭 春雄（二四）
[illegible] 伊東 龜城（二五）

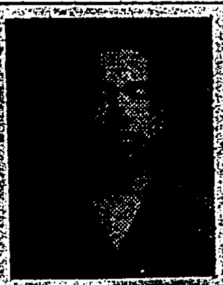
陸軍側被告

[illegible] 後藤 映範（二四）
[illegible] 中島 忠秋（二三）
[illegible] 篠原 市之助（二四）
[illegible] 八木 春雄（二二）
[illegible] 石關 榮（二三）
[illegible] 金清 豐（二三）
[illegible] 野村 三郎（二三）
[illegible] 西川 武敏（二三）

原籍 茨城縣東茨城郡[illegible] 元歩兵第六聯隊附士官候補生 菅 勤（二三）
原籍 宮崎縣北諸縣郡[illegible] 世田ケ谷野砲兵第一聯隊附士官候補生 吉原 政巳（二三）
原籍 宮崎縣西諸縣郡[illegible] 會津若松歩兵第七十五聯隊附士官候補生 坂元 兼一（二三）

常人被告

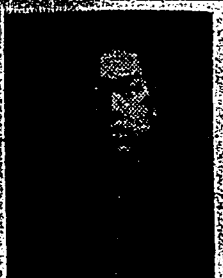
原籍 茨城縣東茨城郡常磐村三〇三九 愛郷塾塾頭 橘 孝三郎（四一）
原籍 同縣那珂郡五台村八一六 愛郷塾教師 後藤 圀彦（三三）


原籍 同縣東茨城郡常磐村三〇三九 農 林 正三（二一）

原籍 同縣久慈郡世矢村字小目一九八七 塾生 矢吹 正吾（二二）

原籍 同縣西茨城郡笠間町一三六 無職 塙 五百枝（二二）

原籍 同縣那珂郡柳田村字武田五三九 同 大貫 明幹（二三）


原籍 同縣同郡大賀村字宮崎三一九 同 小室 力也（二一）

原籍 同縣西茨城郡笠間町一二〇九 塾生 春山 只三（二七）

原籍 廣島縣安藝郡[illegible] 無職 奥田 秀夫（二三）

原籍 東京府豊島郡出水町[illegible] 元陸軍士官候補生 池松 武志（二三）
原籍 茨城縣鹿島郡[illegible] 納豆行商 高根沢 與一（二三）

原籍 東京市麹町區代官町一 神武會會長 大川 周明（四八）
原籍 東京市淀橋區[illegible] 天行會會長 頭山 秀三（三〇）
原籍 東京市日本橋區[illegible] 無職 本間 憲一郎（[illegible]）

原籍 愛知縣[illegible] 塾生 杉浦 孝（二五）

原籍 茨城縣那珂郡湊町[illegible] 堀川 秀雄（二六）

原籍 同縣同郡前渡村[illegible] 照沼 操（二四）

原籍 同縣同郡同村[illegible] 黒沢 金吉（二六）

原籍 同縣同郡[illegible] 川崎 長光（二三）
原籍 宮崎縣北諸縣郡[illegible] 塾生 温水 秀則（二二）（昭和七年十二月一日死亡）

第一 犯罪の動機と目的

本犯罪の動機及び目的は各本人等の主張する所に依れば近時我國の情勢は政治外交經濟教育思想及び軍事等あらゆる方面に行詰まりを生じ、國民精神亦頽廢を來したるをもつて現狀を打破するにあらざれば帝國を滅亡に導くの惧れあり而してこの行詰まりの根源は政黨財閥及び特權階級互ひに結託し唯私利私慾にのみ沒頭し國防を輕視し國利民福を思はず腐敗墮落したるに依るものなりとなし、この根源を剪除して以て國家の革新を遂げ眞の日本を建設せざるべからずと言ふにあり、然れども彼等の建設せんとする眞の日本なるものは各自の抱懷する思想の相違に依り多岐に別れるものの如し

第二 事件の徑路と計畫

大川周明、井上日召、橘孝三郎、西田税の各派は夙に國家革新運動をなし軍部青年將校等と相連絡し來りしが、昭和六年末頃より諸般の狀況の變化に伴ひ西田税と關係ある軍部同志と行動を共にするの困難なる事情に立至りたる爲、翌七年一月九日井上日召を中心とする民間同志は二月十一日紀元節を期し一擧に政界財界[illegible]の巨頭暗殺を決行して國家革新運動の烽火を擧げんことを企圖し、海軍同志及び出來得べくんば一部陸軍同志の參加を希望し之を語ひたるも諸般の事情に依り共に事を擧ぐるを得ざりしため、遂に同年一月末井上等は[illegible]計畫を變更し先づ軍部同志と分離しその一派民間同志のみをもつて

一人一殺

の方法に依り政界財界における多數要人の暗殺を決意し、その實行として井上準之助及び團琢磨を殺害したるもその一味は相前後して檢擧せられたるを以てその目的を達成するに至らざりき、之より先從來海軍部内における運動の指導的地位にありたる海軍大尉藤井齊は上海に出征し同年二月五日戰死しその中心を失ふこととなりたるも當時[illegible]霞ケ浦海軍航空隊に勤務し居たる古賀清志、中村義雄等は[illegible]の後繼者として蹶起せんことを企て[illegible]決行したる井上日召等の所謂一人一殺主義は彼等の目的に對しその效果薄しとなし、寧ろ一擧に集團的に直接行動を[illegible]帝都の治安を[illegible]し[illegible]ることを企圖し、同年[illegible]陸軍士官候補生[illegible]に[illegible]池松武志、後[illegible]參加することとなりたり、橘孝三郎[illegible]等と會見し、その企圖を告げたる[illegible]

大川周明

は[illegible]同人等の[illegible]に至り、同年三月二十日以降古賀清志、中村義雄と[illegible]の[illegible]を[illegible]行動の第一線に立たんことを約したり[illegible]同年四月上旬より同年五月十三日までの間において古賀清志等に對し[illegible]拳銃五挺實彈百數十發及び數回に亙り合計金六千圓を供與したり

頭山秀三及び本間憲一郎は從來右翼社會運動に從事し居るものにして同年三月中旬頃以降屢々古賀清志中村義雄等と會合しその計畫實行を容易ならしめんがため同志共用の武器として拳銃六挺及び實彈若干發を供與したり、斯くて古賀清志、橘孝三郎等は屢次協議を重ねたる上軍部同志をもつて本隊とし橘孝三郎及びその配下を別働隊とし別働隊は帝都を暗黒ならしめ、依つて之を混亂に陷れる目的をもつて東京市及びその附近の變電所數ケ所を襲擊し爆彈を用ゐてその要部破壞の計畫を樹て同年五月十三日古賀清志、中村義雄、池松武志、奥田秀夫及び後藤圀彦は茨城縣土浦町料亭山水閣に集合協議の結果

一、本隊の決行は五月十五日午後五時三十分とすること

二、別働隊の變電所襲撃は本隊の決行後大體日沒時たる午後七時頃とすること

三、本隊はこれを四組に分ち第一段においては第一組は首相官邸第二組は三菱銀行を襲撃し第二段においては第一組乃至第三組は第一段の決行後警視廳を襲撃したる後憲兵隊に自首し第四組は第一段の決行後直ちに憲兵隊に自首すること

その他行動に關する細部計畫をも決定し別に古賀清志、橘孝三郎、後藤圀彦は協議の結果西田税は從來同志として同人等と提携し來りたるにも拘らず、今後の行動を妨害するものなればこの際これを殺害する要ありとし同志川崎長光をしてその任に當らしむることとなしたり

天行會會長　頭山　秀三

紫山塾頭　本間憲一郎

第三 一味の行動概要

第一組は

五月十五日午後五時頃靖國神社に集合し自動車二臺に分乘し首相官邸に向ひ三上卓、黒岩勇、山岸宏、後藤映範、石關榮、八木春雄の五名の一隊となり午後五時二十八分頃拳銃三挺、短刀一口を携へ麹町内閣總理大臣官邸表門より侵入し山岸宏、村山格之、野村三郎の四名一隊となり、表門より[illegible]拳銃三挺、短刀一口を携へ[illegible]日本館[illegible]首相に向つて拳銃を發射し[illegible]首相の所在を求めて邸内を捜索し日本館客室に於て首相と[illegible]共に[illegible]其の[illegible]を發射し[illegible]、三上卓は引續き拳銃を發射して右顳顬部に[illegible][illegible]前後に於て三上は[illegible]田中五郎に[illegible]これピストルを發射し田中五郎に[illegible]しては右[illegible]部より左[illegible]に至る貫通銃創を負はしめ、平山に對しては右大腿部貫通銃創及び左前膊貫通銃創を負はしめたり、しかして前記の負傷のため首相は翌十六日午前二時三十五分官邸に於て死亡し、田中は同月二十六日前田病院で死亡せり、かくて第一段の襲撃を終りたる第一組は首相官邸を引きあげ二臺の自動車に分乘し三上、山岸、後藤、石關及び篠原は一隊となり第二段の行動に移らんがため警視廳に至りたるも[illegible]

中止して共に東京憲兵隊に自首したり、次で黒岩、村山、八木及び野村も亦一隊となり警視廳に赴き正面玄關より内部に闖入し硝子扉を破壊する程度の暴行をなして一同と共に引上げ、直に東京憲兵隊に至り隊内を覗ひたるに他の同志未だ自首したる形勢見えざりしを以て[illegible]

志は同邸立番巡査[illegible]に向ひ拳銃を發射し同人の[illegible]部に[illegible]より前方に通ずる貫通銃創を負はしめ更に自動車にて檄文を撒布しつつ警視廳に至り、拇本[illegible]一及び[illegible]は[illegible]各一[illegible]を投擲したるも不發に終り、次で古賀清志、西川武敏及び池松武志は玄關附近[illegible]

第二組は

午後四時三十分頃高輪泉岳寺境内に集合古賀清志、池松武志、坂元兼一、菅勤、及び西川武敏の五名は[illegible]拳銃三挺、短刀二口を携へ自動車二臺に分乘し午後五時二十七分頃三田[illegible]内大臣官邸に到り古賀清志及び池松武志は門内に向け[illegible]各一個を投擲し内一個は[illegible]し同[illegible]を[illegible]し、次で古賀清[illegible]

第三組は

午後四時半頃一同東京憲兵隊に自首したり[illegible]じめたる上同所を引揚げ午後六時頃新橋驛に集合し中村義雄、中島忠秋、金清豐及び吉原政巳の四名は[illegible]三個ピストル三挺、短刀二口を携へて自動車に同乘し、午後五時三十分頃麹町區内山下町政友會本部に到り中村義雄及び中島忠[illegible]

第四組の

奥田秀夫は同日午後七時半頃[illegible]三菱銀行に到り同銀行裏庭に向ひ一を[illegible]投擲して同銀行[illegible]路上に炸裂せしめ[illegible]

同行外[illegible]門附近の道路[illegible]上に炸裂せしめ

別働隊は本隊の決行と呼應して同日午後七時頃より行動を開始し、[illegible]東京府大[illegible]川水力電氣株式會社變電所に到り[illegible]を投擲したるも不發に終りたり、[illegible]久雄は埼玉縣北足立郡[illegible]ケ谷町東京電燈株式會社[illegible]ケ谷變電所に到り[illegible]を變壓器に投擲してこれを炸裂せしめ塙五百枝は[illegible]東京府北豊島郡尾久町東京電燈[illegible]

式會社[illegible]變電所に到りこれを[illegible]するに至らず[illegible]

以上の外

西田税[illegible]

第四 事件の處分

[illegible]

海軍側辯護士
將校の心を語る
惡くても心は純眞

五・一五事件[illegible]海軍側辯護士として決定した元海軍主計大佐法學士[illegible]六月初旬、事件關係の海軍將校の知友同僚等よりの依頼で引受けた何とか一肌脱いで見る積りだ、彼等青年將校のやつた事は惡い事に[illegible]ひないが動機に至つては純眞一點の疚しき所なく[illegible]

[illegible]

海軍將校の
近親知友語る

三上中尉

上海出征中の大隊長たりし高須少佐は語る
三上は出勤中は私の大隊附將校[illegible]

[illegible]

反亂罪とは？
叛亂罪との相違と
軍法會議の構成

【東京十七日發東通】五・一五事件の陸軍側被告は悉く陸軍刑法第二十五條により反亂罪を以つて起訴される筈である、何故叛亂罪にならないかといふと、[illegible]

○

然らば陸軍刑法にいふ反亂罪とはどんなものかといふと
（イ）徒黨を組み（ロ）兵器をとり（ハ）暴行を働く
といふ三條件を備へた犯罪であつて、この條件が備はつて居れば目的の如何を問はず反亂罪を構成する、この三條件が備はつて居れば罪なる器物破壊を目的とするものでも反亂罪になり、[illegible]

○

[illegible]

疑はれた
權藤翁
事實は火消役

[illegible]

昭和七年

[illegible]

權藤翁は

[illegible]

村上少尉

[illegible]

古賀中尉

[illegible]

本號外は本紙に再錄せず

帝都を暗黒化 大事を企らむ

首魁橘塾頭を初め 農民決死隊檢擧さる

變電所襲擊と西田税暗殺を 合せて一味廿餘名

五・一五事件の傍系事件として東京市附近の變電所を爆彈を以つて破壞し東京市を暗黒に陷らしめ、首相暗殺に伴ふ人心の不安に乘じ全市を大混亂化せしめ更に之に乘じ大事を爲さんことを企圖して居た水戸愛鄕塾橘孝三郎一派の所謂農民決死隊は七月二十四日ハルビンに於て首魁橘塾頭が自首した事に依つて關係者二十餘名の檢擧は一段落を告げた形となつた、同件の内容は一部新聞紙に掲載を禁止されて居たに過ぎずその大部分は既に報道ずみとなつて居るが[illegible]同件全部の掲載解禁と共に此處に事件の全貌を報道することとした

愛鄕塾頭橘孝三郎 哈爾賓憲兵隊に自首

追窮の手免かれ難く

帝都暗黒化農民決死隊の首領愛鄕塾頭橘孝三郎(四〇)は五・一五事件發生後滿洲に逃げて、某方面の某關係者の許に身を寄せ保護を受けてゐたが、警察當局の追窮甚だしく[illegible]の危險が迫つたため遂にハルビンに逃げ込んだ、警察當局にては更に之を追つてハルビンに迫つたので某關係者も之を保護しおほせず、遂に橘は七月二十四日を以てハルビン憲兵隊島本隊長の下に自首し出た、同人はその時[illegible]「自分は如何なる極刑に處せらるるも遺憾なし」と豪語したさうである

青山青年會館に集り 塾生らと最後の密謀

滿洲に行くと稱して上京し 軍人と五・一五事件も打合す

ハルビンで自首した橘孝三郎は五・一五事件の前に滿洲に旅行すると稱して之が爲め五月九日には水戸市内[illegible]に代議士[illegible]、元代議士[illegible]二郎、現兵庫縣内務部長[illegible]等[illegible]氏外三十餘名を招待して[illegible]送別會を開き[illegible]に思想問題を論じたが、その時彼は極右思想を[illegible]激越なる[illegible]を吐き來會者を驚かしたものである。かくて五月十日の午後三時三十九分に[illegible]春田信義(二〇)を伴つて水戸市外[illegible]より出發し、滿洲へ赴くと稱して多數の塾生、家族、友人知己等の見送りを受けた、而も彼は此時既に五・一五事件に關する一切の陰謀計畫を胸裡に秘藏して居たのであり、滿洲へは行かずして「東京」に下車し、同日五時半[illegible]青山青年會館に落付き、此處に於て五・一五事件に策應する爲めの變電所襲擊事件に關する諸種陰謀につき五・一五事件に關係せる陸海軍軍人と打合せを爲したが

打合せ

[illegible]二十[illegible]の首魁[illegible]海軍中尉三上卓から襲擊用爆彈[illegible]と短刀五口を受取つたのである、橘は五月十[illegible]日午後[illegible]に青年會館に[illegible]一同を召集し襲擊すべき變電所及び之が方法を指示したる後犯行決行後には滿洲へ逃走し來るべき事、その方法及

旅費等

を與へた、橘は[illegible]一切の準備が完了したから成功疑ひなしとし同夜は一同と共に會食し、橘は翌十一日午後九時四十五分東京驛發の列車で[illegible]春田信義と共に滿洲に潜入したのである、[illegible]橘は入滿後其知己である[illegible]國市政局研究所長[illegible]氏を訪問し身の振り方を相談すると共に五・一五事件遂行後滿洲へ落延びて來る塾生を全部此處に收容せんとこころみたものであつた

橘と古賀中尉と 日召が三角血盟

大川周明博士から 運動資金は出たか

農民決死隊の首魁橘孝三郎は井上日召[illegible]元首相及び[illegible]暗殺の教唆者として檢擧されて居る井上日召が護國寺に立籠つて居た頃より[illegible]親交あり、お互ひに國事を談じ耳ひに共鳴するに至つた、日召は[illegible]最も橘を信じ、此の男ならば語るに足るとし、盟友たる五・一五事件の主謀者古賀中尉を紹介し[illegible]之よりして橘と古賀中尉との間に三角血盟の成立するあり、兩者の關係は深刻となり昭和六年の十月事件にも關係を有して居たと傳へられ、また橘と日召の關係斯の如く

具體的の相談

を爲すに至つた、變電所襲擊隊なる名稱を與ふる事、襲擊材料は古賀中尉が之を引受くる事、襲擊決行後は滿洲に逃亡する事等を談合したもので、五・一五事件の軍人側との聯絡は古賀中尉が之を爲したものである、木[illegible]の被告人となつて居る林正三は、橘の[illegible]に當り橘腹心の一人であつた、よつて橘は滿洲に向け出發すると稱して水戸を去るに方り林をして愛鄕塾の監督を命じ橘に代り愛鄕塾は林との間に[illegible]

暗密の

打合を爲して居た、而して五・一五事件當日は林はわざと直接の行動に與はらず、その跡仕末に任ずる事となり、後[illegible]後藤圀彦が行動隊長に任命され、一切の直接行動を指し圖したのである、[illegible]大川周明博士とも聯絡があり、大川博士は運動資金の點に於て橘を助けて居たとの事である

愛鄕塾の家宅搜索

寫眞は五月十六日午後五時半愛鄕塾の家宅搜索を行ふ警視廳清水警部一行と茨城縣警察部特高課員

爆彈は上海で 三上中尉が入手

投擲の方法まで敎へたが 不馴れの爲に失敗

愛鄕塾[illegible]が變電所を襲擊用に携行した爆彈は海軍中尉三上卓氏が[illegible]上海へ出動中秘かに入手したもので、その[illegible]強大なる事は海軍が上海で[illegible]として[illegible]既に試驗濟みのものである、この爆彈(手榴彈)を三上中尉が上海で混亂の際

二十彈

だけ、秘かに手に入れたが、その爆彈は丁度兩切煙草の「ホープ」の罐位のもので比較的小型で携行に至便なもので

好適の

武器なる旨を告げ、更に「爆破作業を行ふ際には爆彈の上部に裝置してある紐を持ち爆彈の重點を垂下せしめつつ投擲するのであることその投擲の方法まで敎へ込んだものである、

あるのを[illegible]として三上中尉はトランクの中へ入れて[illegible]に持ち來り自宅の[illegible]下へ隱匿して置き、かねての企てを遂行する際使用すべく[illegible]少[illegible]に自己の心境を語り[illegible]愛鄕塾[illegible]橘孝三郎、後藤圀彦、林正三[illegible]と會合した時に之を示し[illegible]爆彈は變電所爆破には

雀躍し

てよろこんだ[illegible]の[illegible]と[illegible]は[illegible]で[illegible]したもの[illegible]不[illegible]となり、[illegible]の際は[illegible]して[illegible]、[illegible]下に[illegible]比較的[illegible]から[illegible]と思はるる[illegible]所の變電所の分は[illegible]に[illegible]ふほどでなかつた

此の爆彈を變電所の破壞用として愛鄕塾[illegible]に渡したことは[illegible]まなきだに[illegible]の襲擊心理に油を注いだるが如き觀を呈したもの

紫山塾の塾頭 本間も捕はる

—頭山滿翁の秘書— 井上日召をかくまつた男

五・一五事件に關聯し殺人罪として起訴收容された紫山塾頭本間[illegible]

[illegible]

西田税狙擊は 古賀中尉が敎唆

川崎長光決行を誓ふ

[illegible]血盟團一派の殘黨たる川崎長光が西田税を十五日夜狙擊し暗殺を企てた背後には海軍中尉古賀淸志が存在したもので、十四日夜土浦町[illegible]山水閣で古賀中尉と川崎は秘密のうちに會合しいよいよ[illegible]五月十五日決行に就いて[illegible]を打瀝つて打合せをなし、その際古賀中尉は川崎に向ひ「西田は血盟團の裏切者だ、どうも昨秋相談した時にも態度が曖昧であつたが、果せる哉彼れは不都合の奴で血盟團一派を當局へ密告して逮捕せしめたものであるからこんどは事變の血祭りの意味で片付けて吳れ」と唆かしたので川崎は古賀中尉の言に大く感動し[illegible]口惜かり「必ず決行する」と固く誓つて當夜は別れ、翌十五日早朝[illegible]公園丸山で古賀中尉と會ひピストル一挺、實彈數發、金三十四(圓)[illegible]へ高飛びの爲の旅費)を受取り、十五日薄暮の頃西田をその寓居に訪ひ、會談の後有[illegible]切者思ひ知れ」と同人を狙擊して同家を逃げ出したものである

打明け

られ古賀中尉の口からこの大事決行に使用すべきピストルは同中尉が上海から持ち歸つたのが五挺ある丈けだと云はれ、それならばと本年四月十七日から五月十四日迄の間に數回に亙つて六挺のピストルを手交し、事件後も悠々として東京市内に居たが六月初めに至り身の危險を知つて滿洲へ渡つた、然し長く滿洲にゐることは却つて危險であるとの情報が入つたので七月中に歸京九月に至つて逮捕されたものである

事件後[illegible]東京地方檢事局木内檢事に對し「近く滿洲へ行くつもりだ」と語つてゐたが、當時この事項の背後にある重要人物なることを知らなかつた木内檢事は、何事も

氣付か

なかつた、捕へられた後「井上日召を自首させた程の者が逃げ廻つてゐるのは變ぢやないか」と係官に言はれると、「自分はまだまだ捕へられてはならぬ大事な身體だ」と陰に其の後にも第二、第三の陰謀計畫がある事を洩らしてゐたと云ふ

尚ほ面白い事は佛像犯人の出頭が本間の塾生であつたことで、而も本間は出頭を不信の徒であるとして破門をした、本間が五・一五事件に關係があつたことは二週間程以前に當局に判明したので警察當局では夫々搜索の結果、風見代議士の宅に隱匿して居るのではないかと云ふ疑ひから風見氏をも調べた模樣であるが、風見氏は元より全然關係がなかつた

犯行後の足取りと 逮捕された場所

二十餘名ちりぢり

五・一五事件の傍系たる電力變電所襲擊及西田税暗殺事件の被疑者にして既に檢擧されたもの廿餘名は[illegible]違反及び殺人罪と云ふ[illegible]の罪名で起訴され取調べを終つて市ケ谷刑務所へ收容されて居るが其氏名並に犯行後の足取り逮捕場所等は左の如く

である

◇

杉浦孝は[illegible]成瀨氏の秘書弟子であり同氏の仲介によつて愛鄕塾に入塾したものである

◇

堀川秀雄は古賀中尉の紹介によつて愛鄕塾と關係をつけたもので、事件の當日は三菱銀行を襲擊するの役割を分擔した。而して彼はその翌日牛込區山吹町の某所で逮捕された

◇

春田信義は塾長橘孝三郎と共に五月十二日滿洲に逃走し五月二十二日新京にて逮捕され、警視廳搜査第二課から同地に出張して小[illegible]警部補一行に護送せられ六月三日午前十時東京驛着列車で警視廳に連行された

◇

後藤圀彦は松江にて捕縛

◇

林正三は愛鄕塾關係者として五月十六日水戸署に逮捕

◇

中村[illegible]夫(明大豫科生)は前記の爆彈を受けて爆彈一個を隱匿しおいた事發覺し檢擧されたのであるが、取調べの結果共犯には無關係である事判明し釋放された

◇

橫須賀[illegible]久雄は埼玉縣下[illegible]ケ谷變電所襲擊を分擔した、そして五月十五日には此が擔當責務を敢行した決行後豫ての打合に隨ひ入滿せんとして朝鮮に逃げたが二十四日後元山で捕縛されたのである

◇

塙五百枝は當日尾久變電所を擔當し、翌十六日小石川久堅町の知人方に潜伏中を逮捕された

◇

小室力也は目白變電所擔當で、翌十七日市外[illegible]ケ谷燒場裏[illegible]方で逮捕された

◇

矢吹正吾は小松川變電所擔當、犯行後逃走して大阪まで逃れた所を移動警察官に發見され十七日大阪驛に於て逮捕

◇

溫水秀則は[illegible]變電所擔當、決行後は某所に潜伏し一行の[illegible]をみてゐたが二十四日[illegible]に自首して出た

◇

相澤義夫こと高根澤與一は當日塙五百枝と共に尾久變電所襲擊後茨城縣下に逃れたが同月十七日水戸市外某所にて逮捕された

◇

大貫[illegible]は(前川[illegible])は市外[illegible]鳩ケ谷變電所を擔當し翌十六日[illegible]高木[illegible]の二法音寺、新村方に潜伏中を逮捕された

◇

坂上[illegible]一郎は同志の[illegible]を隱した關係で檢擧されたものだが襲擊事件には關係のないものと[illegible]はれてゐる

◇

川崎長光は五・一五事件當日の午後七時二十分頃市外代々幡町山谷一四四、川本生[illegible]西田税氏を狙擊、逃走後芝區[illegible]法音寺境内にゐる友人新村方に潜伏してゐるのを發見され十六日午前一時頃[illegible]官に逮捕されたが同人は[illegible]古賀中尉、林、後藤等の行動幹部を命ぜられて西田を狙擊したもので、西田は大川周明と親交あり[illegible]時代から行動部と親交あり種々の企圖に參加し一行と共に行動してゐた、然るに彼の行動を疑ひ[illegible]同志は反逆者と見るに至り遂に川崎長光の手により之を狙擊するに至つたのである、尚西田税氏狙擊事件の關係者としては堀川秀雄([illegible]介業)照沼操(元小學校訓導)小野田伊衞門(仲介業)等が共犯の形を爲して居る

[illegible]養成してゐた、[illegible]孝三郎の愛鄕塾と井上日召の護國塾と同じやうな緒組である、右のやうな關係から血盟團事件後井上日召は本間のもとに身を寄せたので頭山翁の[illegible]に日召をかくまつたが、當局の追求が烈しく當局も斷然頭山邸へ手を入れる決定をしたと見て取つたので、累を頭山家に及ぼさん事を恐れ日召を伴つて檢事局に自首せしめると共に自分等の力を以つて事を成さんとの決意をいよいよ固め、偶々五・一五事件の計畫を海軍士官等より

早くから共鳴してゐた[illegible]成縣土浦在に紫山塾なる結社を組織し農本主義を主義として少數の塾生を

變電所襲擊犯人一覧表

西田税暗殺事件關係者(○印)を含む

原籍地	住所地	職業	氏名	年齢
茨城縣東茨城郡常磐村[illegible]〇九	愛鄕塾内	農	林正三	([illegible])
同縣那珂郡五臺村八一六	同上	愛鄕塾教師	後藤圀彦	(三二)
同縣行方郡津賀村字山田九六一	同上	農	宮本幸雄	([illegible])
愛知縣渥美郡泉村字神港八	同上	學生	杉浦孝	(二五)
茨城縣鹿島郡[illegible]一〇七	東京府下[illegible]	大學生	中村[illegible]夫(釋放)	([illegible])
廣島縣安藝郡[illegible]	東京府[illegible]方	無職	[illegible]田秀夫	([illegible])
[illegible]	愛鄕塾内	學生	[illegible]	([illegible])
[illegible]	定	無職	[illegible]	([illegible])
[illegible]	[illegible]	無職	○川崎長光	([illegible])
同縣東茨城郡[illegible]前村	不定(相澤[illegible]方)	洋服行商	高根澤與一	([illegible])
同縣同郡河和田村[illegible]前渡村	不定	農	黒澤金吉	([illegible])
同縣同郡[illegible]町八三五	那珂郡神崎村字東[illegible]	小學校訓導	○堀川秀雄	(二八)
同縣同郡同村字[illegible]八五	同上	農	○照沼操	([illegible])
同縣[illegible]八一六	福島縣平町常[illegible]方	仲介業	○小野田伊衞門	([illegible])
宮崎縣北諸縣郡[illegible]	東京[illegible]町小山[illegible]方	塾生	溫水秀則	([illegible])
茨城縣東茨城郡常磐村[illegible]九	右同	塾長	橘孝三郎	([illegible])
同縣西茨城郡[illegible]〇九	愛鄕塾内	塾生	春田信義	([illegible])
同縣久慈郡[illegible]九	不定	無職	小室力也	([illegible])
同縣[illegible]八十[illegible]	同	塾生	矢吹正吾	([illegible])
東京市外[illegible]一一	東京市高田町[illegible]一五	出版印刷業	坂上[illegible]一郎	([illegible])

大工仕事に行き つひに共鳴

秘書春田と塾生塙

橘塾頭の秘書春田信義(二[illegible])は茨城縣笠間町西[illegible]の[illegible]男に生れ[illegible]初段の腕前で、かつて大いに活躍したもの、同縣[illegible]の第七十五聯隊を除隊後自宅に在つて大工を營んでゐたが昨年春同志塙の實家の

仕事に

頼まれて行つて[illegible]あるうち塙五百枝の話を聞き、同様二男ではあり何時までも家にゐても仕方がないから滿洲へでも行つて[illegible]でもして見たいものだと塙の紹介で愛鄕塾に入り、爾來同塾に在つて[illegible]塾頭に見込まれその秘書として[illegible]

に參加して居た、今次の[illegible]には[illegible]後一兵卒として水戸[illegible]隊に[illegible]と共に[illegible]、去る[illegible]月第二次[illegible]後は自宅に歸來してゐたが事件勃發數日前、[illegible]塾より

迎ひが

來たので近く滿洲へ行くと稱して、水戸へ出發し五・一五[illegible]事件に參加したものである、又塙五百枝(二[illegible])は茨城縣笠間町[illegible]の五男で昨年四月水戸中學校を卒業後滿洲へ渡つて大陸[illegible]を志し之が[illegible]得のため同年六月愛鄕塾に入り[illegible]ら指導を受けてゐたものである

愛鄕塾は 前に表彰さる

風見代議士らが 財的援助を與へて

帝都暗黒化を企てた所謂農民決死隊員を出した水戸市外常磐村愛鄕塾は[illegible]塾頭橘孝三郎は水戸市[illegible]町の[illegible]家に生れ、一高文科三年の際『土の勤勞生活に入る』と稱し學業を捨て現在の地に住居し、今同[illegible]の手に[illegible]された同村の[illegible]出身[illegible]家林正三(二[illegible])と

共鳴す

るところあり[illegible]義の理想[illegible]兄弟村を建設し之が實行に邁進しその農民子弟に[illegible]さるるに至り、遂に同縣出身風見章代議士等より財的援助を得て昭和五年末『自營的農村勤勞學校愛鄕塾』と稱するに至り、大地主義、兄弟主義、勤勞主義の三位一體的精神生活を根本とし[illegible]ある村塾を建設するに至つたものである、而して右の實行は縣としても大いに之を賞し模範村塾として二年前

表彰し

更に今回新滿洲國建設にあたり同地方の農業指導に關しても縣より指導を依頼し[illegible]服管を提用し[illegible]滿洲移民[illegible]をなさしめたのである